令和６年度（２０２４年度）

主要な施策の成果に関する説明書（一般会計）

朝　霞　市

令和６年度（２０２４年度）朝霞市一般会計歳入歳出決算を議会の認定に付するに当たり、地方自治法第２３３条第５項の規定により、主要な施策の成果についての説明書を提出します。

令　和　７　年　９　月　３　日
朝霞市長　　松下　昌代

目　　次

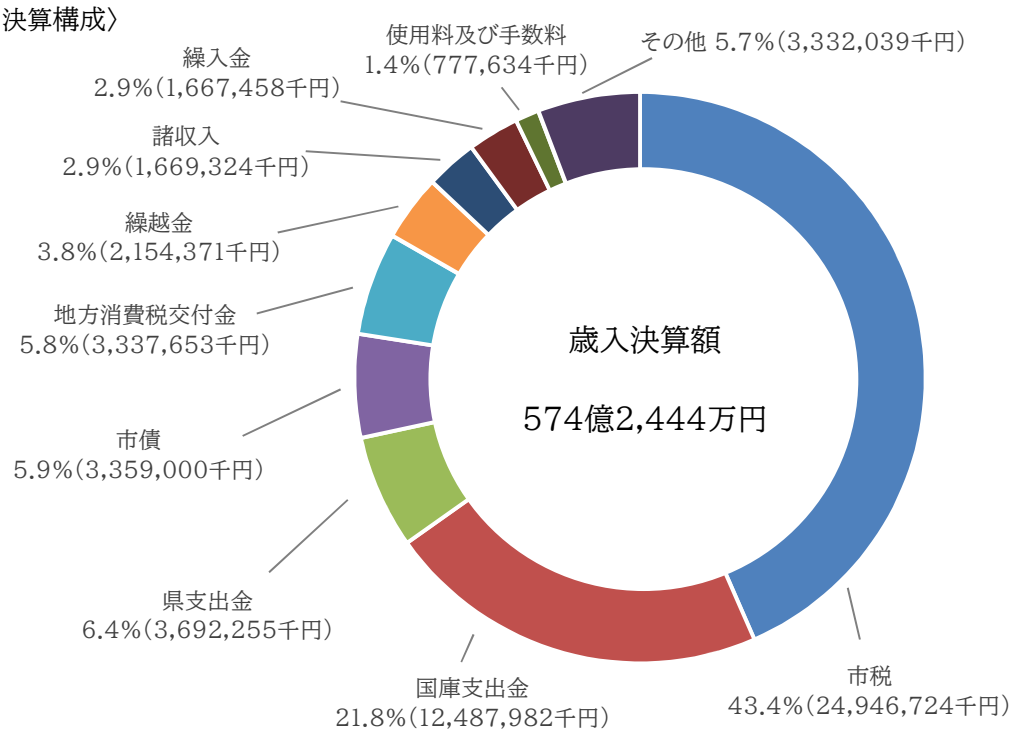
歳入の状況 ･･･ １頁
歳出の状況 ･･･ ２頁
主な財政指標の推移 ･････････････････････････････････････ ４頁
主要事業の説明
第０１款　議　会　費 ･････････････････････････････････ ５頁
第０２款　総　務　費 ･････････････････････････････････ ６頁
第０３款　民　生　費 ･････････････････････････････････ ２６頁
第０４款　衛　生　費 ･････････････････････････････････ ５０頁
第０５款　労　働　費 ･････････････････････････････････ ６４頁
第０６款　農林水産業費 ･･････････････････････････････ ６５頁
第０７款　商　工　費 ･････････････････････････････････ ６８頁
第０８款　土　木　費 ･････････････････････････････････ ７２頁
第０９款　消　防　費 ･････････････････････････････････ ９０頁
第１０款　教　育　費 ･････････････････････････････････ ９１頁
第１２款　諸支出金 ･･････････････････････････････････ １１４頁
地方創生臨時交付金の活用実績 ･･････････････････････････ １１５頁

歳 入 の 状 況

歳　入

区分	令和6年度 決算額（千円）	令和6年度 構成比（%）	令和5年度 決算額（千円）	令和5年度 構成比（%）	増減額（千円）	増減率（%）
市税	24,946,724	43.4	24,381,055	44.4	565,669	2.3
市民税	12,624,659	22.0	12,276,721	22.4	347,938	2.8
固定資産税	9,847,147	17.1	9,662,760	17.6	184,387	1.9
軽自動車税	176,937	0.3	168,622	0.3	8,315	4.9
市たばこ税	874,564	1.5	891,539	1.6	△ 16,975	△ 1.9
都市計画税	1,423,417	2.5	1,381,413	2.5	42,004	3.0
地方譲与税	228,968	0.4	228,585	0.4	383	0.2
利子割交付金	12,646	0.0	9,230	0.0	3,416	37.0
配当割交付金	241,866	0.4	169,891	0.3	71,975	42.4
株式等譲渡所得割交付金	347,996	0.6	198,236	0.4	149,760	75.5
法人事業税交付金	250,093	0.4	221,929	0.4	28,164	12.7
地方消費税交付金	3,337,653	5.8	3,159,814	5.7	177,839	5.6
ゴルフ場利用税交付金	11,385	0.0	11,864	0.0	△ 479	△ 4.0
環境性能割交付金	48,204	0.1	42,733	0.1	5,471	12.8
国有提供施設等所在市町村助成交付金	127,058	0.2	121,637	0.2	5,421	4.5
地方特例交付金	918,465	1.6	211,637	0.4	706,828	334.0
地方交付税	414,977	0.7	477,997	0.9	△ 63,020	△ 13.2
普通交付税	260,659	0.4	309,430	0.6	△ 48,771	△ 15.8
特別交付税	154,318	0.3	168,567	0.3	△ 14,249	△ 8.5
交通安全対策特別交付金	11,269	0.0	11,947	0.0	△ 678	△ 5.7
分担金及び負担金	561,761	1.0	685,174	1.2	△ 123,413	△ 18.0
使用料及び手数料	777,634	1.4	752,194	1.4	25,440	3.4
国庫支出金	12,487,982	21.8	11,699,545	21.3	788,437	6.7
県支出金	3,692,255	6.4	3,673,583	6.7	18,672	0.5
財産収入	150,057	0.3	155,221	0.3	△ 5,164	△ 3.3
寄附金	7,294	0.0	35,078	0.1	△ 27,784	△ 79.2
繰入金	1,667,458	2.9	2,510,615	4.6	△ 843,157	△ 33.6
繰越金	2,154,371	3.8	2,829,167	5.1	△ 674,796	△ 23.9
諸収入	1,669,324	2.9	1,258,014	2.3	411,310	32.7
市債	3,359,000	5.9	2,098,397	3.8	1,260,603	60.1
合計	57,424,440	100.0	54,943,543	100.0	2,480,897	4.5

〈歳入　決算構成〉

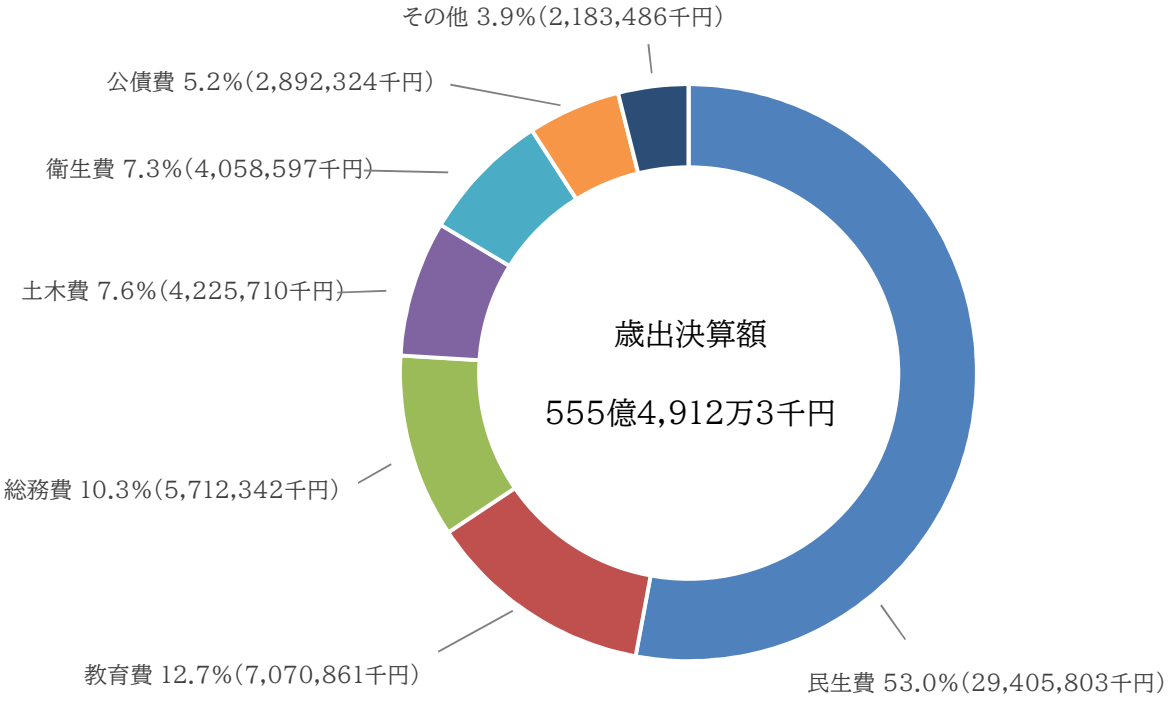


歳 出 の 状 況

歳　出　（目的別）

区　　分	令　和　6　年　度		令　和　5　年　度		増　減　額（千円）	増減率（%）
	決　算　額（千円）	構成比（%）	決　算　額（千円）	構成比（%）		
議　会　費	279,335	0.5	274,023	0.5	5,312	1.9
総　務　費	5,712,342	10.3	6,550,231	12.4	△ 837,889	△ 12.8
民　生　費	29,405,803	53.0	27,364,198	51.8	2,041,605	7.5
衛　生　費	4,058,597	7.3	4,264,178	8.1	△ 205,581	△ 4.8
労　働　費	1,336	0.0	1,665	0.0	△ 329	△ 19.8
農林水産業費	115,277	0.2	70,350	0.1	44,927	63.9
商　工　費	177,865	0.3	163,576	0.3	14,289	8.7
土　木　費	4,225,710	7.6	4,515,976	8.6	△ 290,266	△ 6.4
消　防　費	1,609,330	2.9	1,505,646	2.9	103,684	6.9
教　育　費	7,070,861	12.7	5,001,606	9.5	2,069,255	41.4
公　債　費	2,892,324	5.2	3,077,717	5.8	△ 185,393	△ 6.0
諸　支　出　金	343	0.0	6	0.0	337	5,616.7
合　　計	55,549,123	100.0	52,789,172	100.0	2,759,951	5.2

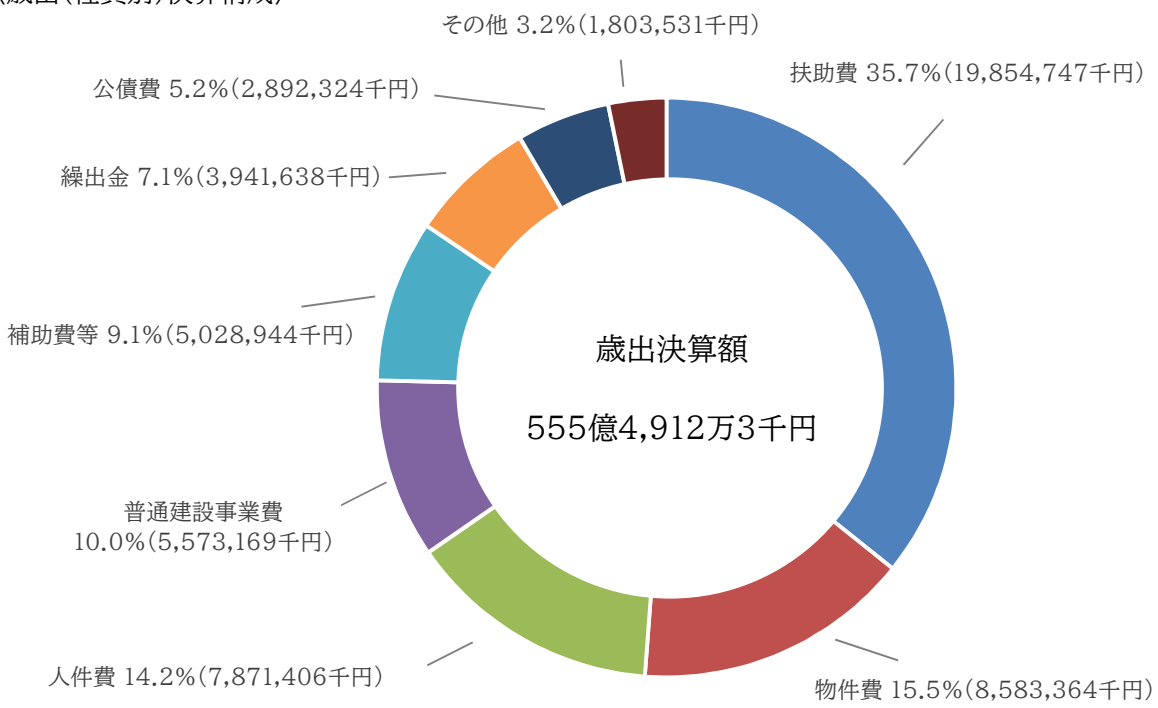
〈歳出(目的別)決算構成〉



歳　出（性質別）

区　　分		令和6年度 決算額（千円）	令和6年度 構成比（%）	令和5年度 決算額（千円）	令和5年度 構成比（%）	増減額（千円）	増減率（%）
義務的経費		30,618,477	55.1	28,494,030	54.0	2,124,447	7.5
	人件費	7,871,406	14.2	7,476,141	14.2	395,265	5.3
	うち職員給	4,885,686	8.8	4,741,288	9.0	144,398	3.0
	扶助費	19,854,747	35.7	17,940,172	34.0	1,914,575	10.7
	公債費	2,892,324	5.2	3,077,717	5.8	△ 185,393	△ 6.0
消費的経費		14,089,854	25.5	14,507,369	27.4	△ 417,515	△ 2.9
	物件費	8,583,364	15.5	8,734,652	16.5	△ 151,288	△ 1.7
	維持補修費	477,546	0.9	478,962	0.9	△ 1,416	△ 0.3
	補助費等	5,028,944	9.1	5,293,755	10.0	△ 264,811	△ 5.0
投資的経費		5,573,169	10.0	3,740,963	7.1	1,832,206	49.0
	普通建設事業費	5,573,169	10.0	3,740,963	7.1	1,832,206	49.0
その他の経費		5,267,623	9.4	6,046,810	11.5	△ 779,187	△ 12.9
	積立金	1,297,514	2.3	2,296,769	4.4	△ 999,255	△ 43.5
	貸付金	28,471	0.0	33,467	0.1	△ 4,996	△ 14.9
	繰出金	3,941,638	7.1	3,716,574	7.0	225,064	6.1
合計		55,549,123	100.0	52,789,172	100.0	2,759,951	5.2

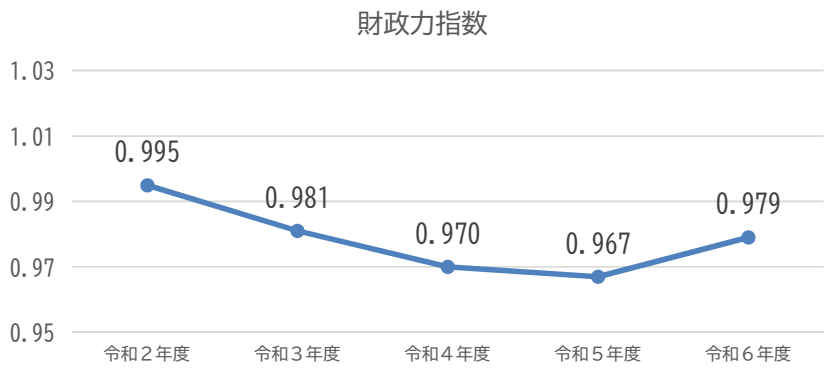
〈歳出(性質別)決算構成〉



主 な 財 政 指 標 の 推 移

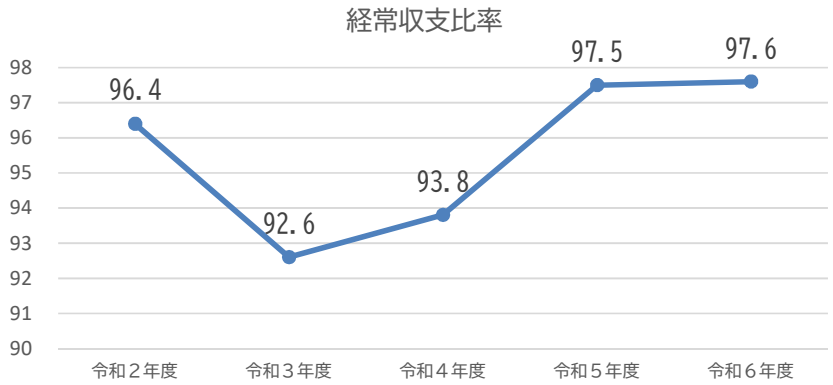
〈財政力指数〉

標準的な行政活動を行うのにどれだけ自力で財源を調達できるかを表した指標です。



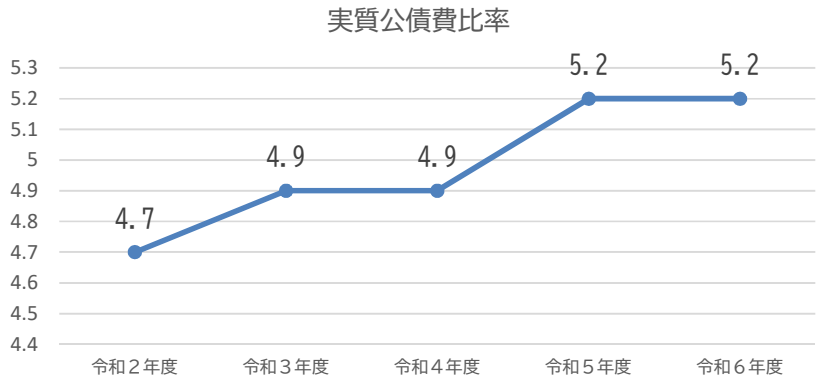
〈経常収支比率〉

財政構造の弾力性を判断するための比率で、人件費や扶助費（社会福祉のために支出されるお金）などの経常的な経費に、地方税などの経常的一般財源がどの程度充当されているかをみる指標です。



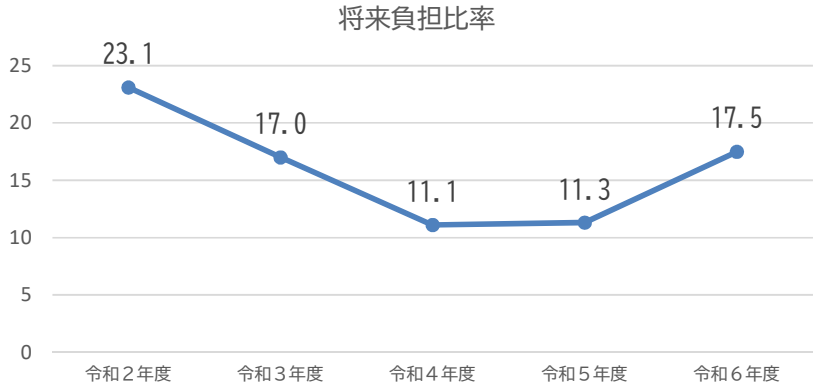
〈実質公債費比率〉

一般会計が負担する地方債の償還金等の標準財政規模に対する比率で、地方債の償還金等の大きさを指標化し、財政負担の程度を示すものです。



〈将来負担比率〉

一般会計が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率で、地方債残高や市が将来負担する可能性のある負担を指標化し、将来の財政負担の程度を示すものです。



第1款　議会費

〈所　　管〉　議会事務局　議会総務課
〈予算区分〉　款）議会費　　項）議会費　　目）議会費

事務事業名	議会事務事業	予算現額	18,603,000 円
		決算額	15,243,327 円

〈事業を行った成果・効果〉
議会映像のインターネット配信業務を委託したことにより、安定的に映像を配信でき、かつ見やすい市HPになりました。
また、タブレット端末を購入し文書共有システムを導入したことにより、ペーパーレス化や資料の電子データ化が図れ、議会の機能強化につながりました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　議会映像配信業務の委託
〈事業費〉　829,180 円
〈概　要〉　議会本会議の状況を、パソコンほかスマートフォンやタブレット端末で視聴可能とするライブ及び録画配信を実施。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　タブレット端末の導入
〈事業費〉　2,645,841 円
〈概　要〉　・議員へ貸与したタブレット端末24台、事務局用3台を購入（1,784,673円）
・「ペーパーレス化」、「電子データ化」を図るため、文書共有システムを導入（429,000円）
・第1、第2委員会室、全員協議会室のWi-Fi設備整備（432,168円）

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	15,243,327 円

第2款　総務費

〈所　　管〉　総務部　職員課
〈予算区分〉　款）総務費　　項）総務管理費　　目）人事管理費

事務事業名	職員人材育成事業	予算現額	4,731,000 円
		決算額	3,956,927 円

〈事業を行った成果・効果〉
職員派遣研修を実施したことで、専門性の高い知識を習得し、職員の能力の向上を図ることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　職員派遣研修
〈事業費〉　2,206,960 円
〈概　要〉　彩の国さいたま人づくり広域連合への派遣研修
研修内容　階層別研修（新規採用職員（前期・後期）、中級（基礎）、中級（実践）、主任級、主査級、課長補佐級、課長級）、民間企業派遣研修、講師養成研修、選択研修、特別研修等
参加者数　延べ150人（17講座）

他の機関等への派遣研修
研修内容　埼玉県実務研修、関係団体実務研修、自治大学校、国土交通大学校、全国建設研修センター、市町村アカデミー、（一財）地方自治研究機構、（一社）日本経営協会（NOMA）
参加者数　延べ51人（44講座）

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	3,956,927 円

〈所　　管〉　総務部　職員課
〈予算区分〉　款）総務費　　項）総務管理費　　目）人事管理費

事務事業名	職員健康管理事業	予算現額	4,627,000 円
		決算額	4,330,057 円

〈事業を行った成果・効果〉
職員定期健康診断を実施したことで、各々の健康課題の把握や健康意識の向上に寄与することができました。
また併せて、メンタルヘルス相談室を実施したことで、気軽に相談できる場を職員に提供するとともに、心身の不調に対する予防にもつながることとなり、職員が生き生きと仕事に取り組む職場づくりに寄与することができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　職員定期健康診断
〈事業費〉　2,160,620 円　（上下水道部を除く）
〈概　要〉　対象者　全職員
実施日　年3日（令和6年7月9日・10日、令和7年1月9日）
受診者数　572人（上下水道部を除く）

〈事業名〉　メンタルヘルス相談室
〈事業費〉　277,200 円
〈概　要〉　対象者　全職員
相談日　毎月第3木曜日（1日3人）
相談者数 36人

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	616,695 円	3,713,362 円

〈所　　管〉　総務部　人権庶務課
〈予算区分〉　款）総務費　　項）総務管理費　　目）人権政策費

事務事業名	人権啓発推進事業	予算現額	3,070,000 円
		決算額	2,712,492 円

〈事業を行った成果・効果〉
『こども・ほっとそうだん』を実施したことにより、子どもたちの様々な悩みごとの解決に向けて、子どもにとって一番よい方法を相談者とともに考え、助言や支援を実施することができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　こども人権相談事業
〈事業費〉　1,382,390 円
〈概　要〉　専門の相談員による相談　毎週水曜日及び金曜日（祝日・年末年始を除く）　午前9時30分～午後4時30分
相談者数　23人（相談件数　延べ49件）
相談方法　電話、対面（予約制）、市ホームページWebフォーム（メール）、ミニレター（手紙）

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	77,000 円	0 円	800 円	2,634,692 円

〈所　　管〉　総務部　人権庶務課
〈予算区分〉　款）総務費　　項）総務管理費　　目）人権政策費

事務事業名	男女平等推進事業	予算現額	2,718,000 円
		決算額	2,364,423 円

〈事業を行った成果・効果〉
第2次男女平等推進行動計画実施計画に基づく推進事業を実施したことで、市民及び職員の男女平等に対する意識醸成を図ることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　講座開催事業
〈事業費〉　120,800 円
〈概　要〉　「あさか女と男セミナー」の開催
第1部　令和7年1月19日　「多様な性について考えてみよう」（対面式、参加者数14人）
第2部　1月29日　「α世代に必要な性の知識」（対面式、参加者数22人）
第3部　2月5日～18日　「男性の生きづらさと男女共同参画」（動画配信、視聴回数166回）

〈事業名〉　男女平等推進情報「そよかぜ」の編集事業
〈事業費〉　76,800 円
〈概　要〉　広報あさかに掲載　年2回（9月、3月）
9月号「ご存じですか？朝霞市パートナーシップ・ファミリーシップ制度」
3月号「『みんなの防災』について考えよう」

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	2,364,423 円

〈所　　管〉　総務部　人権庶務課
〈予算区分〉　款）総務費　　項）総務管理費　　目）人権政策費

事務事業名	男女平等相談事業	予算現額	3,348,000 円
		決算額	3,188,750 円

〈事業を行った成果・効果〉
女性総合相談を実施し、女性が抱える様々な問題や悩みについて相談できる環境を整えたことで、問題の整理や解決の糸口を一緒に考え見つけることができました。なお、困難な問題を抱える女性への支援に関する法律の施行に伴い、令和6年度より相談時間を1時間拡大しています。
また、DV相談については、多様な相談内容等に対し、安全を第一に寄り添った相談を行い、問題解決につながるよう支援を行うことができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　女性総合相談事業
〈事業費〉　618,067 円
〈概　要〉　相談日　毎週木曜日　午前10時～午後4時
女性総合相談員が対応
電話相談または面接相談
相談者数　延べ82人（相談件数　延べ88件）

〈事業名〉　DV相談事業
〈事業費〉　2,564,878 円
〈概　要〉　相談日　毎週火曜日～日曜日　午前9時～午後5時
DV専門相談員による相談は　火・水・金・土曜日　午前10時～午後4時
電話相談または面接相談
相談者数　延べ348人（相談件数　延べ611件）

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	1,579,000 円	0 円	0 円	0 円	1,609,750 円

〈所　　管〉　総務部　人権庶務課
〈予算区分〉　款）総務費　　項）総務管理費　　目）人権政策費

事務事業名	男女平等推進行動計画策定事業	予算現額	2,771,000 円
		決算額	2,640,929 円

〈事業を行った成果・効果〉
第3次男女平等推進行動計画の策定に向けてニーズや実態を把握するため、市民意識調査や事業所アンケートなどを実施し、基礎資料を得ることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　男女平等推進行動計画策定事業（令和6～7年度 継続事業）
〈事業費〉　2,640,929 円
〈概　要〉　第3次男女平等推進行動計画の策定に係る意識調査・アンケートの実施
・市民意識調査
18歳以上の市民2,000人を無作為抽出　回答率27.5%
・事業所アンケート
10人以上の従業員がいる市内事業所150社を無作為抽出　回答率25.3%
・小学生・中学生・高校生意識調査
市内の公立小学校に通学する小学6年生1,273人　回答率45.0%
市内の公立中学校に通学する中学3年生1,087人　回答率18.0%
市内の県立高校に通学する高校3年生720人　回答率30.4%

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	1,100,000 円	0 円	0 円	0 円	1,540,929 円

〈所　　管〉　市長公室　市政情報課
〈予算区分〉　款）総務費　　項）総務管理費　　目）市政情報費

事務事業名	情報公開及び個人情報保護事業	予算現額	6,733,000 円
		決算額	6,158,570 円

〈事業を行った成果・効果〉

情報公開・個人情報保護審議会を開催したことで、制度の適正な運用が図られ、公正で市民から信頼される開かれた市政の推進に寄与することができました。

また、個人情報保護法改正に伴い制定した朝霞市個人情報の保護に関する法律施行条例や朝霞市個人情報の取扱いに関する管理要領に基づき、各部署で個人情報保護管理者、個人情報保護担当者を選任しました。併せて、担当者・係長等を対象とした研修会を実施し、個人情報保護制度に関する理解・啓発を行いました。

なお、令和5年度から義務化された、保有個人情報の漏えい等（おそれ含む）が発生した際の個人情報保護委員会への報告件数は1件でした。

〈主な事業の成果〉

〈事業名〉　情報公開制度及び個人情報保護制度の運用事業
〈事業費〉　210,000 円
〈概　要〉　情報公開・個人情報保護審議会の開催　2回

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	18,550 円	6,140,020 円

〈所　　管〉　市長公室　市政情報課
〈予算区分〉　款）総務費　　項）総務管理費　　目）市政情報費

事務事業名	文書管理事業	予算現額	11,172,000 円
		決算額	10,402,116 円

〈事業を行った成果・効果〉

令和5年度から新たなファイリングシステムを導入し、各部署における入力作業等を平準化したことで、公文書を適切に管理することができました。また、ファイリング関係の提出物を紙からデータとし、各部署における年度末作業の業務負担の軽減や、とりまとめ作業の円滑化を図ることができました。

〈主な事業の成果〉

〈事業名〉　保存文書等の管理事業
〈事業費〉　9,284,396 円
〈概　要〉　文書保管委託　保管6,878箱（1か月平均）　入出庫490箱（1か月平均）
溶解処理委託　廃棄46,790kg
文書保存箱購入の購入（大）1,000箱（小）500箱

〈事業名〉　ファイリングシステムの維持管理事業
〈事業費〉　1,116,390 円
〈概　要〉　全部署の維持管理点検及び支援
ファイリングに関する説明会の実施
ファイリング用品の購入
ファイル基準表管理システム（検索システム）による公文書管理

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	10,402,116 円

〈所　　管〉　総務部　財政課
〈予算区分〉　款）総務費　　項）総務管理費　　目）財政管理費

事務事業名	ふるさと応援基金積立事業	予算現額	7,034,000 円
		決算額	3,858,319 円

〈事業を行った成果・効果〉

翌年度以降に寄附者の意向に沿った事業の財源に計画的に活用するため、ふるさと納税寄附金を積立てるとともに、これまでの積立金を財源として活用することで新たな事業の実施に寄与することができました。

〈主な事業の成果〉

〈事業名〉　ふるさと応援基金積立事業
〈事業費〉　3,858,319 円
〈概　要〉　令和6年4月～令和7年3月ふるさと納税受入分

受入メニュー	令和6年度受入額①
災害対策・防犯・市民生活	419,000
健康・福祉	474,000
教育・文化	1,014,000
環境・コミュニティ	163,000
都市基盤・産業振興	167,000
朝霞市におまかせ	1,621,319
合計	3,858,319

※「朝霞市におまかせ」には基金利子を含む。

ふるさと応援基金残高（令和7年3月末）

前年度までの積立額②	令和6年度取崩額③	合計額①＋②－③
2,297,000		2,716,000
3,290,000		3,764,000
5,372,000		6,386,000
1,923,000		2,086,000
1,052,000		1,219,000
7,872,882	6,717,000	2,777,201
21,806,882	6,717,000	18,948,201

単位：円

ふるさと納税寄附金を活用した取組（令和6年度）

取組名	所管課	一般財源（基金繰入額）
申請書作成ソリューション導入	課税課	923,805
ご遺族支援コーナーの設置	総合窓口課	1,292,047
ご遺族支援コーナー備品購入	財産管理課	91,705
滝の根公園長寿命化工事	みどり公園課	2,923,497
城山公園再開準備工事	みどり公園課	1,485,946
合計		6,717,000

単位：円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	3,858,319 円	0 円

〈所　　管〉　総務部　財産管理課
〈予算区分〉　款）総務費　　項）総務管理費　　目）財産管理費

事務事業名	公有財産管理事業	予算現額	5,721,000 円
		決算額	5,678,835 円

〈事業を行った成果・効果〉

令和5年度に定めた「公共施設等マネジメント実施計画（第2期）策定方針」に基づき、令和8年度から10年間を計画期間とする「公共施設等マネジメント実施計画（第2期）」の策定に取り組みました。

施設所管課において実施した、施設点検と施設カルテの結果に基づき、計画期間中の改修対象施設及び改修の優先順位（案）を定め、公共施設等総合管理計画庁内検討委員会等により検討を重ね、計画（第2期）（案）の策定に取り組むことができました。

〈主な事業の成果〉

〈事業名〉　公共施設等マネジメント実施計画策定（令和5～6年度 継続事業）
〈事業費〉　3,267,000 円　（R5　803,000円、R6　3,267,000円）
〈概　要〉　■令和6年度
・公共施設等総合管理計画庁内検討委員会の開催　5回（①R6.5.20、②7.30、③8.22、④12.19、⑤3.13）
・公共施設等マネジメント実施計画策定検討会議の開催　5回
（①R6.4.18、②5.1、③6.28、④R7.2.21※書面による照会）
・政策調整会議（部長級職員）での策定経過報告（R6.5.13）

■今後の予定（令和7年度）
・公共施設等総合管理計画の開催
・公共施設等マネジメント実施計画（第2期）（案）の市民コメント手続を実施
・公共施設等マネジメント実施計画（第2期）の策定（R7.8頃予定）

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	5,678,835 円

〈所　　管〉　総務部　財産管理課
〈予算区分〉　款）総務費　　項）総務管理費　　目）財産管理費

事務事業名	庁舎施設改修事業	予算現額	155,602,000 円
		決算額	138,850,932 円

〈事業を行った成果・効果〉

市庁舎は、建築から50年以上が経過しており、設備等さまざまな箇所で劣化が進んでいることから、令和5年度に実施した「市庁舎劣化状況調査」の結果を踏まえ、令和6年度に「市庁舎長寿命化改修工事 基本設計」を実施し、改修工事の基本的な方針の検討に取り組むことができました。

〈主な事業の成果〉

〈事業名〉　市庁舎長寿命化改修工事　基本設計（R6.11.6～R7.3.24）
〈事業費〉　15,400,000 円
〈概　要〉　劣化状況、耐用年数、財政状況等を踏まえ、改修規模を考慮し、必要最小限の機能回復・機能向上（リニューアル）の実施を方針として、基本設計を実施。

〈事業名〉　市庁舎本館空調設備改修事業（R5.9.19～R6.6.2
〈事業費〉　80,883,000 円　（工事総額　132,363,000円　うち51,480,000円は令和5年度に前払い済）
〈概　要〉　本庁舎本館3階から5階の空調設備について、窓際に設置していた吹き出しを取りやめ、執務室内をバランスよく空調するために、天井埋め込み型の空調設備を設置。

〈事業名〉　市庁舎本館屋上防水改修工事（R5.11.14～R6.6.2
〈事業費〉　31,603,000 円
〈概　要〉　経年による劣化のため、屋上防水の改修を行うとともに、断熱性能の向上を図るために防水膜の下に断熱材を設置。

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	138,850,932 円

〈所　　管〉　総務部　デジタル推進課
〈予算区分〉　款）総務費　　項）総務管理費　　目）デジタル推進費

事務事業名	電算管理事業	予算現額	317,078,000 円
		決算額	314,419,725 円

〈事業を行った成果・効果〉
公共施設予約システムの更新を行い、ユニバーサルデザインを採用したほか、インボイス対応領収書の発行機能を整備したことで、市民の利便性の向上と社会の変化に対応することができました。また、自治体中間サーバー・プラットフォームの更新を行うことで、安全かつ安定的な運用に努めることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　施設予約システム更新事業
〈事業費〉　4,906,730 円
〈概　要〉　契約期間満了を迎える現行の施設予約システムを更新する。
契約期間：令和7年3月1日～令和12年2月28日
対象施設：体育施設（総合体育館、テニスコート等）及び文化施設（市民会館、産業文化センター、公民館等）
計31施設

〈事業名〉　地方公共団体情報システム機構負担金
〈事業費〉　4,920,000 円
〈概　要〉　中間サーバーを更新する。
国費措置分　4,920,000 円　（社会保障・税番号制度システム整備費補助金）

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	6,680,000 円	0 円	0 円	0 円	307,739,725 円

〈所　　管〉　総務部　デジタル推進課
〈予算区分〉　款）総務費　　項）総務管理費　　目）デジタル推進費

事務事業名	デジタル推進事業	予算現額	25,872,000 円
		決算額	24,364,035 円

〈事業を行った成果・効果〉
電子決裁・文書管理システムを構築したことで、庁内事務のペーパーレス化を促進する環境を整備し、AI－OCR及びRPAの活用を拡充することで更なる業務の効率化を図ることができました。また、職員に対して研修を実施することで、デジタル人材の育成を進めることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　電子決裁・文書管理システム構築事業
〈事業費〉　17,867,300 円
〈概　要〉　電子による決裁及び文書保存を行うためのシステム構築委託

〈事業名〉　AI-OCR及びRPA拡充事業
〈事業費〉　2,519,000 円
〈概　要〉　AI-OCR及びRPAを活用することによって業務の効率化を図る
新たに3部署で活用を開始し、令和6年度末現在で5部署で活用中

〈事業名〉　デジタル人材育成事業
〈事業費〉　1,100,000 円
〈概　要〉　職員を受講対象としたデジタル化の推進に向けた知識習得及び意識醸成を図るための研修委託
課長職を対象とした研修を2日間実施（参加人数：44人）

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	24,364,035 円

〈所　　管〉　総務部　契約検査課
〈予算区分〉　款）総務費　　項）総務管理費　　目）契約検査費

事務事業名	契約管理事業	予算現額	11,042,000 円
		決算額	10,403,499 円

〈事業を行った成果・効果〉
物品の買入等に関しての入札執行や入札参加資格審査の受付を電子化したことにより、入札参加に係る窓口や方法が一つに集約され、事業者にとって時間や経費の面でのメリットがありました。
また、市としても、事務の省力化、登録事業者の増加、入札・契約業務の適正化などに繋がりました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　物品の買入れ等の入札参加資格審査及び競争入札の電子化
〈事業費〉　6,056,040 円
〈概　要〉　物品の買入れ等に関して、市独自で紙文書により実施している入札参加資格審査の受付及び郵便(紙)で実施している入札の執行について、建設工事等と同様に、『埼玉県電子入札共同システム』を利用してオンライン化及び電子化を図るもの。
デジタル技術の活用により、地域の個性を活かしながら、地方を活性化し、持続可能な経済社会を目指す「デジタル田園都市国家構想」を推進するため、地方自治体が行うデジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上の実現に向けて、国が交付金により支援するもの。(交付対象事業費の1／2が国庫支出金の対象となる。)

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	3,028,020 円	0 円	0 円	0 円	7,375,479 円

〈所　　管〉　危機管理室
〈予算区分〉　款）総務費　　項）総務管理費　　目）危機管理対策費

事務事業名	防災対策事業	予算現額	27,348,000 円
		決算額	18,662,071 円

〈事業を行った成果・効果〉
災害に備えるため、備蓄食料を整備するとともに、避難所用備蓄物資購入などの各種事業を実施したことにより、防災対策を推進することができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　災害用備蓄食料の整備
〈事業費〉　3,225,420 円
〈概　要〉　備蓄食料　13,800食(レトルト、アルファ米)

〈参考〉備蓄されているアルファ米

備蓄場所	食料数	備蓄場所	食料数
第一小学校防災倉庫	5,400食	第六小学校防災倉庫	5,400食
第二小学校防災倉庫	5,400食	第七小学校防災倉庫	5,400食
第三小学校防災倉庫	5,400食	第八小学校防災倉庫	5,400食
第四小学校防災倉庫	5,400食	第九小学校防災倉庫	5,400食
第五小学校防災倉庫	5,400食	第十小学校防災倉庫	5,400食

〈事業名〉　災害時物資運搬用公用車のリース
〈事業費〉　218,790 円
〈概　要〉　災害時、物資が不足した避難所へ物資を運搬するための公用車をリースする。

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	80,000 円	0 円	0 円	0 円	18,582,071 円

〈所　　管〉　危機管理室
〈予算区分〉　款）総務費　　項）総務管理費　　目）危機管理対策費

事務事業名	地域防災推進事業	予算現額	4,785,000 円
		決算額	3,985,401 円

〈事業を行った成果・効果〉
防災展・防災フェアを開催するなど、自主防災意識を醸成することで、地域防災力の向上を図ることができました。また、整備した備蓄物資を取り入れた避難所開設訓練等を行うことで、配備した物品の適正な運用の理解を促し、円滑な避難所運営を行うことができるようになりました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　避難行動要支援者個別避難計画作成協力者謝金事業
〈事業費〉　14,000 円
〈概　要〉　個別避難計画1件作成ごとに謝金を支払う。謝金は1件につき7,000円とする。

〈事業名〉　自主防災活動等事業費補助事業
〈事業費〉　1,100,000 円
〈概　要〉　補助対象：自主防災組織等が行う自主防災活動に係る経費
補助額：対象経費の4/5、2/3、1/2
補助件数：26件
補助内容：訓練補助 11団体　資機材整備補助 5団体　備蓄食料整備事業 10団体

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	3,985,401 円

〈所　　管〉　危機管理室
〈予算区分〉　款）総務費　　項）総務管理費　　目）危機管理対策費

事務事業名	地域防災計画策定事業	予算現額	12,659,800 円
		決算額	12,658,800 円

〈事業を行った成果・効果〉
前回改定から8年経過しており、災害発生に備え、防災体制の強化を図るため、現状に即した計画を策定することができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　地域防災計画改定事業（令和5～6年度 継続事業）
〈事業費〉　12,130,800 円
〈概　要〉　令和5年　防災アセスメント調査、庁内検討委員会、防災会議開催、各課検討（対策別マニュアル等の修正）
令和6年　地域防災計画改定、各種災害対応マニュアルの修正、業務継続計画案の修正、市民コメントの実施

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	12,658,800 円

〈所　　管〉　危機管理室
〈予算区分〉　款）総務費　　項）総務管理費　　目）危機管理対策費

事務事業名	防犯対策推進事業	予算現額	32,313,000 円
		決算額	24,068,360 円

〈事業を行った成果・効果〉
青色回転灯装備車によるパトロールや、防犯灯のLED化に要する経費に対して補助などを実施したことで、市民の防犯意識の高揚及び安全な生活環境の整備に寄与することができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　青色防犯パトロールカー運行業務委託
〈事業費〉　6,755,760 円
〈概　要〉　県警と陸運局の許可を受けた青色回転灯を装備した車両で市内の小中学校や公園の周辺、住宅街等のパトロールを実施

〈事業名〉　防犯灯維持管理費補助事業
〈事業費〉　7,687,400 円
〈概　要〉　対象：町内会等が管理する防犯灯の維持に要する経費
補助額：1年間に支払った防犯灯の電気料金の4/5
件数：64団体

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	24,068,360 円

〈所　　管〉　市長公室　政策企画課
〈予算区分〉　款）総務費　　項）政策企画費　　目）政策総務費

事務事業名	総合計画推進事業	予算現額	1,124,000 円
		決算額	733,600 円

〈事業を行った成果・効果〉
外部評価委員会を開催し、市が実施した施策の自己評価結果に対して外部の視点で意見・提言をいただき、評価結果の客観性及び透明性を高めた上で、市の施策の改善に取り組むことができました。また、令和4年2月に策定した行政改革推進基本方針に基づき、毎年度、実施計画を定めることで、新たな行政課題へ早期に対応できる体制を構築することができました。加えて、前年度の実績について、行政改革幹事会の審議を踏まえ、外部評価委員会においても効果検証を行うことで、行政コストの削減や市民サービスの向上を図るための取組を効果的に進めることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　外部評価委員会会議運営事業
〈事業費〉　733,600 円
〈概　要〉　外部評価委員会の開催　8回
市が実施した施策評価結果に対する意見、提言
第5次朝霞市総合計画後期基本計画の総括評価結果に対する意見、提言
外部評価結果報告書の提出（8月）
外部評価委員会の所見に関する検討結果の報告（2月）

〈事業名〉　行政改革推進事業
〈事業費〉　0 円
〈概　要〉　行政改革推進実施計画【令和5年度（2023年度）実績報告】の決定
行政改革推進実施計画【令和7年度（2025年度）版】の策定

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	733,600 円

〈所　　管〉　市長公室　政策企画課
〈予算区分〉　款）総務費　　項）政策企画費　　目）政策総務費

事務事業名	第6次総合計画策定事業	予算現額	13,489,000 円
		決算額	9,406,604 円

〈事業を行った成果・効果〉
第6次朝霞市総合計画の策定に当たり、幅広い市民の意見を生かした計画とするため、市民意見交換会や分野別市民懇談会を開催したほか、小中学生や高校生、大学生の意見を聴取するなど、市民参画の機会を充実させました。
また、総合計画審議会を9回開催し、多くの意見を頂くなど、市民の意見を取り入れた計画づくりを進めることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　第6次総合計画策定事業（令和5～7年度 継続事業）
〈事業費〉　9,406,604 円
〈概　要〉　総合計画審議会の開催（計9回）
総合計画策定支援業務の委託
第5次朝霞市総合計画後期基本計画総括評価の実施
大学生アンケートの実施（大学生及び大学院生　計44人）
高校生サロンの実施（高校生　計42人）
小中学生の意見聴取の実施（小中学生　計328人）
市民意見交換会の実施（計68人）
分野別市民懇談会の実施（全5分野　計75人）

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	9,406,604 円

〈所　　管〉　市長公室　政策企画課
〈予算区分〉　款）総務費　　項）政策企画費　　目）政策総務費

事務事業名	朝霞地区4市共用火葬場設置検討事業	予算現額	12,306,000 円
		決算額	6,724,465 円

〈事業を行った成果・効果〉
朝霞市、志木市、和光市及び新座市の市長で構成する「朝霞地区4市共用火葬場設置検討協議会」や、朝霞地区4市の企画部門及び環境部門を所掌する部長及び課長で構成する「朝霞地区4市共用火葬場設置検討協議会調整会議」において、朝霞地区4市で公設の火葬場を設置するための検討を行いました。
また、市民説明会や市民コメントを実施し、市民の意見を踏まえた「朝霞地区4市共用火葬場設置基本構想」を策定しました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　朝霞地区4市共用火葬場設置検討事業
〈事業費〉　6,724,465 円
〈概　要〉　朝霞地区4市共用火葬場設置基本構想の策定
朝霞地区4市共用火葬場設置検討協議会の開催　3回
朝霞地区4市共用火葬場設置検討協議会調整会議の開催　3回

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	6,724,465 円

〈所　　管〉　市長公室　シティ・プロモーション課
〈予算区分〉　款）総務費　　項）政策企画費　　目）シティ・プロモーション費

事務事業名	シティ・プロモーション事業	予算現額	2,995,000 円
		決算額	2,208,906 円

〈事業を行った成果・効果〉

令和4年度に策定したシティ・プロモーション方針に基づき、市のブランドタグライン「むさしのフロントあさか」や市キャラクター「ぽぽたん」を活用し、市の認知度向上を図ることやシティ・セールス朝霞ブランドに認定している地域資源を活用したプロモーションを展開してきたことで、市民の愛着の醸成や市外の方へは、選ばれるまちとなるよう取り組みを進めることができました。

〈主な事業の成果〉

〈事業名〉　シティ・プロモーション会議等実施事業
〈事業費〉　498,200 円
〈概　要〉　①シティ・プロモーション委員会の開催（2回）・・・シティ・プロモーションの方向性の確認、各会議体の事業報告など
②朝霞市民プロモーションミーティングの開催（5回）・・・「実はあさかって〇〇」をテーマに、市民目線の朝霞ならではの魅力について、チラシの作成及び動画の作成
③シティ・プロモーション庁内推進委員会（4回）・・・7つのシティ・セールス朝霞ブランドの認知度向上を図るため、動画を作成するための、絵コンテを作成
・広報アドバイザーとのシティ・プロモーション会議　16回開催
・シティ・プロモーション研修　1回　　参加者数　21人

〈事業名〉　シティ・プロモーション事業の推進
〈事業費〉　1,520,956 円
〈概　要〉　・主に朝霞市内で撮影された映画「平場の月」の撮影に協力したことで、市の認知度の向上を図る。
・市キャラクター「ぽぽたん」が市内外のイベントへ積極的に参加したことによる市のPR
・包括連携協定を締結しているカインズ（くみまちモールあさか）との共催による彩夏祭でぽぽ鳴子のワークショップを開催し、347個を販売。また、「ぽぽ鳴子インスタグラム投稿キャンペーン」を実施しSNSで市の魅力を発信した。
・ナナコライブリーFMで、毎月第1月曜日午前8時から放送中の（再放送他7回、YouTube配信あり）「ラジオdeむさしのフロントあさか」で市政情報や市の魅力を発信

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	25,111 円	2,183,795 円

〈所　　管〉　市長公室　シティ・プロモーション課
〈予算区分〉　款）総務費　　項）政策企画費　　目）シティ・プロモーション費

事務事業名	広報事業	予算現額	6,183,000 円
		決算額	6,133,714 円

〈事業を行った成果・効果〉

主に市外の方に向け、朝霞市の歴史や四季のイベント、むさしのフロントあさかなど市の紹介を目的に市勢要覧を発行しました。
また、情報発信ツールのひとつである市掲示板の修繕や新規設置を行いました。その他、市ホームページやSNSを活用し、情報発信に努め、市民に緊急情報や市からのお知らせ等を周知することができました。

〈主な事業の成果〉

〈事業名〉　朝霞市市勢要覧の発行
〈事業費〉　541,200 円
〈概　要〉　・市の歴史や魅力等を紹介する冊子として、令和7年3月に発行
・印刷部数：3，000部（32ページ・フルカラー）
・市外の方に向け、行政視察や市外イベント等において令和7年度から配布

〈事業名〉　朝霞市掲示板の修繕
〈事業費〉　581,900 円
〈概　要〉　・市掲示板は、市内128か所に設置
・板面の汚損等によりポスター等の掲示に支障が大きい掲示板から順次修繕を実施（修繕箇所数：11か所）

≪修繕した掲示板の一例（修繕前及び後）≫

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	960,000 円	5,173,714 円

〈所　　管〉　市長公室　シティ・プロモーション課
〈予算区分〉　款）総務費　　項）政策企画費　　目）シティ・プロモーション費

事務事業名	広報あさか発行事業	予算現額	36,217,000 円
		決算額	34,779,566 円

〈事業を行った成果・効果〉
毎月1日・月1回、広報あさかを発行し、市の各種情報の発信をすることができました。また、発行日前の5日間に市内全戸に配付したほか、市ホームページへの掲載や各駅への配架により市民へ市政情報をお知らせすることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　広報あさかの発行
〈事業費〉　19,272,594 円
〈概　要〉　・広報発行により、市民への施策等の行政情報やイベント情報等を発信することで、市政情報の周知に努めた。
・広報あさか 令和6年5月号から令和7年4月号までの毎月1日・月1回の発行（発行回数：12回）
・印刷部数合計：854，000部（月平均約71，166部）

〈事業名〉　広報あさかの市内全戸配布
〈事業費〉　15,450,685 円
〈概　要〉　・発行した広報を発行日（毎月1日）の前5日間に、市内全戸に配布することで市政情報の周知に努めた。
・広報あさか 令和6年5月号から令和7年4月号までの市内全戸配布（配布回数：12回）
・配布部数合計：841，318部（月平均約70，109部）

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	2,700,000 円	32,079,566 円

〈所　　管〉　総務部　課税課
〈予算区分〉　款）総務費　　項）徴税費　　目）課税費

事務事業名	市民税等賦課事業	予算現額	33,208,000 円
		決算額	29,564,455 円

〈事業を行った成果・効果〉
カードリーダーに本人確認書類を置くことで、住所・氏名・生年月日が記入された証明書交付申請書を出力する申請書作成支援システムを導入し、利用者の利便性向上や、正確な住所・氏名・生年月日が印字されることによる確認精度向上などの効果がありました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　申請書作成支援システム導入
〈事業費〉　923,805 円
〈概　要〉　申請書作成支援ソリューションの導入
（内訳）
申請書作成支援ソリューション　717,225円
タブレット型端末　176,000円
プリンター　30,580円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	18,661,364 円	0 円	1,637,905 円	9,265,186 円

〈所　　管〉　総務部　課税課
〈予算区分〉　款）総務費　　項）徴税費　　目）課税費

事務事業名	固定資産税等賦課事業	予算現額	34,292,000 円
		決算額	31,799,316 円

〈事業を行った成果・効果〉
賦課に必要な基礎資料の整備及びシステムの保守・運用業務を実施したことで、固定資産税等の賦課を適正かつ公平に行うことができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　課税資料作成業務委託
〈事業費〉　24,992,000 円
〈概　要〉　航空写真撮影、土地評価（評価替えを含む）、土地家屋現況図経年異動修正、税務地図情報システム・家屋評価システムに係る保守・運用業務

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	2,899,757 円	28,899,559 円

〈所　　管〉　総務部　課税課
〈予算区分〉　款）総務費　　項）徴税費　　目）課税費

事務事業名	軽自動車税等賦課事業	予算現額	2,779,000 円
		決算額	2,459,132 円

〈事業を行った成果・効果〉
原動機付自転車標識に朝霞市キャラクター「ぽぽたん」及び彩夏祭シンボルキャラクター「彩夏ちゃん」を取り入れたご当地ナンバーを導入したことで、市民の方々に地域への愛着を深めていただくとともに、朝霞市を広くPRすることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　ご当地ナンバープレート導入事業
〈事業費〉　457,875 円
〈概　要〉　原動機付自転車用ナンバープレートの購入
（内訳）
ぽぽたんナンバープレート　200枚
彩夏ちゃんナンバープレート　400枚
標準型ナンバープレート　750枚

ぽぽたんナンバープレート

彩夏ちゃんナンバープレート

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	10,000 円	2,449,132 円

〈所　　管〉　総務部　収納課
〈予算区分〉　款）総務費　　項）徴税費　　目）収税費

事務事業名	市税徴収事業	予算現額	108,129,000 円
		決算額	102,088,845 円

〈事業を行った成果・効果〉
コンビニエンスストア、クレジットカード、スマートフォンアプリと多岐にわたる収納方法を取り入れたことで、納税者の利便性の向上と納付機会の拡充を図ることができました。また、主に現年度の市税等の未納者に対し、電話その他文書による催告を実施したことで、早期の滞納解消につなげることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　市税等収納代行事業
〈事業費〉　15,343,894 円
〈概　要〉

コンビニ収納	市税	111,592 件	2,597,101,428 円	国保	52,698 件	918,890,084 円
スマホ収納	市税	8,010 件	253,985,686 円	国保	4,434 件	101,709,145 円
クレジット収納	市税	3,466 件	147,374,109 円	国保	1,248 件	44,781,100 円

〈事業名〉　納税コールセンター事業
〈事業費〉　10,560,000 円
〈概　要〉
電話発信件数　22,895 件　（うち接触件数　4,989 件）
文書催告件数　4,953 件
催告に係る未納額　264,028,803 円
うち納付額　139,257,950 円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	32,163,047 円	0 円	180,180 円	69,745,618 円

〈所　　管〉　市民環境部　総合窓口課
〈予算区分〉　款）総務費　　項）戸籍住民基本台帳費　　目）戸籍住民基本台帳費

事務事業名	戸籍管理事業	予算現額	44,837,000 円
		決算額	42,341,374 円

〈事業を行った成果・効果〉
戸籍システムについて、国のガバメントクラウドに準拠したシステムに移行するためのシステム改修を行うとともに、令和7年5月から開始する戸籍への振り仮名記載を行うためのシステム改修を行うことで、本籍人へ送付する通知の準備を円滑に進めることができました。
また、令和6年7月に開設したご遺族支援コーナーにおいて、亡くなられた方の手続きに関する支援を行うことで、ご遺族の負担軽減に繋げることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　戸籍管理事業
〈事業費〉　15,029,520 円
〈概　要〉
戸籍電算システム保守点検委託業務　4,205,520円
戸籍情報システム・戸籍附票システムデータクレンジング作業委託　2,376,000円
振り仮名の仮登録に係る戸籍附票システム改修委託　1,034,000円
戸籍の附票システム改修委託　1,628,000円
振り仮名情報の保存に係る戸籍情報システム改修委託　4,026,000円
振り仮名通知出力機能に係る戸籍情報システム改修委託　1,760,000円
〈事業名〉　ご遺族支援コーナー運営事業
〈事業費〉　6,672,879 円
〈概　要〉
ご遺族支援コーナーの運営
開設日：令和6年7月1日
利用対象者：死亡時に朝霞市に住民登録されていた方のご遺族
利用件数：409件（令和6年7月1日～令和8年3月31日利用分）

ご遺族支援コーナー

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	14,252,581 円	120,098 円	0 円	11,310,897 円	16,657,798 円

〈所　　管〉　市民環境部　総合窓口課
〈予算区分〉　款）総務費　　項）戸籍住民基本台帳費　　目）戸籍住民基本台帳費

事務事業名	住民基本台帳管理事業	予算現額	62,148,000 円
		決算額	56,059,108 円

〈事業を行った成果・効果〉
マイナンバーカードを活用した住民票等のコンビニ交付を実施したことで、市民の利便性の向上を図ることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　住民票等コンビニ交付事業
〈事業費〉　11,313,787 円
〈概　要〉　コンビニ交付件数
住民票の写し　16，945件
印鑑登録証明書　11，507件
課税所得・非課税証明書 2，059件
合計　30，511件
交付手数料　6,102,200円（1件200円）

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	41,395,000 円	0 円	0 円	14,348,800 円	315,308 円

〈所　　管〉　市民環境部　総合窓口課
〈予算区分〉　款）総務費　　項）戸籍住民基本台帳費　　目）戸籍住民基本台帳費

事務事業名	市民葬事業	予算現額	6,229,000 円
		決算額	6,227,033 円

〈事業を行った成果・効果〉
市が委託した葬儀社で市指定の仕様により市民が葬儀を行った場合に、葬儀費用の一部を市が負担したことで、市民の葬儀費用の軽減を図ることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　市民葬事業
〈事業費〉　6,227,033 円
〈概　要〉　1件あたりの費用負担額　葬儀を行う場合　20,000 円
火葬のみを行う場合　10,000 円
利用件数　葬儀を行う場合　271 件
火葬のみを行う場合　58 件

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	6,227,033 円

〈所　　管〉　選挙管理委員会事務局
〈予算区分〉　款）総務費　　項）選挙費　　目）選挙管理委員会費

事務事業名	選挙管理委員会運営事業	予算現額	7,823,000 円
		決算額	4,029,310 円

〈事業を行った成果・効果〉
選挙システムの標準化への移行にあたり、環境設定および基幹系システムとの連携状況について調査、分析を行ったことで、現状は選挙システムと基幹系システムとの連携は難しい状況であるということを把握することができました。今後は標準化の実施に向け基幹系システムを運用する事業者とともに実施に向けた方法を検討していきます。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　ガバメントクラウド環境構築委託
〈事業費〉　2,075,150 円
〈概　要〉　ガバメントクラウド上の環境設定および標準準拠システムに必要な初期設定を行うにあたる調査を行った。
令和7年度中、標準化実施に向けた方法を検討。
令和8年度、基幹系システムによる標準化を実施

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	2,075,000 円	0 円	0 円	0 円	1,954,310 円

〈所　　管〉　市民環境部　地域づくり支援課
〈予算区分〉　款）総務費　　項）地域づくり支援費　　目）地域づくり支援費

事務事業名	コミュニティ推進事業	予算現額	46,555,000 円
		決算額	45,928,094 円

〈事業を行った成果・効果〉
朝霞市コミュニティ協議会が主催する市民まつりに補助金を交付したことで、ふるさと意識と地域コミュニティの醸成を図り、地域文化の創出に寄与することができました。また、市民まつりの鳴子踊りに参加する小学校及び中学校に対し、その費用の一部を補助したことで、本市の文化に親しみ、ふるさと意識を醸成し、児童及び生徒の健全な育成を図ることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　市民まつり助成事業
〈事業費〉　43,719,000 円
〈概　要〉　交付団体：朝霞市コミュニティ協議会（朝霞市民まつり実行委員会）
開催日程：令和6年8月2日（金）から8月4日（日）まで
来場者数：約73万人
打上花火：9,000発
関八州よさこいフェスタ参加チーム：95チーム、約6,000人

〈事業名〉　鳴子踊り参加促進支援事業
〈事業費〉　1,495,164 円
〈概　要〉　朝霞市鳴子踊り参加促進支援事業補助金
継続参加校：20万円×5校（小学校3校・中学校2校）※1校より4,836円の戻し入れあり。
再準備：50万円×1校
※参加補助金を10万円から20万円に増額。再準備補助金50万円を新設。

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	238,408 円	45,689,686 円

〈所　　管〉　市民環境部　地域づくり支援課
〈予算区分〉　款）総務費　　項）地域づくり支援費　　目）地域づくり支援費

事務事業名	市民活動支援ステーション運営事業	予算現額	4,326,000 円
		決算額	4,178,622 円

〈事業を行った成果・効果〉
NPO法人などの市民活動団体に補助金を交付するとともに、市民活動の啓発や団体の運営支援を目的とした事業を実施したことで、市民活動の活性化や、活動への参加意識の高揚を図ることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　市民活動団体支援補助金
〈事業費〉　377,601 円
〈概　要〉　市民活動団体が実施する事業に対する補助（事業補助）15団体

〈事業名〉　地域デビュー支援セミナー（シニア共助担い手塾）
〈概　要〉　開 催 日　令和7年1月25日（土）
内　　容　①基調講演（自分の好き×地域にいいこと～地域デビューのヒントを探そう～）
②活動事例発表（NORDICあさか、あさか市民大学、朝霞ぐらんぱの会）
③相談コーナー（就労・ボランティア相談、健康測定他）
参加者数　35人（基調講演・活動事例発表）

〈事業名〉　市民活動パネル展
〈概　要〉　開催場所　カインズ朝霞店、わくわくどーむ、図書館、市役所市民ホール他
延べ100日間開催

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	4,178,622 円

〈所　　管〉　市民環境部　地域づくり支援課
〈予算区分〉　款）総務費　　項）地域づくり支援費　　目）消費生活対策費

事務事業名	市民相談事業	予算現額	4,204,000 円
		決算額	4,202,688 円

〈事業を行った成果・効果〉
弁護士による無料の法律相談を実施したことで、日常生活において直面する法律問題や悩み解決のための支援ができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　法律相談事業
〈事業費〉　4,040,000 円
〈概　要〉　相談日　毎週水・金曜日
相談時間　10時～正午　13時～15時（1組30分）
相談員　弁護士（1人体制）
相談件数　661件

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	4,202,688 円

〈所　　管〉　市民環境部　地域づくり支援課
〈予算区分〉　款）総務費　　項）地域づくり支援費　　目）消費生活対策費

事務事業名	消費生活相談事業	予算現額	11,753,000 円
		決算額	10,497,867 円

〈事業を行った成果・効果〉
日々複雑化・多様化する消費者トラブルに関する相談に対し、消費生活相談員が解決に向けて助言やあっせんを行ったことで、被害の回復や未然防止につなげることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　消費生活相談事業
〈事業費〉　8,431,350 円
〈概　要〉　相談日　毎週月～金曜日
相談時間　10時～正午　13時～16時
相談員　消費生活相談員（2～3人体制）
相談件数　812件

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	1,239,842 円	0 円	0 円	9,258,025 円

〈所　　管〉　市民環境部　地域づくり支援課
〈予算区分〉　款）総務費　　項）地域づくり支援費　　目）市民センター費

事務事業名	施設改修事業（市民センター費）	予算現額	172,086,000 円
		決算額	71,120,000 円

〈事業を行った成果・効果〉
公共施設等マネジメント実施計画に基づき、仲町市民センターの大規模改修工事を行うことにより、利用者に安全で快適に利用いただけるよう、施設機能を適切に維持管理することができます。（令和7年8月利用再開予定）
また、栄町市民センターの空調設備の修繕を迅速に行うことにより、長期の施設利用停止を防ぐことができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　仲町市民センター大規模改修工事（令和6～7年度 継続事業）
〈事業費〉　64,740,000 円
〈概　要〉　公共施設マネジメント実施計画に定められている、仲町市民センターの大規模改修工事により
施設の機能回復を図る。
工期　R6.9.27～R7.7.31

〈事業名〉　栄町市民センター3階空調設備改修工事
〈事業費〉　6,380,000 円
〈概　要〉　栄町町内会館の空調設備の故障に伴う、空調設備3台及び室外機の交換工事
工期　R6.11.6～R7.3.14

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	64,740,000 円	6,380,000 円

〈所　　管〉　市民環境部　内間木支所
〈予算区分〉　款）総務費　　項）支所及び出張所費　　目）内間木支所費

事務事業名	施設改修事業（内間木支所費）	予算現額	5,815,000 円
		決算額	5,787,100 円

〈事業を行った成果・効果〉
公共施設等マネジメント実施計画に基づき、内間木支所庁舎の耐震改修工事に伴う設計業務を実施したことにより、安全な施設管理を進めることがことができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　内間木支所長寿命化対策調査・改修（設計業務）
〈事業費〉　5,787,100 円
〈概　要〉　耐震診断の結果を受け、建物の強度不足を改善するため、耐震改修工事設計業務を実施し、
最適な補強方法を検討
【建物現況】 延べ床面積：339.59㎡
構造：RC造 階数：2階

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	5,787,100 円	0 円

〈所　　管〉　市民環境部　朝霞駅前出張所
〈予算区分〉　款）総務費　　項）支所及び出張所費　　目）朝霞駅前出張所費

事務事業名	窓口事業（朝霞駅前出張所）	予算現額	77,182,000 円
		決算額	73,896,576 円

〈事業を行った成果・効果〉
旅券（パスポート）の申請受付・交付事務を実施したことで、市民の利便性向上を図ることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　旅券（パスポート）の申請受付・交付事業
〈事業費〉　65,376,850 円
〈概　要〉　申請　月～金曜日（午前9時～午後4時30分）
交付　日～金曜日（午前9時～午後4時30分、木曜日は午後7時30分まで）
令和6年度申請件数　5,084 件

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	2,823,000 円	1,006,000 円	0 円	61,531,200 円	8,536,376 円

第3款 民生費

〈所　　管〉　福祉部　福祉相談課
〈予算区分〉　款）民生費　　項）社会福祉費　　目）社会福祉総務費

事務事業名	民生委員児童委員活動事業	予算現額	22,430,000 円
		決算額	22,126,206 円

〈事業を行った成果・効果〉
民生委員児童委員の活動を支援したことで、地域福祉の推進を図ることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　民生委員児童委員活動事業
〈事業費〉　22,126,206 円
〈概　要〉　民生委員児童委員活動費　17,552,500円　151人（令和7年3月末時点）
民生委員児童委員協議会活動費　88,888円
地区民生委員児童委員協議会活動費　960,000円　6地区
民生委員推薦会の開催　3回

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	10,066,890 円	0 円	0 円	12,059,316 円

〈所　　管〉　福祉部　福祉相談課
〈予算区分〉　款）民生費　　項）社会福祉費　　目）社会福祉総務費

事務事業名	社会福祉増進事業	予算現額	143,803,000 円
		決算額	132,371,447 円

〈事業を行った成果・効果〉
社会福祉協議会の法人運営に加え、新たに開始する法人後見事業への補助を追加したことで、成年後見事業の推進を図ることができました。
また、地域における健康づくりや生きがいづくりなどのために、市内民間団体に補助金を交付したことで、保健福祉活動の振興を図ることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　社会福祉協議会補助事業
〈事業費〉　129,243,135 円（うち法人後見分2,703,845円）
〈概　要〉　社会福祉協議会人件費補助　123,826,454円　（うち法人後見分　2,349,663円）
事務事業費補助　5,416,681円　（うち法人後見分　354,182円）

〈事業名〉　地域保健福祉活動振興事業
〈事業費〉　1,956,800 円
〈概　要〉　交付団体数16団体

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	1,325,000 円	665,000 円	0 円	0 円	130,381,447 円

〈所　　管〉　福祉部　福祉相談課
〈予算区分〉　款）民生費　　項）社会福祉費　　目）社会福祉総務費

事務事業名	福祉相談事業	予算現額	22,073,000 円
		決算額	20,867,850 円

〈事業を行った成果・効果〉

生活困窮者自立支援相談や住居確保給付金の支給などにより、生活困窮者等の自立支援をすることができました。
また、生活困窮世帯等の子どもとその保護者を対象に、学習や進路、子育て相談等の学習支援事業を行うことで、居場所づくりや高校進学の支援ができたほか、家計改善支援事業を実施し、生活困窮者に家計管理や各種給付制度の利用にむけた支援、債務整理に関する支援を行い、生活改善を図りました。
成年後見相談事業を開始し、市民に相談窓口が周知され、成年後見制度の普及・啓発を図ることができました。

〈主な事業の成果〉

〈事業名〉　生活困窮者自立相談支援事業
〈事業費〉　16,028,947 円
〈概　要〉　生活困窮者自立支援相談 福祉相談支援員3人配置　相談件数　769件
住宅確保給付金　支給者数　6人　支給月数　延べ21か月
家計改善支援事業　支援者数　23人　延べ相談件数　75件
学習支援事業　ひとり親家庭支援事業の生活困窮者等学習支援事業と共同で実施。
利用者数　27人（中学性19人、高校生8人）
学習教室　48回　延べ　536人（毎週水曜日　午後6時～午後8時、東朝霞公民館）
家庭訪問・面談　延べ236回

〈事業名〉　成年後見相談事業
〈事業費〉　10,000 円
〈概　要〉　成年後見制度に係る弁護士、司法書士、社会福祉士いずれかへの専門相談の実施
令和6年6月から実施。専門相談利用者数：1人
成年後見制度に関する相談者数：47人（延べ）

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	12,421,681 円	0 円	0 円	0 円	8,446,169 円

〈所　　管〉　福祉部　福祉相談課
〈予算区分〉　款）民生費　　項）社会福祉費　　目）社会福祉総務費

事務事業名	地域福祉計画策定事業	予算現額	7,838,000 円
		決算額	7,525,600 円

〈事業を行った成果・効果〉

第5期朝霞市地域福祉計画の策定にあたり、市民アンケートや地域懇談会を開催したほか、児童生徒（小学生、中学生、高校生）や福祉団体などに意見を聴取し、ニーズや実態把握などを行うとともに、地域福祉計画推進委員会を4回開催し、様々な意見などをいただくことで、計画の策定に向けた検討を行うことができました。

〈主な事業の成果〉

〈事業名〉　地域福祉計画策定事業（令和6～7年度 継続事業）
〈事業費〉　7,525,600 円
〈概　要〉　地域福祉計画推進委員会での審議（4回）
地域福祉計画策定業務の委託
市民調査（市内在住の18歳以上の方　946件）
児童生徒調査（小学5年生、中学2年生、高校2年生にあたる方　341件）
専門職調査（福祉・医療・介護または教育・保育機関の方　158件）
団体調査（市内の福祉関係団体の方　52件）
社会福祉協議会による地域懇談会の開催（6回）
市内福祉団体ヒアリング（14団体）

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	7,525,600 円

〈所　　管〉　福祉部　障害福祉課
〈予算区分〉　款）民生費　　項）社会福祉費　　目）障害福祉総務費

事務事業名	障害者スポーツ・レクリエーション事業	予算現額	621,000 円
		決算額	344,040 円

〈事業を行った成果・効果〉
市内の障害者団体、支援者による団体、障害福祉事業所、又はボランティア等が連携して実施するスポーツ活動やレクリエーション活動などのイベントに使用する備品を購入し、貸し出しできるようにしたことで、 障害者の余暇活動の質の向上、親睦及び交流、又は社会参加を促進することができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　障害者レクリエーション備品購入
〈事業費〉　171,000 円
〈概　要〉　スポーツ用備品購入（ボッチャフルサイズコート、ベーシックセット、ターゲット）

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	79,110 円	39,540 円	0 円	0 円	225,390 円

〈所　　管〉　福祉部　障害福祉課
〈予算区分〉　款）民生費　　項）社会福祉費　　目）障害福祉費

事務事業名	障害者医療・手当給付事業	予算現額	583,160,000 円
		決算額	545,195,572 円

〈事業を行った成果・効果〉
重度の心身障害のある人に対し各種保険制度による一部負担金の支給を行ったことで、医療費の負担軽減が図られるとともに、在宅で重度の心身障害のある人に対し手当等を支給したことで、経済的な支援をすることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　育成医療費負担事業　　受給者証交付者数　12人　　支給件数　延べ16件
〈事業費〉　914,976 円

〈事業名〉　重度心身障害者医療費支給事業　　受給者証交付者数　1,741人　　支給件数　延べ45,354件
〈事業費〉　192,200,895 円

〈事業名〉　精神障害者通院医療費助成事業　　支給人数　562人　　支給件数　延べ15,741件
〈事業費〉　9,048,600 円

〈事業名〉　難病患者見舞金支給事業　　支給者数　916人
〈事業費〉　18,340,000 円

〈事業名〉　在宅重度心身障害者手当支給事業　　支給件数　延べ28,854件
〈事業費〉　112,690,000 円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	112,573,770 円	154,372,440 円	0 円	5,429,253 円	272,820,109 円

〈所　　管〉　福祉部　障害福祉課
〈予算区分〉　款）民生費　　項）社会福祉費　　目）障害福祉費

事務事業名	障害福祉助成事業	予算現額	47,231,000 円
		決算額	45,977,441 円

〈事業を行った成果・効果〉
障害福祉に関する各種助成を実施したことで、障害のある人の自立生活の向上を図ることができました。

〈主な事業の成果〉

〈事業名〉　在宅重度心身障害者紙おむつ支給事業　　一定の要件を満たした障害のある人に紙おむつを支給
〈事業費〉　4,334,666 円　　支給件数1,016件

〈事業名〉　身体障害者等診断書料助成事業　　新規の手帳取得者に上限5,000円を補助
〈事業費〉　1,345,681 円　　支給者数286件

〈事業名〉　福祉タクシー利用料金助成事業　　1枚につき初乗運賃相当額500円を助成（一人当たり上限30枚）
〈事業費〉　4,998,650 円　　交付者数435人　利用券利用枚数7,750枚

〈事業名〉　自動車燃料費補助事業　　年間補助限度額　一人あたり15,000円　支給者数　932人
〈事業費〉　13,366,496 円

〈事業名〉　交通系ICカード補助事業　　年間補助限度額　一人あたり15,000円　支給者数　1,151人
〈事業費〉　16,250,310 円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	93,238 円	269,602 円	0 円	0 円	45,614,601 円

〈所　　管〉　福祉部　障害福祉課
〈予算区分〉　款）民生費　　項）社会福祉費　　目）障害福祉費

事務事業名	障害者生活支援事業	予算現額	4,000,470,000 円
		決算額	3,931,695,565 円

〈事業を行った成果・効果〉

障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスの利用に係る自立支援給付の事業を実施したことで、障害のある人が自立した生活を営むことに寄与することができました。また、在宅の障害児及びその家族が安心して生活していくため、児童発達支援センターにおいて、障害児等療育支援事業を実施したことで、身近な地域において、療育指導や相談等を受けられる体制を充実させることができました。

〈主な事業の成果〉

〈事業名〉　コミュニケーション支援事業
〈事業費〉　19,209,984 円
〈概　要〉　手話通訳者派遣回数 502回　要約筆記者派遣回数 9回

〈事業名〉　移動支援事業
〈事業費〉　49,065,990 円
〈概　要〉　日常生活上必要不可欠な社会参加の際の移動を支援　利用時間 延べ16,128時間

〈事業名〉　補装具費支給事業
〈事業費〉　23,761,779 円
〈概　要〉　購入件数 97回　修理件数 46回

〈事業名〉　障害児(者)生活サポート事業
〈事業費〉　12,986,700 円
〈概　要〉　外出、送迎など、地域での生活を一人あたり年間150時間を限度として支援　利用時間 延べ5,452時間

〈事業名〉　障害児等療育支援事業
〈事業費〉　931,788 円
〈概　要〉　・児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所へのヒアリング　32ヶ所
・放課後児童クラブへのヒアリング　43ヶ所
・放課後児童クラブへの巡回支援　13ヶ所
・障害が疑われる子ども等への個別相談支援　42回実施
・保育園等に向けた研修の実施　2回実施

〈事業名〉　介護給付・訓練等給付事業
〈事業費〉　3,778,852,546 円
〈概　要〉　障害者総合支援法にもとづき自立支援給付を提供
〈主な障害福祉サービスの実績〉

サービス名	金額（円）	利用者数（請求件数）	サービス名	金額（円）	利用者数（請求件数）
居宅介護	261,358,189	2,033	就労継続支援A型	32,315,890	204
重度訪問介護	146,298,417	181	就労継続支援B型	332,881,291	2,595
行動援護	6,952,858	71	就労定着支援	11,356,347	357
同行援護	19,701,865	349	計画相談支援	50,595,304	2,753
療養介護	37,097,530	131	地域定着支援	302,104	34
生活介護	649,035,879	2,758	障害児相談支援	58,607,883	2,750
短期入所	37,684,747	435	児童発達支援	540,875,181	6,206
施設入所支援	176,657,898	1,107	放課後等デイサービス	699,079,863	9,070
共同生活援助	435,875,306	1,636	保育所等訪問支援	19,877,099	978
宿泊型自立訓練	1,107,830	7	居宅訪問型児童発達	500,545	12
自立生活援助	317,190	24	特定障害者特別給付費	26,581,727	2,424
自立訓練(機能訓練)	711,279	9	高額障害福祉サービス等給付費	349,730	7
自立訓練(生活訓練)	48,007,469	442	やむを得ない事由による措置費	4,570,169	37
就労移行支援	180,152,956	862			

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	1,625,276,074 円	843,907,068 円	0 円	143,534,158 円	1,318,978,265 円

〈所　　管〉　福祉部　障害福祉課
〈予算区分〉　款）民生費　　項）社会福祉費　　目）障害福祉費

事務事業名	障害者施設等運営支援事業	予算現額	433,605,000 円
		決算額	432,016,030 円

〈事業を行った成果・効果〉
障害福祉サービスを提供したことや、各施設に対して補助金を支給したことで、障害のある人が円滑な日常生活を送り、社会との交流促進を図ることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　総合福祉センター指定管理料（指定管理者　社会福祉法人朝霞市社会福祉協議会）
〈事業費〉　225,169,000 円
〈概　要〉　・障害福祉サービス事業　166,886,000円　利用者数　延べ12,492人
・障害相談支援事業　31,626,000円　利用者数　延べ5,632人
・障害就労支援事業　26,657,000円　利用者数　延べ2,061人　新規登録者数20人
就職者数　延べ32人

〈事業名〉　障害者ふれあいセンター指定管理料（指定管理者　社会福祉法人朝霞市社会福祉協議会）
〈事業費〉　131,814,000 円
〈概　要〉　・障害福祉サービス事業　119,526,000円　利用者数　延べ8,060人
・障害者相談支援事業　12,288,000円　利用者数　延べ1,871人

〈事業名〉　地域活動支援センター事業
〈事業費〉　25,905,647 円
〈概　要〉　対象施設　2施設（れすと、ぱれっと）　利用者数　延べ2,416人

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	435,000 円	1,151,000 円	0 円	800,000 円	429,630,030 円

〈所　　管〉　福祉部　福祉相談課
〈予算区分〉　款）民生費　　項）社会福祉費　　目）総合福祉センター費

事務事業名	施設改修事業（総合福祉センター費）	予算現額	52,723,000 円
		決算額	50,930,000 円

〈事業を行った成果・効果〉
総合福祉センターの老朽化に伴う設備の改修を段階的に行うことで、安心して利用できる環境を整えることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　空調機改修事業
〈事業費〉　35,530,000 円
〈概　要〉　室外機4系統、室内機17機の更新
・1階エントランス系統
・1階廊下系統
・2階ホール系統
・3階児童館遊戯室系統

〈事業名〉　外壁等改修事業
〈事業費〉　15,400,000 円
〈概　要〉　東面外壁補修
屋上防水
浴室天井張替え

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	35,500,000 円	0 円	15,430,000 円

〈所　　管〉　福祉部　福祉相談課
〈予算区分〉　款）民生費　　項）社会福祉費　　目）（仮称）福祉等複合施設建設費

事務事業名	（仮称）福祉等複合施設建設事業	予算現額	24,807,000 円
		決算額	0 円

〈事業を行った成果・効果〉
（仮称）福祉等複合施設に関する基本設計を進めたことで、施設建設の方向性を示すことができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　（仮称）福祉等複合施設建設基本設計策定事業（令和6～7年度 継続事業）
〈事業費〉　0 円（契約額21,384,000円）
※令和6年度予算額は導入機能再検討に伴う工期延期のため全額繰越し
〈概　要〉　敷地測量
弁財市民センターでの住民説明会の開催（2回）
令和6年10月25日（金）午後7時から　参加者12名
令和6年10月26日（土）午前9時30分から　参加者7名
複合施設視察（2回）
令和6年5月10日（金）　板橋区「中央図書館」
令和6年8月20日（火）　千葉県佐倉市「夢咲くら館」

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円

〈所　　管〉　福祉部　長寿はつらつ課
〈予算区分〉　款）民生費　　項）高齢者福祉費　　目）高齢者福祉総務費

事務事業名	介護保険利用者負担軽減対策費補助事業	予算現額	77,532,000 円
		決算額	74,904,501 円

〈事業を行った成果・効果〉
介護保険サービスの費用負担軽減対策を実施したことで、利用者の負担軽減を図ることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　介護保険利用者負担軽減対策費補助事業
〈事業費〉　63,914,248 円
〈概　要〉　対 象 者　介護保険利用者負担段階　第1段階～第4段階の人
利用件数 延べ24,421件

支給段階	所得区分の算定
第１段階　補助対象額の２分の１	世帯全員が住民税非課税の方で、**※老齢福祉年金受給者※**
第２段階　補助対象額の２分の１	世帯全員が住民税非課税の方で、前年の本人合計所得金額と課税年金収入額、非課税年金収入額（遺族年金と障害年金）の合計が８０万円以下の方
第３段階　補助対象額の４分の１	**世帯全員が住民税非課税の方で、前年の本人合計所得金額と課税年金収入額、非課税年金収入額（遺族年金と障害年金）の合計が120万円以下の方**
第４段階　補助対象額の８分の１	**世帯全員が住民税非課税の方で、前年の本人合計所得金額と課税年金収入額、非課税年金収入額（遺族年金と障害年金）の合計が120万円超の方**

区分	第１段階　補助対象額の２分の１				第２段階　補助対象額の２分の１				第３段階　補助対象額の４分の１			
	件数	延べ人数	金額	1人あたりの給付額	件数	延べ人数	金額	1人あたりの給付額	件数	延べ人数	金額	1人あたりの給付額
令和６年度	0件	0人	0円	0円	5,448件	4,894人	27,117,629円	5,541円	4,716件	4,245人	14,286,508円	3,365円

区分	第４段階　補助対象額の８分の１				合　　計			前年伸率		全　体
	件数	延べ人数	金額	1人あたりの給付額	件数	延べ人数	金額	件数	金額	**１人あたりの給付額**
令和６年度	14,257件	12,998人	22,510,111円	1,732円	24,421件	22,137人	63,914,248円	104.6%	103.4%	2,887円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	74,904,501 円

〈所　　管〉　福祉部　長寿はつらつ課
〈予算区分〉　款）民生費　　項）高齢者福祉費　　目）高齢者福祉費

事務事業名	高齢者自立生活支援事業	予算現額	88,983,000 円
		決算額	76,283,591 円

〈事業を行った成果・効果〉
在宅福祉サービスを提供したことで、高齢者が在宅で自立した生活を営むことに寄与することができました。

〈主な事業の成果〉

事業名	事業費	対象者等	利用者数等
生活支援員派遣事業	1,053,770円	要介護認定非該当者、要支援・要介護者	利用者数　20人
寝具類乾燥車派遣事業	558,360円	ねたきりなどで、介護者がいない住民税非課税の高齢者	利用者数　15人、派遣回数　188回
高齢者移送サービス事業	15,308,760円	移送用車両を利用しなければ移送困難な要介護者	登録者数　526人
地域介護・福祉空間整備補助事業	2,899,000円	高齢者施設等の防災・減災対策及び設備等の整備を行う地域密着型サービス事業者	対象事業者　1者
ねたきり老人等手当支給事業	10,970,000円	ねたきりや重度の認知症高齢者	支給者数　117人、支給月数　延べ1,097月
高齢者入浴助成事業	106,000円	ひとり暮らし又は高齢者世帯で、自宅に入浴設備の無い高齢者	利用者数　3人、利用回数 延べ212回
高齢者バス・鉄道共通カードチャージ料給付事業	33,176,000円	年度内において70歳以上の高齢者	新規対象者数　1,196人 継続者数　14,794人

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	3,609,000 円	0 円	0 円	0 円	72,674,591 円

〈所　　管〉　福祉部　長寿はつらつ課
〈予算区分〉　款）民生費　　項）高齢者福祉費　　目）高齢者福祉費

事務事業名	家族介護支援事業	予算現額	16,454,000 円
		決算額	16,352,628 円

〈事業を行った成果・効果〉
要介護高齢者やその家族を援助したことで、経済的・精神的な負担の軽減を図ることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　徘徊高齢者等探索サービス事業
〈事業費〉　41,707 円
〈概　要〉　対象者　認知症による徘徊行動のある高齢者（若年性認知症及び高次脳機能障害の者を含む）
利用者数　3人

〈事業名〉　在宅ねたきり老人等紙おむつ支給事業
〈事業費〉　16,310,921 円
〈概　要〉　対象者　ねたきりで住民税非課税の高齢者
利用者数　387人
利用回数　延べ2,970回

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	16,352,628 円

〈所　　管〉　福祉部　長寿はつらつ課
〈予算区分〉　款）民生費　　項）高齢者福祉費　　目）高齢者福祉費

事務事業名	高齢者安心見守り支援事業	予算現額	21,001,000 円
		決算額	18,378,488 円

〈事業を行った成果・効果〉
ひとり暮らし等高齢者の安否確認などを行ったことで、住み慣れた自宅で安心して生活を送るための支援をすることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　高齢者緊急通報システム貸与事業
〈事業費〉　3,247,632 円
〈概　要〉　対象者　ひとり暮らし又は高齢者世帯などで、慢性的な疾患を有する世帯　利用者数　155人

〈事業名〉　配食サービス事業
〈事業費〉　9,882,600 円
〈概　要〉　対象者　自ら食事の支度をすることが困難なひとり暮らし又は高齢者世帯
利用者数　327人、利用食数　延べ49,413食

〈事業名〉　高齢者安心見守り通報システム事業
〈事業費〉　5,114,380 円
〈概　要〉　対象者　日常生活に不安を有する高齢者世帯　利用者数　257人

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	18,378,488 円

〈所　　管〉　福祉部　長寿はつらつ課
〈予算区分〉　款）民生費　　項）高齢者福祉費　　目）高齢者福祉費

事務事業名	高齢者生きがい活動支援事業	予算現額	12,016,000 円
		決算額	11,594,147 円

〈事業を行った成果・効果〉
シニアクラブ育成事業等を実施したことで、高齢者の社会参加を促進することができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　シニアクラブ育成事業
〈事業費〉　1,332,450 円
〈概　要〉　60歳以上の高齢者30人以上で構成するシニアクラブに補助金を交付
該当クラブ数　20クラブ
該当者数　654人

〈事業名〉　生きがい活動支援通所事業
〈事業費〉　5,136,010 円
〈概　要〉　一定の要件を満たしたボランティア団体などが、要援護高齢者の通所事業を行う場合の事業費の一部を補助
事業箇所数　3か所

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	331,000 円	0 円	0 円	11,263,147 円

〈所　　管〉　福祉部　長寿はつらつ課
〈予算区分〉　款）民生費　　項）高齢者福祉費　　目）高齢者福祉費

事務事業名	高齢者住宅支援事業	予算現額	26,780,000 円
		決算額	22,297,737 円

〈事業を行った成果・効果〉
住宅改善費補助事業を実施したことで、住み慣れた自宅で安心して生活を送ることに寄与することができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　高齢者住宅改善費補助事業
〈事業費〉　6,040,000 円
〈概　要〉　対象者　介護保険の住宅改修を限度額まで使用し、さらに費用を要する人など
利用者数　38人
補助金額　費用の3分の2（内容に応じて限度額有り）

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	22,297,737 円

〈所　　管〉　福祉部　長寿はつらつ課
〈予算区分〉　款）民生費　　項）高齢者福祉費　　目）高齢者福祉費

事務事業名	敬老事業	予算現額	29,962,000 円
		決算額	26,840,007 円

〈事業を行った成果・効果〉
敬老祝金給付事業等を実施したことで、長寿を祝福し住民福祉の向上を図ることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　長寿を祝う会
〈事業費〉　3,588,200 円
〈概　要〉　催事内容　午前・午後の2部制
式典（目録贈呈、朝霞高校バトン部によるダンス（午前の部）、
朝霞第十小学校合唱団による合唱（午後の部））
演芸（大月みやこさんによる歌謡ショー）
対象者　77歳、80歳、85歳、88歳、90歳、95歳、99歳、100歳
対象者数　4,577人　　参加者数　725人
開催方法　対象者を会場に招待

〈事業名〉　敬老祝金給付事業
〈事業費〉　21,960,000 円
〈概　要〉　対象者　77歳、88歳、99歳、100歳
交付者数　2,156人
支給額　満77歳、満88歳、満99歳　各10,000円
満100歳　30,000円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	26,840,007 円

〈所　　管〉　福祉部　長寿はつらつ課
〈予算区分〉　款）民生費　　項）高齢者福祉費　　目）高齢者福祉費

事務事業名	老人福祉センター管理運営事業	予算現額	49,330,000 円
		決算額	48,572,000 円

〈事業を行った成果・効果〉
老人福祉センターを管理運営したことで、市内に居住する高齢者が健康で明るい生活を営むことに寄与することができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　老人福祉センター運営事業（指定管理者　社会福祉法人朝霞市社会福祉協議会）
〈事業費〉　48,572,000 円
〈概　要〉　浜崎老人福祉センター利用状況
開所日 292日　個人利用者 26,768人　団体利用人数 1,840人
溝沼老人福祉センター利用状況
開所日 290日　個人利用者 32,422人　団体利用人数 1,567人

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	48,572,000 円

〈所　　管〉　福祉部　長寿はつらつ課
〈予算区分〉　款）民生費　　項）高齢者福祉費　　目）高齢者福祉費

事務事業名	特別養護老人ホーム管理運営事業	予算現額	75,612,000 円
		決算額	75,380,349 円

〈事業を行った成果・効果〉
特別養護老人ホームを管理運営したことで、要支援・要介護高齢者に介護保険法に規定するサービスを提供することができました。
また、施設整備等を実施したことで、施設利用者の安全で快適な生活に寄与することができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　特別養護老人ホーム朝光苑運営事業（指定管理者　社会福祉法人朝霞地区福祉会）
〈事業費〉　75,380,349 円
〈概　要〉　特別養護老人ホーム（定員75人）
対象者　要介護者　　入所者数　延べ17,049人
ショートステイ（14床）
対象者　要支援・要介護者　　利用者数　延べ4,125人
デイサービス（定員25人）
対象者　要支援・要介護者　　利用者数　延べ5,579人
開所日数　312日
居宅介護支援事業者
対象者　要支援・要介護者　　利用者数　延べ905人

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	75,380,349 円

〈所　　管〉　福祉部　長寿はつらつ課
〈予算区分〉　款）民生費　　項）高齢者福祉費　　目）高齢者福祉費

事務事業名	施設改修事業（特別養護老人ホーム）	予算現額	29,827,000 円
		決算額	29,480,275 円

〈事業を行った成果・効果〉
空調機入替工事等の施設改修を行うことにより、特別養護老人ホーム入所者の生命や安全の確保を行うことができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　特別養護老人ホーム施設改修事業
〈事業費〉　28,706,700 円
〈概　要〉　特別養護老人ホーム（朝光苑）空調機入替工事　契約額 7,949,700円
工期（契約期間）R6.9.4～R6.11.29　工事内容　老朽化した空調機（6台）の入替工事

特別養護老人ホーム（朝光苑）旧館ナースコール入替工事　契約額 7,865,000円
工期（契約期間）R6.12.4～R7.3.21　工事内容　老朽化した旧館ナースコールの入替工事

特別養護老人ホーム（朝光苑）給水用加圧ポンプ入替工事　契約額 3,168,000円
工期（契約期間）R6.8.7～R7.3.21　工事内容　老朽化した給水用加圧ポンプの入替工事

特別養護老人ホーム（朝光苑）受変電設備改修工事（令和5年度予算繰越分）　契約額 9,724,000円
工期（契約期間）R5.7.4～R6.7.12　工事内容　耐用年数を超過した受変電設備の改修工事

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	15,000,000 円	0 円	14,480,275 円

〈所　　管〉　こども・健康部　健康づくり課こども家庭センター（R6予算時:こども未来課）
〈予算区分〉　款）民生費　　項）児童福祉費　　目）児童福祉総務費

事務事業名	児童相談事業	予算現額	12,014,000 円
		決算額	11,184,921 円

〈事業を行った成果・効果〉
子育て中の保護者や子ども自身から、子育てに関する様々な不安や困りごとについて相談を受けたことで、相談者の不安や困りごとの解消、子育ての負担軽減に寄与することができました。また、ショートステイや助産師等の訪問支援を活用することで、児童の適切な養育環境を確保し、保護者の身体的・精神的負担軽減や養育に関する不安を解消することができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　家庭児童相談員事業
〈事業費〉　7,192,148 円
〈概　要〉　相談件数　延べ972件
相談日数　243日

〈事業名〉　ショートステイ事業
〈事業費〉　578,200 円
〈概　要〉　利用者数　延べ26人
利用日数　90日

〈事業名〉　養育支援訪問事業
〈事業費〉　103,320 円
〈概　要〉　利用者数　2人
利用日数　12日

〈事業名〉　ヤングケアラー支援者研修
〈事業費〉　20,000 円　（講師謝金）
〈概　要〉　日時：令和6年10月31日㈭ 15時～16時30分
講師：一般社団法人ケアラーワークス　伊藤氏
内容：ケアラーワークスの取り組みについて
参加者数：32人

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	5,797,000 円	2,193,000 円	0 円	129,000 円	3,065,921 円

〈所　　管〉　こども・健康部　こども未来課
〈予算区分〉　款）民生費　　項）児童福祉費　　目）児童福祉総務費

事務事業名	子ども・子育て支援事業計画推進事業	予算現額	7,128,673 円
		決算額	6,072,910 円

〈事業を行った成果・効果〉
令和7年度から令和11年度を計画期間とする朝霞市こども計画を策定するにあたり、令和6年度はパブリックコメントを実施し、朝霞市こども計画を策定しました。
現計画である第2期朝霞市子ども・子育て支援事業計画の進捗管理については、各課及び子ども・子育て会議において各事業の評価・検証を行い、報告書を作成することができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　子ども・子育て支援事業計画推進事業
〈事業費〉　6,072,910 円
〈概　要〉　・子ども・子育て会議　4回開催
・子ども・子育て支援事業計画部会　2回開催
・子ども・子育て支援事業計画策定支援業務委託料の実施
・こども計画（第3期子ども・子育て支援事業計画）の策定（令和5～6年度 継続事業）

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	6,072,910 円

〈所　　管〉　こども・健康部　こども未来課
〈予算区分〉　款）民生費　　項）児童福祉費　　目）児童福祉総務費

事務事業名	子どもの居場所づくり支援事業	予算現額	1,814,000 円
		決算額	1,163,886 円

〈事業を行った成果・効果〉
市内の子育て支援並びに中学生及び高校生の居場所づくり、こどもの学習支援、こども食堂、フードパントリーを運営している団体が行う活動を支援しました。
こどもの居場所づくり推進事業補助金は、上記団体に運営に必要な経費の一部を補助することにより、こどもの居場所づくりや貧困対策を推進することができました。また、生活に困窮し、生理用品が用意できない方への支援として、公共施設での生理用品の配布を、令和6年度以降も継続し、1年間で必要な生理用品を購入しました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　こどもの居場所づくり支援事業
〈事業費〉　1,163,886 円
〈概　要〉　こどもの居場所づくり推進事業補助金の交付　500,000円
交付団体　10団体
・子育て支援団体　2団体
・学習支援団体　1団体
・こども食堂　4団体
・フード・パントリー　3団体

生理用品の購入　663,886円
そのうち、ガバメントクラウドファンディングによる生理用品の購入493,000円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	493,000 円	670,886 円

〈所　　管〉　こども・健康部　こども未来課
〈予算区分〉　款）民生費　　項）児童福祉費　　目）児童福祉総務費

事務事業名	少子化対策事業	予算現額	94,000 円
		決算額	94,000 円

〈事業を行った成果・効果〉
結婚を誠実に希望する独身の男女に出会いの機会を提供する埼玉県の公的な結婚支援センターである、SAITAMA出会いサポートセンターに加入しました。
運営は、官民連携で設置された「運営協議会」によって行われており、市が会員となることで、市民は利用登録料の割引を受けることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　少子化対策事業
〈事業費〉　94,000 円
〈概　要〉　SAITAMA出会いサポートセンター負担金

積算内訳
1)固定会費　30,000円
2)国勢調査に基づく18歳～49歳の人口
(63,655人≒64,000人)×1円　64,000円
計　94,000円

朝霞市登録者数(令和7年1月末現在)
登録者数　332人(男性198人、女性134人)

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	94,000 円

〈所　　管〉　こども・健康部　こども未来課
〈予算区分〉　款）民生費　　項）児童福祉費　　目）児童措置費

事務事業名	児童手当給付事業	予算現額	2,516,281,000 円
		決算額	2,357,824,152 円

〈事業を行った成果・効果〉
児童手当法による給付子育て家庭に対し、経済的援助をすることで、経済的な負担軽減をするとともに、時代の社会を担う児童の健やかな成長に寄与することができました。
令和6年10月に制度改正があり、所得制限がなくなったほか、第3子加算の額が3万円になり、算定対象も大学生年代に拡大するなど、受給者が増大しました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　児童手当給付事業
〈事業費〉　2,346,305,000 円
〈概　要〉　対象者　0歳から18歳になる年度の3月31日までの児童を養育している者
支給対象児童数　20,675人　※2月期支払時点　児童合計数÷2
受給者数　12,980人　※2月期支払時点　支払件数

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	1,769,391,885 円	290,621,052 円	0 円	0 円	297,811,215 円

〈所　　管〉　こども・健康部　こども未来課
〈予算区分〉　款）民生費　　項）児童福祉費　　目）児童措置費

事務事業名	こども医療費支給事業	予算現額	788,810,000 円
		決算額	788,716,675 円

〈事業を行った成果・効果〉
こどもに対する医療費の一部を助成したことで、子育て世帯の経済的負担を軽減するとともに、こどもの保健の向上と福祉の増進に寄与することができました。
令和6年4月から、通院の対象年齢を18歳になる年度末の3月31日までに引き上げを行いました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　こども医療費支給事業
〈事業費〉　763,314,004 円
〈概　要〉　対象年齢を通院・入院共に18歳になる年度の3月31日までとし、こどもに対する医療費の一部を助成した

年齢	登録数（人）	支給件数（件）	内訳		支給額（千円）	内訳	
			入院分（件）	通院分（件）		入院分（千円）	通院分（千円）
0歳児～未就学児	8,112	178,319	1,071	177,248	286,689	35,670	251,019
小1～小3	3,750	75,441	139	75,302	154,890	7,523	147,367
小4～小6	3,780	63,740	83	63,657	136,336	4,318	132,018
中学生	3,513	49,159	72	49,087	114,707	4,548	110,159
高校生	3,490	30,445	68	30,377	70,692	5,458	65,234
合計	22,645	397,104	1,433	395,671	763,314	57,517	705,797

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	148,560,838 円	0 円	0 円	640,155,837 円

〈所　　管〉　こども・健康部　こども未来課
〈予算区分〉　款）民生費　　項）児童福祉費　　目）児童措置費

事務事業名	ひとり親家庭支援事業	予算現額	55,093,000 円
		決算額	52,388,449 円

〈事業を行った成果・効果〉
ひとり親家庭等に対して医療費の一部を助成したことで、経済的な負担軽減をするとともに、ひとり親家庭等の保健の向上と福祉の増進に寄与することができました。令和7年1月から受給資格の所得制限を緩和することで受給者が微増しました。また、小学校に入学を予定している父子家庭の父及び母子家庭の母に入学準備に必要な経費の一部を支給したことで、ひとり親家庭等の生活の安定と自立を支援し、ひとり親家庭等の福祉の増進に寄与することができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　ひとり親家庭等医療給付事業
〈事業費〉　43,269,755 円
〈概　要〉　対象者　医療保険に加入している母子、父子、養育者家庭の18歳になった年度内までの児童とその母、父、養育者
対象者数　1,184人（内訳　児童 696人、父母等 488人）
支給件数　17,540件（内訳　児童 8,742件、父母等 8,798件）

〈事業名〉　ひとり親家庭児童就学支度金支給事業
〈事業費〉　112,000 円
〈概　要〉　支給要件　・小学校に入学を予定している父子家庭の父及び母子家庭の母
・市町村民税が非課税世帯
・生活保護受給中でないこと
支給額　8,000円（児童1人あたり）
支給者数　14人（父子家庭 2人、母子家庭 12人）

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	5,638,000 円	19,051,891 円	0 円	0 円	27,698,558 円

〈所　　管〉　こども・健康部　こども未来課
〈予算区分〉　款）民生費　　項）児童福祉費　　目）児童措置費

事務事業名	ひとり親家庭生活支援事業	予算現額	14,660,000 円
		決算額	14,459,211 円

〈事業を行った成果・効果〉
ひとり親家庭の父または母の資格取得を支援するとともに、就業期間中の一定期間における生活の安定を図ったことで、ひとり親家庭自立に寄与することができました。また、ひとり親家庭等の中学3年生と高校3年生に対し、大学等の受験料や模試費用などの支援を行うことで、ひとり親家庭等への就学に向けた支援ができました。
令和6年7月からひとり親家庭等相談事業を実施したことで、ひとり親家庭等の開庁時間外の相談機会を確保し、相談内容により他機関につなげることや、母子・父子自立支援員の専門的な相談、さらに自立支援プログラムの策定へとつなげることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　高等職業訓練促進給付金支給事業
〈事業費〉　9,932,000 円
〈概　要〉　ひとり親家庭の保護者の就労支援と生活の安定を図り、その自立を促進する。

〈事業名〉　ひとり親家庭等相談支援委託料
〈事業費〉　2,604,800 円
〈概　要〉　平日夜間や土日祝日に、ビデオ通話や電話等で、離婚前相談等のひとり親家庭に関する相談を受付し、必要な案内をしたり、関係機関へつなげる。

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	8,664,000 円	0 円	0 円	0 円	5,795,211 円

〈所　　管〉　こども・健康部　こども未来課
〈予算区分〉　款）民生費　　項）児童福祉費　　目）児童措置費

事務事業名	児童扶養手当給付事業	予算現額	272,339,000 円
		決算額	259,305,554 円

〈事業を行った成果・効果〉
父母の離婚や父または母の死亡などにより、父または母と生計を同じくしていない児童が育成されるひとり親家庭等に対し、経済的援助をすることで、経済的な負担軽減をするとともに、生活の安定と自立に寄与することができました。令和6年11月に制度改正があり、受給資格の所得制限を緩和し、第3子以降の給付額が第2子と同額となりました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　児童扶養手当給付事業
〈事業費〉　249,176,680 円
〈概　要〉　対象者　ひとり親家庭等となった0歳から18歳になる年度の3月31日までの児童
支給対象児童数　668人
受給者数　468人

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	82,142,410 円	0 円	0 円	0 円	177,163,144 円

〈所　　管〉　こども・健康部　こども未来課
〈予算区分〉　款）民生費　　項）児童福祉費　　目）児童館費

事務事業名	児童館管理運営事業	予算現額	303,745,000 円
		決算額	303,681,840 円

〈事業を行った成果・効果〉

子どもの居場所づくり、健全育成の場として、各種事業を実施したことにより、児童・生徒に安全に遊べる機会を提供することができました。また、放課後児童クラブの入所が保留となった小学2年生から6年生までの児童を対象として、下校後にランドセルを背負ったまま直接児童館に行き遊べるランドセル来館事業を実施し、放課後の安全・安心な居場所づくりの支援をすることができました。なお、ランドセル来館事業については、令和6年度から、対象児童の学年について、小学3年生から小学2年生まで拡大をしました。

〈主な事業の成果〉

〈事業名〉　児童館管理運営事業
〈事業費〉　303,681,840 円
〈概　要〉　指定管理者　社会福祉法人朝霞市社会福祉協議会
各児童館において各種事業の実施

〈 令 和 6 年 度 児 童 館 実 績 〉

1. 利用状況

項目		令和6年度（2024年度）						
		はまさき	きたはら	みぞぬま	ねぎしだい	ひざおり	ほんちょう	合計
開館日数		292 日	288 日	293 日	292 日	288 日	289 日	1,742 日
年間利用者数		29,354 人	37,185 人	54,929 人	29,930 人	35,144 人	59,098 人	245,640 人
1日平均利用者数		101 人	129 人	187 人	103 人	122 人	204 人	141 人
鑑賞室利用者数	利用日数			168 日	38 日	196 日		402 日
	利用人数			892 人	99 人	1,520 人		2,511 人
多目的スタジオ利用者数	利用日数						265 日	265 日
	利用人数						2,756 人	2,756 人

2. 事業の執行状況

事業名	はまさき		きたはら		みぞぬま		ねぎしだい		ひざおり		ほんちょう		合計	
	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
工作事業	33 回	361 人	25 回	575 人	37 回	820 人	36 回	546 人	21 回	321 人	48 回	567 人	200 回	3,190 人
幼児事業	1,324 回	596 人	111 回	2,131 人	239 回	4,462 人	185 回	2,091 人	160 回	1,345 人	146 回	1,971 人	2,165 回	12,596 人
児童事業	280 回	815 人	210 回	873 人	457 回	8,295 人	287 回	1,303 人	377 回	3,347 人	325 回	2,645 人	1,936 回	17,278 人
幼児・児童事業	15 回	116 人	52 回	720 人	90 回	1,411 人	37 回	500 人	15 回	188 人	58 回	1,367 人	267 回	4,302 人
交流事業	8 回	666 人	3 回	80 人	4 回	134 人	1 回	35 人	11 回	121 人	1 回	54 人	28 回	1,090 人
季節事業	32 回	1,242 人	29 回	259 人	21 回	932 人	10 回	358 人	36 回	583 人	22 回	795 人	150 回	4,169 人
大事業	5 回	1,260 人	3 回	838 人	9 回	1,532 人	3 回	384 人	4 回	1,592 人	18 回	1,052 人	42 回	6,658 人
大会	3 回	91 人	2 回	24 人	4 回	54 人	6 回	82 人	2 回	41 人	0 回	0 人	17 回	292 人
調理事業	3 回	38 人	1 回	8 人	2 回	10 人	4 回	39 人	2 回	25 人	3 回	27 人	15 回	147 人
館外事業	0 回	0 人	3 回	23 人	4 回	53 人	7 回	88 人	2 回	11 人	0 回	0 人	16 回	175 人
合同事業	14 回	1,092 人	14 回	1,214 人	14 回	1,144 人	14 回	1,118 人	14 回	1,199 人	14 回	1,530 人	84 回	7,297 人
ボランティア事業	7 回	22 人	0 回	0 人	9 回	67 人	1 回	3 人	0 回	0 人	0 回	0 人	17 回	92 人
合計	1,724 回	6,299 人	453 回	6,745 人	890 回	18,914 人	591 回	6,547 人	644 回	8,773 人	635 回	10,008 人	4,937 回	57,286 人

〈事業名〉　児童館ランドセル来館事業
〈事業費〉　－ 円
〈概　要〉　利用施設　市内児童館
利用日　小学校登校日の月曜日から金曜日（児童館休館日・小学校の長期休業日を除く）
対象児童　放課後児童クラブの入所が保留となった小学2年生から6年生
申込者数　59人

〈事業名〉　備品の購入
朝霞ライオンズクラブからの寄付金で児童館の備品を購入　300,000円
はまさき児童館で使用するボールプール及びひざおり児童館で使用するアンプを購入した。

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	300,000 円	303,381,840 円

〈所　　管〉　こども・健康部　保育課
〈予算区分〉　款）民生費　　項）児童福祉費　　目）保育園費

事務事業名	保育園運営事業	予算現額	1,353,485,000 円
		決算額	1,314,947,196 円

〈事業を行った成果・効果〉

昨年度に引き続き、使用済みおむつを自園処分しているほか、登園管理やおしらせ配信機能を有するシステムを2園で使用し、保護者や保育士の負担軽減につなげることができました。そのほか、多様な保育需要に応えるべく一時保育事業も実施しました。

また、公設公営保育園9園で実施している給食事業について、給食費で賄えない分を市が負担することで、保護者の経済的負担を軽減することができました。

〈主な事業の成果〉

〈事業名〉　保育園おむつ回収事業
〈事業費〉　2,406,624 円
〈概　要〉　令和5年4月から使用済みおむつの自園処分を実施　　回収　週2回

〈事業名〉　保育園ICT推進事業
〈事業費〉　910,872 円
〈概　要〉　浜崎保育園とさくら保育園の2園で保育業務支援システム「コドモン」を令和6年2月から導入
登降園管理や欠席連絡、お知らせ配信、アンケート機能を活用　　登録園児数　179人

〈事業名〉　一時保育事業
〈事業費〉　―　円
〈概　要〉　実施園　東朝霞保育園、さくら保育園
対象者　家庭での保育が困難な満1歳以上で小学校入学前の児童
〇非定型保育サービス
内　　容　　月64時間未満の保護者の仕事、職業訓練、就学などで断続的に家庭での保育が困難な場合
利用者数　　延べ1,100人
〇緊急保育サービス
内　　容　　保護者の病気、出産、災害、冠婚葬祭などにより、緊急・一時的に家庭での保育が困難な場合
利用者数　　延べ601人
〇リフレッシュ保育サービス
内　　容　　保護者の育児疲れ解消等の私的な理由その他の事由により、一時的に保育が必要となる場合
利用者数　　延べ554人

〈事業名〉　保育園給食賄材料費増額分を市が負担
〈事業費〉　2,060,580 円
〈概　要〉　高騰により価格上昇している保育園給食賄材料費を増額し、給食費でまかなえない分を市が負担した。

公立保育園一覧

管理運営	保育園名	利用定員	入園者数（令和6年4月時点）
公設公営	浜崎保育園	70人	69人
	東朝霞保育園	81人	86人
	溝沼保育園	150人	153人
	本町保育園	90人	97人
	根岸台保育園	90人	89人
	北朝霞保育園	121人	102人
	栄町保育園	77人	82人
	泉水保育園	74人	71人
	さくら保育園	100人	109人
公設民営	宮戸保育園	103人	98人
	仲町保育園	100人	97人
合　計		1,056人	1,053人

運営委託先　宮戸保育園　株式会社ベネッセスタイルケア
仲町保育園　株式会社こどもの森

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	12,420,130 円	17,113,890 円	0 円	197,208,365 円	1,088,204,811 円

〈所　　管〉　こども・健康部　保育課
〈予算区分〉　款）民生費　　項）児童福祉費　　目）保育園費

事務事業名	保育園施設改修事業	予算現額	38,310,000 円
		決算額	15,568,300 円

〈事業を行った成果・効果〉
空調設備交換工事など公設保育園の改修を行ったことで、園児が安全・安心で快適な環境において保育生活を送ることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　保育園空調設備交換等事業
〈事業費〉　6,397,600 円
〈概　要〉　工事件数　2件
仲町保育園　空気調和設備改修工事
根岸台保育園　ホール空調機工事

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	5,200,000 円	0 円	10,368,300 円

〈所　　管〉　こども・健康部　保育課
〈予算区分〉　款）民生費　　項）児童福祉費　　目）保育園費

事務事業名	子育て支援センター運営事業	予算現額	41,154,000 円
		決算額	39,022,331 円

〈事業を行った成果・効果〉
未就学児の保護者からの子育てに対する悩み相談を受けたほか、0歳児が集まるイベントや、助産師による講座などを開催し、保護者に交流の場を提供することができました。また、子育てに関する悩みを保育士等の資格を持つ職員がアドバイスすることで親の不安の解消につなげるとともに、継続的に見守りをすることで、安心して子育てができるような環境づくりができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　子育て支援センター事業
〈事業費〉　16,353,294 円
〈概　要〉　公設公営の子育て支援センターの運営
実施場所　　さくら子育て支援センター、きたはら子育て支援センター
来所者数　　保護者　10,619人　　児童　12,108人
相談者数　　241人　（うち、電話相談者数　124人）

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	8,047,000 円	8,047,000 円	0 円	0 円	22,928,331 円

〈所　　管〉　こども・健康部　保育課
〈予算区分〉　款）民生費　　項）児童福祉費　　目）保育園費

事務事業名	子ども・子育て支援事業	予算現額	5,546,227,000 円
		決算額	5,522,772,742 円

〈事業を行った成果・効果〉

保育必要量の認定区分、定員等に応じて、施設運営に必要な費用を交付したことで、良好な保育サービスを提供することができました。また、保育所等に入所する第3子以降の児童の保育料を無償化し、多子世帯における経済的負担を軽減しました。

また、各民間保育園の給食費は各園で決定しており、給食費の補助事業を1年間限定で拡充し、各園による値上げを抑制することで、保護者の負担軽減を図るとともに、民間保育園の運営安定化を図りました。

〈主な事業の成果〉

〈事業名〉　子どものための教育・保育給付負担金支給事業　　〈事業費〉　5,133,240,611 円
〈事業名〉　民間保育園等補助金支給事業　　〈事業費〉　389,521,023 円
※うち給食費補助拡充分　　3,174,600 円

〈令和6年度　市内保育所・認定こども園一覧〉

管理運営	保育園・こども園名	利用定員	入園者数（令和7年3月時点）
民設民営	大山保育園	60 人	64 人
	朝霞しらこばと保育園	50 人	54 人
	滝の根保育園	144 人	139 人
	あさかたんぽぽ保育園	60 人	64 人
	さわらび保育園	40 人	41 人
	朝霞どろんこ保育園	90 人	87 人
	ゆりの木保育園	45 人	50 人
	太陽と大地のこども保育園	60 人	60 人
	朝霞ゆりかご保育園	80 人	78 人
	いずみばし保育園	60 人	65 人
	ひまわり保育園	90 人	99 人
	朝霞ひだまりの森保育園	50 人	57 人
	三原どろんこ保育園	90 人	97 人
	仲町どろんこ保育園	90 人	105 人
	メリーポピンズkids朝霞ルーム	50 人	51 人
	メリーポピンズ朝霞台ルーム	32 人	28 人
	メリーポピンズkids北朝霞ルーム	62 人	62 人
	駅前おれんじベビー保育園	20 人	19 人
	仲町エンゼル保育室	30 人	30 人
	白百合園	66 人	67 人
	朝霞にじいろ保育園	53 人	60 人
	つくし保育園	90 人	89 人
	北原保育園	60 人	64 人
	おれんじゆめ保育園	60 人	51 人
	あさかだいアンジュ保育園	69 人	75 人
	メリーポピンズ北朝霞ルーム	60 人	48 人
	保育園元気キッズ第二朝霞岡園	75 人	68 人
	かえで保育園	69 人	59 人
	メリーポピンズ朝霞東口ルーム	25 人	25 人
	みはら保育園	50 人	40 人
	保育園元気キッズ第二朝霞根岸台園	105 人	105 人
	保育園元気キッズ第二あさかリードタウン園	60 人	58 人
	けやき保育園	60 人	68 人
	よつばゆりかご保育園	50 人	66 人
	第二あさかたんぽぽこども園	70 人	70 人
	あさしがおかアンジュこども園	79 人	76 人
合計		2,304 人	2,339 人

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	2,571,771,939 円	1,073,541,200 円	0 円	270,375,782 円	1,607,083,821 円

〈所　　管〉　こども・健康部　健康づくり課こども家庭センター（R6予算時：保育課）
〈予算区分〉　款）民生費　　項）児童福祉費　　目）保育園費

事務事業名	ファミリーサポートセンター運営事業	予算現額	8,024,000 円
		決算額	7,403,284 円

〈事業を行った成果・効果〉
育児の援助を受けたい人と育児の援助ができる人に会員登録していただき、センターのアドバイザーが希望に合った会員を照会することで、地域の子育ての支え合いを図ることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　ファミリーサポートセンター運営事業
〈事業費〉　7,403,284 円
〈概　要〉　実施場所　保育課内
会員数　ファミリー会員 1,648人　サポート会員 205人　両方会員 80人 合計1,933人
活動回数　延べ5,038回
※令和6年度より、生後2か月未満の乳児に対する育児サポート開始。
沐浴や授乳の手伝い、母親が家事をしている間の乳児の見守り等、保護者同席のもと見守り援助するもので、家事援助は行わない。
令和6年度　生後2か月未満の利用件数　30件

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	2,463,000 円	2,463,000 円	0 円	0 円	2,477,284 円

〈所　　管〉　こども・健康部　保育課
〈予算区分〉　款）民生費　　項）児童福祉費　　目）保育園費

事務事業名	家庭保育室支援事業	予算現額	8,404,000 円
		決算額	5,490,883 円

〈事業を行った成果・効果〉
市内に住所を有し、朝霞市指定家庭保育室に入室している0歳児（生後8週間以上）から2歳児までの保護者に対して補助金を支給したことで、認可保育園保護者との負担の格差是正を図ることができました。また、施設に対しても補助金を交付したことで、施設の円滑な運営が行われ、良好な保育サービスが提供できました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　家庭保育室補助金支給事業
〈事業費〉　2,694,883 円

〈事業名〉　家庭保育室保護者負担軽減費補助金支給事業
〈事業費〉　2,796,000 円

〈概　要〉　〈交付実績〉

施設名	入園者数（令和7年3月時点）	家庭保育室補助金	保護者負担軽減費補助金
駅前本町エンゼル保育室	9人	2,694,883円	2,796,000円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	5,490,883 円

〈所　　管〉　こども・健康部　保育課
〈予算区分〉　款）民生費　　項）児童福祉費　　目）放課後児童クラブ費

事務事業名	放課後児童クラブ運営事業	予算現額	759,556,000 円
		決算額	749,886,702 円

〈事業を行った成果・効果〉

公設の放課後児童クラブの管理・運営を、社会福祉法人朝霞市社会福祉協議会を指定管理者として指定し、放課後等に保護者の就労等により家庭が常時留守となっている児童を保育することで、児童の健全な育成を図ることができました。
また、民間事業者に運営費を補助することで、児童の受入枠を拡大することができました。

〈主な事業の成果〉

〈事業名〉　公設放課後児童クラブ運営事業　　〈事業費〉　487,385,555 円

公設放課後児童クラブ〈指定管理者　社会福祉法人 朝霞市社会福祉協議会〉

放課後児童クラブ名	定員	入所児童数（令和6年4月時点）
膝折放課後児童クラブ（一小）	130 人	109 人
岡放課後児童クラブ（二小）	122 人	120 人
浜崎放課後児童クラブ（三小）	148 人	147 人
幸町放課後児童クラブ（四小）	98 人	102 人
泉水放課後児童クラブ（五小）	125 人	118 人
本町放課後児童クラブ（六小）	115 人	112 人
朝志ヶ丘放課後児童クラブ（七小）	150 人	142 人
栄町放課後児童クラブ（八小）	135 人	133 人
根岸台放課後児童クラブ（九小）	80 人	80 人
溝沼放課後児童クラブ（十小）	140 人	137 人
合　計	1,243 人	1,200 人

〈事業名〉　民間放課後児童クラブ補助金支給事業　　〈事業費〉　260,701,147 円

民設民営放課後児童クラブ

放課後児童クラブ名	定員	入所児童数（令和6年4月時点）	交付額
本町アンジュクラブ	40 人	40 人	14,293,751 円
たまみずきっず栄町	40 人	39 人	16,165,129 円
あさかだいアンジュクラブ	55 人	54 人	24,693,224 円
さつき放課後児童クラブ	40 人	40 人	14,287,304 円
キッズクラブさいか本町	44 人	44 人	18,757,938 円
東弁財ぞうさん放課後児童クラブ	50 人	47 人	30,674,911 円
キッズクラブさいか本町あおぞら・つばさ・はばたき	90 人	90 人	35,259,750 円
キッズクラブあさか浜崎	50 人	50 人	15,608,200 円
たまみずきっず溝沼	40 人	39 人	17,046,467 円
キッズクラブさいか本町けやき	40 人	26 人	14,345,156 円
GENKIKIDS CANVAS	57 人	57 人	28,412,898 円
西弁財ぞうさん放課後児童クラブ	65 人	60 人	31,156,419 円
合　計	611 人	586 人	260,701,147 円

〈事業名〉　低学年児童優先受入に係る奨励費補助金支給事業　　〈事業費〉　1,800,000 円

放課後児童クラブ名	定員	交付額
本町アンジュクラブ	40 人	300,000 円
あさかだいアンジュクラブ	55 人	300,000 円
さつき放課後児童クラブ	40 人	300,000 円
キッズクラブあさか本町あおぞら・つばさ・はばたき	90 人	300,000 円
キッズクラブさいか浜崎	50 人	300,000 円
GENKIKIDS CANVAS	57 人	300,000 円
合　計	332 人	1,800,000 円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	157,483,000 円	141,847,000 円	0 円	126,340,000 円	324,216,702 円

〈所　　管〉　こども・健康部　保育課
〈予算区分〉　款）民生費　　項）児童福祉費　　目）幼稚園費

事務事業名	私立幼稚園就園等助成事業	予算現額	585,929,000 円
		決算額	539,846,746 円

〈事業を行った成果・効果〉
私立幼稚園に通う園児の保育料を補助したことで、保護者の経済的な負担の軽減を図ることができました。また、保育の必要性が認められる園児が利用する預かり保育の利用料の一部を補助したことで、保護者の経済的な負担の軽減を図ることができました。さらに、預かり保育を実施する私立幼稚園に対し、朝霞市私立幼稚園預かり保育事業補助金を交付することで、私立幼稚園における預かり保育を推進することができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　私立幼稚園就園等助成事業　　〈事業費〉　539,846,746 円

〈令和6年度　幼稚園利用料等補助金助成実績〉

幼稚園名	定員	在園児数（令和6年5月時点）	朝霞市在園児数（令和6年5月時点）	交付額
朝霞幼稚園	315 人	187 人	149 人	50,847,450 円
菩提樹の森幼稚園	350 人	257 人	221 人	69,583,918 円
さいか幼稚園	240 人	194 人	163 人	52,407,101 円
あさか台幼稚園	360 人	227 人	208 人	67,118,120 円
根岸幼稚園	210 人	149 人	143 人	42,902,637 円
朝霞花の木幼稚園	400 人	129 人	122 人	38,901,233 円
朝霞なかよし幼稚園	280 人	269 人	256 人	78,359,300 円
朝霞たちばな幼稚園	385 人	333 人	233 人	48,481,168 円
市内幼稚園計	2,540 人	1,745 人	1,495 人	448,600,927 円
市外幼稚園（12園）			117 人	38,546,541 円
合　計	2,540 人	1,745 人	1,612 人	487,147,468 円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	254,754,000 円	127,927,000 円	0 円	0 円	157,165,746 円

〈所　　管〉　福祉部　生活援護課
〈予算区分〉　款）民生費　　項）生活保護費　　目）生活保護総務費

事務事業名	生活援護総務事務事業	予算現額	42,813,000 円
		決算額	40,353,433 円

〈事業を行った成果・効果〉
生活保護を申請してから生活保護費が支給されるまでの間に生活の維持に支障を来たす恐れがある世帯などに対して生活保護つなぎ資金を貸付することで、生活の安定を図ることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　生活保護つなぎ資金の貸付事業
〈事業費〉　329,500 円
〈概　要〉　令和7年3月31日現在
貸付件数　延べ29件　実人数24人
生活保護を申請している人の貸付　延べ17件　実人数14人
生活保護受給者がやむを得ない事情により急な出費を要した場合の貸付　延べ12件　実人数10人

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	11,549,250 円	0 円	0 円	0 円	28,804,183 円

〈所　　管〉　福祉部　生活援護課
〈予算区分〉　款）民生費　　項）生活保護費　　目）扶助費

事務事業名	生活保護事業	予算現額	4,330,202,000 円
		決算額	4,151,729,544 円

〈事業を行った成果・効果〉
資産や能力等すべてを活用してもなお生活の困窮する人に対し、困窮の程度に応じて必要な保護を行ったことで、健康的で文化的な最低限度の生活を保障し、その自立を助長することができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　生活保護事業
〈事業費〉　4,110,075,852 円
〈概　要〉　令和7年3月31日現在
保護世帯数　1,620世帯
保護人員数　1,962人
扶助費　右記参照

【扶助別内訳】

種　別	金　額
生活扶助	1,100,674,611円
住宅扶助	804,929,437円
教育扶助	7,966,571円
医療扶助	2,036,156,901円
介護扶助	133,469,645円
出産扶助	142,428円
生業扶助	4,335,211円
葬祭扶助	13,238,033円
就労自立給付金	1,370,131円
進学準備給付金	1,000,000円
保護施設事務費	3,497,560円
委託事務費	3,295,324円
合　計	4,110,075,852円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	2,964,211,500 円	63,104,000 円	0 円	0 円	1,124,414,044 円

〈所　　管〉　子ども・健康部　保険年金課
〈予算区分〉　款）民生費　　項）保険年金費　　目）後期高齢者医療事業費

事務事業名	後期高齢者医療健康診査等事業	予算現額	103,851,000 円
		決算額	102,325,871 円

〈事業を行った成果・効果〉
後期高齢者医療制度の被保険者を対象として、人間ドック検診や健康診査事業を実施したことで、後期高齢者の健康管理の向上を図ることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　人間ドック検診実施事業
〈事業費〉　24,964,879 円
〈概　要〉　朝霞地区の医療機関で人間ドックを実施　（受診者数:735人）

〈事業名〉　健康診査実施事業
〈事業費〉　66,276,089 円
〈概　要〉　広域連合との委託契約に基づき、朝霞地区の医療機関で健康診査を実施　（受診者数:5,284人）

〈事業名〉　人間ドック検診費補助金交付事業
〈事業費〉　1,783,599 円
〈概　要〉　朝霞地区以外の医療機関で人間ドックを受診した場合に補助金を交付　（受診者数:51人）

〈事業名〉　高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施
〈事業費〉　ー　円
〈概　要〉　後期高齢者に対する保健事業や介護予防の取組（フレイル予防や生活習慣病予防）を効果的・効率的に、一体的にすすめる
ハイリスクアプローチ（個別的支援）　健康状態不明高齢者の健康状態等の把握　実施者数:7人
ポピュレーションアプローチ（通いの場等への関与）　健康教育・健康相談の実施、フレイル状態の把握　実施者数:70人

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	67,205,763 円	35,120,108 円

第4款 衛生費

〈所　　管〉　こども・健康部　健康づくり課
〈予算区分〉　款）衛生費　　項）保健衛生費　　目）保健衛生総務費

事務事業名	地域医療確保事業	予算現額	29,562,000 円
		決算額	29,555,792 円

〈事業を行った成果・効果〉
晩婚化に伴う妊娠率の低下や、妊娠・出産のリスクが高まる中で、子どもを望む夫婦に対して、早期不妊治療、早期不妊検査及び不育症検査に対する助成をしたことで、少子化対策に寄与することができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　早期不妊検査費・不育症検査費・早期不妊治療費助成事業
〈事業費〉　8,513,000 円
〈概　要〉

早期不妊検査費助成補助金	99件	2,635,000 円
不育症検査費助成補助金	13件	331,000 円
早期不妊治療費助成補助金	69件	5,547,000 円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	3,036,000 円	0 円	3,027,702 円	23,492,090 円

〈所　　管〉　こども・健康部　健康づくり課
〈予算区分〉　款）衛生費　　項）保健衛生費　　目）保健衛生総務費

事務事業名	あさか健康プラン21推進事業	予算現額	2,151,000 円
		決算額	1,918,549 円

〈事業を行った成果・効果〉
あさか健康プラン21を推進したことで、市民一人ひとりが前向きに元気で生活することに寄与することができました。
あさか健康プラン21（第3次）の開始にあたり、広報及び健康づくり講演会にて計画策定の報告と内容の紹介を行い、市民に市の健康づくりについて知ってもらう、自身の健康づくりについて考えていただく機会を提供することができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　あさか健康プラン21推進事業
〈事業費〉　1,918,549 円
〈概　要〉

ALKOOマイレージ申込件数	965 人
講演会参加者数	27 人
ASAKA健康ラウンジ参加者数	100 人
健康あさか普及員登録者数	427 人

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	41,000 円	0 円	0 円	1,877,549 円

〈所　　管〉　こども・健康部　健康づくり課こども家庭センター
〈予算区分〉　款）衛生費　　項）保健衛生費　　目）母子保健事業費

事務事業名	育み支援バーチャルセンター事業	予算現額	8,141,000 円
		決算額	7,535,226 円

〈事業を行った成果・効果〉
発達障害を含む発達につまずきのある子どもたちの早期発見、早期支援と、途切れのない総合支援を図る育み支援バーチャルセンター事業が利用されたことで、多くの発達障害児者の地域生活支援に寄与することができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　発達相談、巡回相談等の相談支援業務
〈事業費〉　5,004,226 円
〈概　要〉　発育発達相談
精神発達相談　全 11回　延べ 34人
心理相談　全 36回　延べ 87人
発達検査　全 9回　延べ 16人
巡回相談（保育園、幼稚園、小・中学校）　計 106回実施

〈事業名〉　乳幼児期からの早期発見と支援事業
〈事業費〉　2,463,000 円
〈概　要〉　1歳6か月児健診・3歳児健診での心理相談員による相談
1歳6か月児健診　24回　3歳児健診　24回
親子グループ指導
ひまわり教室　全 10回　延べ 27人
こぱんだグループ　全 24回　延べ 126人
にじいろいるかグループ　全 24回　延べ 134人

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	2,786,000 円	1,393,000 円	0 円	0 円	3,356,226 円

〈所　　管〉　こども・健康部　健康づくり課こども家庭センター
〈予算区分〉　款）衛生費　　項）保健衛生費　　目）母子保健事業費

事務事業名	妊婦一般健康診査等事業	予算現額	119,535,000 円
		決算額	118,665,146 円

〈事業を行った成果・効果〉
妊婦一般健康診査に係る費用のうち14回分、新生児の聴覚検査1回分、産婦健康診査1回分の費用を助成することで、多くの妊産婦に対し、妊娠中の異常の早期発見と適切な治療や保健指導を実施することができました。
また、新生児の聴覚検査実施による早期発見や、産婦に対する産後うつの予防、新生児への虐待予防に寄与しました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　妊婦一般健康診査等事業
〈事業費〉　118,665,146 円
〈概　要〉

一般健康診査14回	延べ	14,214人	93,715,935 円
風疹ウイルス抗体検査	〃	1,197人	957,600 円
B型肝炎抗原検査	〃	1,197人	478,700 円
C型肝炎抗体検査	〃	1,197人	1,484,140 円
子宮がん検診	〃	1,157人	4,049,400 円
HIV抗体検査	〃	1,196人	2,737,750 円
HTL-V1	〃	1,198人	2,752,500 円
クラミジア	〃	1,125人	2,249,930 円
新生児聴覚検査	〃	1,033人	3,077,620 円
産婦健康診査	〃	1,012人	5,032,430 円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	2,516,000 円	0 円	0 円	0 円	116,149,146 円

〈所　　管〉　こども・健康部　健康づくり課こども家庭センター
〈予算区分〉　款）衛生費　　項）保健衛生費　　目）母子保健事業費

事務事業名	乳幼児健康診査事業	予算現額	20,652,000 円
		決算額	20,102,008 円

〈事業を行った成果・効果〉
乳幼児の健全な発育発達を図るため、乳幼児健康診査を行ったことで、疾病の早期発見及び育児支援に寄与することができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　乳幼児健康診査
〈事業費〉　20,102,008 円
〈概　要〉

健診の種類	受診者数	謝金
4か月児健康診査	1,064人	2,832,000 円
10か月児健康診査	1,075人	2,815,200 円
1歳6か月児健康診査	1,137人	3,535,200 円
3歳児健康診査	1,150人	3,552,000 円

〇実施回数　各健診とも月に2回実施
〇実施会場　朝霞市保健センター
〇協力機関等　朝霞地区医師会（全ての健診の診察）
朝霞地区歯科医師会（１歳６か月児健診、３歳児健診の歯科診察）
埼玉県歯科衛生士会（１歳６か月児健診、３歳児健診の歯科保健指導）
朝霞市図書館（４か月児健診のブックスタート）

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	178,000 円	0 円	0 円	0 円	19,924,008 円

〈所　　管〉　こども・健康部　健康づくり課こども家庭センター
〈予算区分〉　款）衛生費　　項）保健衛生費　　目）母子保健事業費

事務事業名	母子訪問指導事業	予算現額	8,631,000 円
		決算額	8,508,860 円

〈事業を行った成果・効果〉
育児上、保健指導が必要と認める人に対して、保健師・助産師等による訪問指導を行ったことで、健康の保持増進を図ることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　母子訪問指導事業
〈事業費〉　8,508,860 円
〈概　要〉

新生児訪問指導（おおよそ生後1・2か月児とその産婦）	1, 018件
乳児家庭全戸訪問指導（生後4か月児と親）	29件
乳幼児訪問指導（乳幼児と親）	163件
未熟児訪問指導（養育医療受給児とその親）	54件
健診未受診児訪問（保健師等訪問分のみ）	76件

〇訪問スタッフ　保健師または助産師
〇実施内容　対象者の各家庭を訪問し、下記の支援等を実施する。
・母親の育児相談に応じる。清潔・保温・感染予防などの生活指導を行う。
・児の発育発達を確認し。疾病を早期発見し、適切な処置を行えるよう指導する。
新生児聴覚検査未実施者に対しては、検査の必要性と早期の受検を促していく。
・栄養（母乳）の確立に向けて援助する。※育児用ミルク栄養も含む
・地域の母子保健サービス情報を伝える。等

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	2,060,000 円	2,060,000 円	0 円	0 円	4,388,860 円

〈所　　管〉　こども・健康部　健康づくり課こども家庭センター
〈予算区分〉　款）衛生費　　項）保健衛生費　　目）母子保健事業費

事務事業名	未熟児養育医療給付事業	予算現額	16,121,000 円
		決算額	16,115,729 円

〈事業を行った成果・効果〉
入院を必要とする未熟児の医療費について、自己負担分を公費負担したことで、扶養義務者の負担軽減を図ることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　未熟児養育医療給付事業
〈事業費〉　16,115,729 円
〈概　要〉　【対象者】次のいずれかに該当する乳児（1歳未満）
①出生時体重が2,000グラム以下
②生活力が弱く、医師が入院養育を必要と認めた場合
【給付実績】
給付実人数　66人
給付件数　159件

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	4,739,217 円	2,369,608 円	0 円	3,314,930 円	5,691,974 円

〈所　　管〉　こども・健康部　健康づくり課こども家庭センター
〈予算区分〉　款）衛生費　　項）保健衛生費　　目）母子保健事業費

事務事業名	妊娠・出産包括支援事業	予算現額	189,232,000 円
		決算額	175,598,179 円

〈事業を行った成果・効果〉
伴走型相談支援と経済的支援（出産・子育て交付金、多子世帯応援給付金）を一体的に実施することができました。
また、妊娠届出時に保健師等による全妊婦への面接を行い、必要に応じて支援プランを作成したほか、妊婦健診の補助、産後ケア事業、新生児訪問指導、乳幼児健診などを実施し、妊娠期から子育て期にわたる一貫して切れ目のない支援を行い、専門家の支援が必要な場合には、早期介入し支援したことに加え、退院直後の母子の心身のケアや育児サポート等を行ったことで、不安の軽減を図ることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　妊娠・出産包括支援事業
〈事業費〉　19,148,179 円
〈概　要〉　・子育て世代包括支援センター 来所者数　1,267件　　・産後ケア利用者数　31件
・支援プラン作成者数　254件

〈事業名〉　多子世帯応援給付金支給事業
〈事業費〉　36,000,000 円
〈概　要〉　第3子以降のこどもを出産した家庭に対し、「出産・子育て応援給付金」として10万円を支給することに加えて、市独自の施策として30万円の給付金の支給を行いました。
令和6年度支給世帯数：120世帯

〈事業名〉　出産・子育て応援給付金支給事業
〈事業費〉　116,600,000 円
〈概　要〉　妊娠時に5万円、出産時に5万円の「出産・子育て応援給付金」を支給しました。
出産応援給付金　1,244人（妊婦）　　子育て応援給付金　1,088人（子ども）

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	124,350,000 円	23,788,000 円	0 円	0 円	27,460,179 円

〈所　　管〉　こども・健康部　健康づくり課
〈予算区分〉　款）衛生費　　項）保健衛生費　　目）予防事業費

事務事業名	予防接種事業	予算現額	815,645,000 円
		決算額	710,970,517 円

〈事業を行った成果・効果〉
各種定期予防接種等を実施したことで、感染症の感染及び発症予防、症状の軽減化を図ることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　各種個別予防接種委託事業
〈事業費〉　585,105,201 円
〈概　要〉　実績については下記参照

〈令和6年度　予防接種実績〉

種類		実施者数	接種率	対象者	接種委託料（単価）
ロタウイルス	ロタリックス	1,044 人	47.2%	出生6週0日後～出生24週0日後	16,552円
	ロタテック	1,652 人	49.7%	出生6週0日後～出生32週0日後	11,035円
B型肝炎		3,205 人	96.5%	生後2か月～1歳に至るまで	8,267円
ヒブ		1,183 人	26.7%	生後2か月～5歳に至るまで	11,265円
小児用肺炎球菌		4,419 人	99.8%	生後2か月～5歳に至るまで	13,750円
四種混合		1,456 人	29.7%	生後2か月～7歳6か月に至るまで	12,980円
五種混合		3,140 人	64.0%	生後2か月～7歳6か月に至るまで	21,967円
不活化ポリオ		2 人	0.0%	生後2か月～7歳6か月に至るまで	11,825円
BCG		1,078 人	97.4%	1歳に至るまで	12,980円
水痘		2,191 人	90.9%	1歳～3歳に至るまで	10,780円
麻しん風しん（第1期）		1,080 人	96.3%	1歳～2歳に至るまで	12,485円
麻しん風しん（第2期）		1,238 人	94.4%	平成30年4月2日～平成31年4月1日生	11,055円
麻しん		0 人	0.0%	1歳～2歳に至るまで、又は、平成30年4月2日～平成31年4月1日生	8,910円
風しん		0 人	0.0%		8,921円
日本脳炎（第1期）		3,515 人	95.2%	生後6か月～7歳6か月に至るまで ※特例対象者は20歳未満	7,975円
日本脳炎（第2期）		1,362 人	99.6%	9歳～13歳未満 ※特例対象者は20歳未満	7,150円
二種混合（第2期）		1,028 人	80.3%	11歳～13歳未満	5,005円
ヒトパピローマウイルス（2価、4価）		1,134 人 ※	63.9%	小学6年生～高校1年生相当年齢及び平成9年4月2日～平成20年4月1日生の女子	16,775円
ヒトパピローマウイルス（9価）					29,700円
高齢者インフルエンザ		13,326 人	46.4%	65歳以上の方、60歳以上65未満で条件を満たす方	5,225円
高齢者新型コロナウイルス		5,355 人	18.7%	65歳以上の方、60歳以上65未満で条件を満たす方	15,300円
高齢者肺炎球菌		345 人	28.5%	65歳、60歳以上65未満で条件を満たす方	8,783円
風しん抗体検査		218 人	1.5%	昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生の男性	1,419円～7,502円
風しん第5期定期接種（麻しん風しん混合）		59 人	96.7%	昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性で、風しん抗体検査の結果、十分な量の風しんの抗体がないと判明した方	10,142円

※上記定期接種者の他キャッチアップ接種実施者　3,528人

〈事業名〉　帯状疱疹任意予防接種費補助事業
〈事業費〉　4,764,000 円
〈概　要〉　50歳以上の市民を対象に、帯状疱疹の発症や重症化を防止し、市民の健康保持に寄与するとともに経済的負担の軽減を図るため、任意予防接種に係る費用の一部を助成しました。
接種件数：1,195件
接種人数：853人

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	44,465,080 円	0 円	0 円	43,599,900 円	622,905,537 円

〈所　　管〉　こども・健康部　健康づくり課
〈予算区分〉　款）衛生費　　項）保健衛生費　　目）予防事業費

事務事業名	歯科保健事業	予算現額	1,599,000 円
		決算額	1,394,843 円

〈事業を行った成果・効果〉
幼児及び成人に対して歯の健康診査、フッ化物塗布、保健指導、健康教育を実施したことで、虫歯予防や歯周病予防に寄与することができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　歯科保健事業
〈事業費〉　1,394,843 円
〈概　要〉

事業名	対象	受診者数	実施場所	実施回数・期間	費用
成人歯科健康診査	16歳以上の市民	100人	保健センター	6回	無料
幼児歯科健康診査	幼児（5歳児）	273人	市内協力歯科医院47箇所	9月～11月	
フッ化物塗布	3歳児健康診査受診者	848人	保健センター	24回	

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	161,166 円	0 円	0 円	1,233,677 円

〈所　　管〉　こども・健康部　健康づくり課こども家庭センター
〈予算区分〉　款）衛生費　　項）保健衛生費　　目）予防事業費

事務事業名	精神保健事業	予算現額	1,057,000 円
		決算額	881,284 円

〈事業を行った成果・効果〉
「誰も自殺に追い込まれることのない社会」の実現を目指し、「第２期 朝霞市自殺対策計画」を策定しました。また、ゲートキーパー研修等を充実させたことで、さらなるこころの健康づくりの推進を図ることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　精神保健相談事業
〈事業費〉　450,000 円
〈概　要〉　個別相談（電話・面接・訪問）　計80件
精神保健福祉相談（精神科医、精神保健福祉士）　延べ11回実施

〈事業名〉　自殺対策事業
〈事業費〉　431,284 円
〈概　要〉　ゲートキーパー研修　参加者数　80人
こころの体温計　市民等アクセス数　23,284件

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	450,000 円	0 円	0 円	431,284 円

〈所　　管〉　こども・健康部　健康づくり課
〈予算区分〉　款）衛生費　　項）保健衛生費　　目）健康増進事業費

事務事業名	がん検診事業	予算現額	209,062,000 円
		決算額	208,873,368 円

〈事業を行った成果・効果〉
がん検診を実施したことで、がんの早期発見・早期治療に寄与することができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　がん検診事業
〈事業費〉　208,873,368 円
〈概　要〉

がん検診の種類	受診者数	対象者
胃がん	5,306 人	30歳以上
子宮がん(頸部)	4,993 人	20歳以上の女性
子宮がん(体部) 再掲	537 人	20歳以上の女性
乳がん	4,852 人	30歳以上の女性
大腸がん	8,785 人	30歳以上
肺がん	9,398 人	30歳以上
肺がん(喀痰) 再掲	218 人	30歳以上
前立腺がん	3,103 人	55歳以上の男性

がん検診委託	がん検診の種類	委託料
個別がん健(検)診業務委託	胃がん・子宮頸がん・肺がん・乳がん・大腸がん・前立腺がん	190,716,025円
集団健(検)診業務委託	乳がん・子宮頸がん	11,188,200円
総合健康診査(がん検診)業務委託	胃がん・子宮頸がん・肺がん・乳がん・大腸がん・前立腺がん	2,874,720円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	663,000 円	0 円	0 円	0 円	208,210,368 円

〈所　　管〉　こども・健康部　健康づくり課
〈予算区分〉　款）衛生費　　項）保健衛生費　　目）健康増進事業費

事務事業名	成人健康診査事業	予算現額	5,375,000 円
		決算額	5,366,260 円

〈事業を行った成果・効果〉
健康診査で、内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)の該当者・予備軍を抽出し、必要な人に保健指導を実施したことで、生活習慣を改善するための機会を提供することができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　成人健康診査事業
〈事業費〉　5,083,067 円
〈概　要〉　・成人健康診査：健康診査の実施。健診結果を階層化し、必要な者に保健指導を実施。
・健康診査(生活保護受給者)：健康診査及び保健指導の実施。
・肝炎ウイルス検診：肝炎ウイルス検診及び必要に応じ保健指導の実施。

検査項目等	対象者	実施場所	受診者数	委託料
成人健康診査(集団健診)	30歳から39歳	保健センター	318 人	1,697,850円
健康診査(個別健診)	40歳以上の生活保護受給者	協定医療機関	243 人	2,630,331円
肝炎ウイルス検診	肝炎ウイルス検診を受けたことのない40歳以上	協定医療機関	177 人	484,033円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	1,920,230 円	0 円	0 円	3,446,030 円

〈所　　管〉　こども・健康部　健康づくり課
〈予算区分〉　款）衛生費　　項）保健衛生費　　目）健康増進事業費

事務事業名	骨粗しょう症予防事業	予算現額	1,821,000 円
		決算額	1,813,346 円

〈事業を行った成果・効果〉
骨粗しょう症の予防検診・教室を実施し、早期発見とその予防法について啓発活動を実施したことで、生活習慣を見直す機会を提供することができました。令和6年度は対象者に個別通知をしたため、受診者の大幅増加につながりました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　骨粗しょう症予防事業
〈事業費〉　1,813,346 円
〈概　要〉　対象　：　40、45、50、55、60、65、70歳の女性
実施方法　：　手首X線検査（DXA方式）
実施場所　：　保健センター
実施回数　：　10回
受診者数　：　1,073人
委託料　：　1,320,000円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	877,604 円	0 円	0 円	935,742 円

〈所　　管〉　こども・健康部　健康づくり課
〈予算区分〉　款）衛生費　　項）保健衛生費　　目）保健センター管理費

事務事業名	管理事業（保健センター管理費）	予算現額	23,455,000 円
		決算額	22,866,950 円

〈事業を行った成果・効果〉
こども家庭センター設置に係る執務スペースの確保のため、既存の子育て世代包括支援センター間仕切りの撤去及び電話回線増設、健康づくり課（こども家庭センター以外）の執務場所を2階栄養指導室へ移動するための工事等を行ったことで、こども家庭センターを設置することができました。また、設置に伴い必要な机・椅子・ローカウンターなどの備品を購入したことで、こども家庭センターの執務環境が整いました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　こども家庭センター設置に伴う改修工事
〈事業費〉　5,642,120 円
〈概　要〉　栄養指導室修繕、電話回線等増設修繕、クロス張替え、間仕切り及び案内掲示板修繕

〈事業名〉　こども家庭センター設置に伴う執務環境の整備
〈事業費〉　1,652,794 円
〈概　要〉　事務机・イス、職員用ロッカー、ローカウンター、収納棚、応接テーブル・イスの備品購入

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	4,861,000 円	1,215,000 円	0 円	0 円	16,790,950 円

〈所　　管〉　こども・健康部　健康づくり課
〈予算区分〉　款）衛生費　　項）保健衛生費　　目）健康増進センター費

事務事業名	管理運営事業（健康増進センター費）	予算現額	234,631,000 円
		決算額	234,395,075 円

〈事業を行った成果・効果〉
健康増進センターの管理運営を行ったことで、市民の健康の維持・増進及び体力づくりに寄与することができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　健康増進センター管理運営事業
〈事業費〉　229,028,075 円
〈概　要〉　開所日数　329 日
入場者数　249,269 人　（1日平均　758　人）
利用内訳　プール　151,154 人
リフレッシュルーム　27,771 人
トレーニングルーム　70,344 人

〈事業名〉　冷温水発生機オーバーホール
〈事業費〉　5,367,000 円
〈概　要〉　導入から17年経過した冷温水発生機のオーバーホール

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	234,395,075 円

〈所　　管〉　こども・健康部　健康づくり課
〈予算区分〉　款）衛生費　　項）保健衛生費　　目）健康増進センター費

事務事業名	施設改修事業（健康増進センター費）	予算現額	4,950,000 円
		決算額	4,455,000 円

〈事業を行った成果・効果〉
建築基準法による定期検査で要是正の指摘を受けた防火シャッター2枚の修繕を実施したことで、災害時に使用できるようになりました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　健康増進センター防火シャッター修繕
〈事業費〉　4,455,000 円
〈概　要〉　健康増進センターの防火シャッター（2枚）の修繕

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	4,455,000 円

〈所　　管〉　市民環境部　環境推進課
〈予算区分〉　款）衛生費　　項）環境費　　目）環境衛生費

事務事業名	環境美化事業	予算現額	10,474,000 円
		決算額	9,415,662 円

〈事業を行った成果・効果〉
市民の協力のもと、一斉清掃活動を実施したことで、きれいなまちづくりへの意識の高揚を図ることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　きれいなまちづくり運動事業
〈事業費〉　5,600,430 円
〈概　要〉　実施日　（春）令和6年5月26日　（秋）令和6年10月27日
参加団体数　（春）90団体　（秋）86団体
ごみの量　（春）21.14t　（秋）17.83t
配布物　軍　手　（春）1,508ダース　（秋）1,523ダース
ごみ袋　（春）18,092枚　（秋）18,313枚

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	9,415,662 円

〈所　　管〉　市民環境部　環境推進課
〈予算区分〉　款）衛生費　　項）環境費　　目）環境衛生費

事務事業名	鳥獣・害虫管理事業	予算現額	3,960,000 円
		決算額	2,845,952 円

〈事業を行った成果・効果〉
ドッグランの利用をとおして、飼い主同士の交流や飼い主のマナー及びモラルの向上を図ることで、人と動物との共生社会の推進を図ることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　浜崎ドッグラン管理運営事業
〈事業費〉　1,228,450 円
〈概　要〉　オープン　令和5年4月28日（金）
利用時間／休場日　8:00～19:00※日没後は利用不可　／　年末年始・イベント開催時等
利用方法　・利用料：無料　・利用手続：利用登録制
利用方法　・利用条件：　登録者は18歳以上の市内在住者　／登録犬は、畜犬登録及び1年以内に狂犬病予防注射を接種し、注射済票の交付を受けていること
登録犬数　729頭（令和6年度登録数・登録は犬毎に行う）

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	2,845,952 円

〈所　　管〉　市民環境部　環境推進課
〈予算区分〉　款）衛生費　　項）環境費　　目）公害対策費

事務事業名	地球温暖化対策推進事業	予算現額	1,263,000 円
		決算額	1,186,699 円

〈事業を行った成果・効果〉
市役所公用車駐車場内に設置している電気自動車用急速充電設備を運用することで、地球温暖化の防止及び自動車の排気ガスによる大気汚染の低減を図ることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　電気自動車普及啓発事業
〈事業費〉　1,186,699 円
〈概　要〉　稼働日数　356日　24時間　年末年始(12/28から1/5)を除く
利用回数　延べ1,667回
充電設備の保守点検委託　定期点検及び電話サポート等

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	661,953 円	524,746 円

〈所　　管〉　市民環境部　環境推進課
〈予算区分〉　款）衛生費　　項）環境費　　目）公害対策費

事務事業名	再生可能エネルギー普及推進事業	予算現額	6,200,000 円
		決算額	5,993,000 円

〈事業を行った成果・効果〉
環境に配慮した創エネ・省エネ設備の設置費用を一部補助したことで、再生可能エネルギーの利用及び温室効果ガスの排出抑制、雨水の有効活用等を推進することができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　創エネ・省エネ設備設置費補助事業
〈事業費〉　5,993,000 円
〈概　要〉

補助メニュー	補助上限額	件数	補助額
住宅用太陽光発電システム	戸建上限10万円 管理組合上限50万円	27件	2,536,000円
家庭用燃料電池(エネファーム)	上限5万円	1件	50,000円
定置用リチウムイオン蓄電池	上限10万円	30件	3,000,000円
雨水貯留槽	戸建上限2万円 管理組合10万円	2件	37,000円
HEMS(ホームエネルギーマネジメントシステム)	上限1万円	7件	70,000円
V2H(ビークル・トゥ・ホーム)	上限10万円	3件	300,000円
合計		延べ70件	5,993,000円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	5,993,000 円

〈所　　管〉　市民環境部　資源リサイクル課
〈予算区分〉　款）衛生費　　項）清掃費　　目）清掃総務費

事務事業名	ごみ減量・リサイクル推進補助事業	予算現額	5,845,000 円
		決算額	5,683,935 円

〈事業を行った成果・効果〉
資源物を回収する団体に地域リサイクル活動推進補助金を交付したことで、ごみの減量化及び再資源化の推進を図ることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　ごみ減量・リサイクル推進補助事業
〈事業費〉　5,659,020 円
〈概　要〉　登録団体数　159団体（令和7年3月末現在）
補助額　6円/kg　※令和4年6月30日までの計量分は、8円/kg
回収実績　紙　類　814,383kg
布　類　79,004kg
金属類　49,673kg
びん類　110kg

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	5,683,935 円

〈所　　管〉　市民環境部　資源リサイクル課
〈予算区分〉　款）衛生費　　項）清掃費　　目）塵芥処理費

事務事業名	可燃ごみ処理事業	予算現額	783,329,000 円
		決算額	775,830,535 円

〈事業を行った成果・効果〉
クリーンセンターで発生する焼却灰等の放射性物質を測定したことで、市民の放射性物質汚染に対する不安を解消することができました。また、ごみ焼却処理施設の改修工事を実施したことで、安定的なごみ処理を行うことができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　焼却灰等放射能濃度測定事業
〈事業費〉　467,500 円
〈概　要〉　ごみ焼却処理施設で発生する焼却灰、飛灰の放射性物質（放射性セシウム）測定（毎月1回）
不燃物の放射性物質測定（年1回）

〈事業名〉　可燃ごみ処理施設改修工事
〈事業費〉　188,866,700 円
〈概　要〉　ごみ焼却処理施設の燃焼設備、排ガス処理施設、灰出し設備、電気計装設備、焼却設備等の改修

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	141,500,000 円	156,803,080 円	477,527,455 円

〈所　　管〉　市民環境部　資源リサイクル課
〈予算区分〉　款）衛生費　　項）清掃費　　目）塵芥処理費

事務事業名	資源ごみ処理事業	予算現額	423,693,000 円
		決算額	414,882,195 円

〈事業を行った成果・効果〉
ごみの減量化及び資源化を目的として、ごみの分別収集に努めたことで、資源ごみのリサイクル推進を図ることができました。また、資源ごみ処理施設の改修工事を実施したことで、安定的なごみ処理を行うことができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　資源ごみ収集運搬事業
〈事業費〉　219,378,500 円
〈概　要〉　収集回数　週1回
収集品目　プラスチック、びん、かん、ペットボトル、紙パック、ダンボール、新聞、雑がみ、布類
収集量　6,510,450kg

〈事業名〉　資源ごみ処理施設改修工事
〈事業費〉　27,280,000 円
〈概　要〉　プラスチック類処理施設のペットボトル圧縮梱包機、搬送コンベア、プラスチック圧縮梱包機、ペットボトル受入供給コンベア等の整備

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	20,400,000 円	145,903,616 円	248,578,579 円

〈所　　管〉　市民環境部　資源リサイクル課
〈予算区分〉　款）衛生費　　項）清掃費　　目）塵芥処理費

事務事業名	粗大ごみ処理事業	予算現額	99,261,000 円
		決算額	98,447,420 円

〈事業を行った成果・効果〉
粗大ごみ処理施設の改修工事を実施したことで、施設の性能を維持し、安定的なごみ処理を行うことができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　粗大ごみ処理施設改修工事
〈事業費〉　24,530,000 円
〈概　要〉　粗大ごみ処理施設の破砕機部品交換、可燃物積込ホッパ交換

可燃物積込ホッパ交換	前		破砕機部品交換	前	
	後			後	

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	18,300,000 円	10,273,080 円	69,874,340 円

〈所　　管〉　市民環境部　資源リサイクル課
〈予算区分〉　款）衛生費　　項）清掃費　　目）塵芥処理費

事務事業名	朝霞和光資源循環組合負担事業	予算現額	126,005,000 円
		決算額	126,005,000 円

〈事業を行った成果・効果〉
朝霞和光資源循環組合の運営費用の一部を負担することで、広域化協議の推進を図ることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　朝霞和光資源循環組合負担事業
〈事業費〉　126,005,000 円
〈概　要〉　朝霞和光資源循環組合負担金
令和12年度のごみ広域処理施設稼働に向け、令和6年4月から令和7年3月分までの、朝霞和光資源循環組合の運営に関する費用を朝霞市と和光市の2市で負担する。

議会費	1,558,000円
総務費	43,432,000円
衛生費	5,548,000円
公債費	71,467,000円
予備費	4,000,000円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	126,005,000 円

〈所　　管〉　市民環境部　資源リサイクル課
〈予算区分〉　款）衛生費　　項）清掃費　　目）リサイクルプラザ費

事務事業名	リサイクル家具類販売事業	予算現額	5,226,000 円
		決算額	4,935,037 円

〈事業を行った成果・効果〉
家庭において不用になった家具類を収集し、修理・販売したことで、資源の有効活用についての意識啓発及び廃棄物の減量化を図ることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　リサイクル家具類収集展示販売事業
〈事業費〉　4,935,037 円
〈概　要〉　家具収集　125件（263点）　家具持込　76件（112点）
家具販売　公開抽選　12回　展示数　534点　販売数　380点
申込件数　1,104件

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	942,200 円	3,992,837 円

第5款　労働費

〈所　　管〉　市民環境部　産業振興課
〈予算区分〉　款）労働費　　項）労働諸費　　目）労働諸費

事務事業名	内職相談事業	予算現額	773,000 円
		決算額	772,908 円

〈事業を行った成果・効果〉
家庭外で働くことが困難な市民で内職を希望する人に対し、内職に関する相談及び内職あっせんを行うため、内職相談を実施したことで、15人に内職をあっせんすることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　内職相談事業
〈事業費〉　772,908 円
〈概　要〉　内職相談の実施
相 談 日：毎週火曜日・金曜日
相談時間　午前9時～正午、午後1時～午後4時（相談の受付は午後3時30分まで）
相談体制　内職相談員1名（会計年度任用職員）
相談件数：140件（うち求職相談135件、うち求人相談5件）

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	772,908 円

第6款　農林水産業費

〈所　　管〉　農業委員会事務局
〈予算区分〉　款）農林水産業費　　項）農業費　　目）農業委員会費

事務事業名	農業委員会運営事業	予算現額	14,910,000 円
		決算額	14,271,836 円

〈事業を行った成果・効果〉
農業委員会等に関する法律第6条に基づき、農業委員による農地利用最適化に向けた活動を行ったことで、遊休農地の解消及び発生の防止をすることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　農地利用最適化推進事業
〈事業費〉　600,000 円
〈概　要〉　活動日数　120日
活動内容　農業委員による農地の巡回、パトロール及び遊休農地化防止のための相談、指導など

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	1,817,500 円	0 円	0 円	12,454,336 円

〈所　　管〉　市民環境部　産業振興課
〈予算区分〉　款）農林水産業費　　項）農業費　　目）農業振興費

事務事業名	市民農園事業	予算現額	5,683,000 円
		決算額	5,449,296 円

〈事業を行った成果・効果〉
農地を借り上げ市民農園として管理したことにより、都市化の進む中で緑地として潤いのある環境づくりに資するとともに、市民が実際に野菜等を栽培する場を提供し、農業に対する理解を深めることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　市民農園事業
〈事業費〉　5,449,296 円
〈概　要〉　農園管理　6か所　450区画

No.	農園名	区画数	貸出数	利用料金(月額)
1	浜崎農園	211	211	500円
2	本町農園	54	54	500円
3	根岸台農園	30	30	500円
4	溝沼農園	43	43	500円
5	青葉台農園	42	42	2,000円
6	浜崎第2農園	70	70	500円
計		450	450	

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	2,819,000 円	2,630,296 円

〈所　　管〉　市民環境部　産業振興課
〈予算区分〉　款）農林水産業費　　項）農業費　　目）農業振興費

事務事業名	農業祭事業	予算現額	848,000 円
		決算額	847,435 円

〈事業を行った成果・効果〉
農業者と消費者との交流を通して農業への理解を深めるとともに、短根人参品質改善増収共進会及び農産物品評会を行い、優れた農産物等を出品した生産者を表彰することにより、農業への意欲の向上と農業技術や農産物の品質改善が図られました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　農業祭事業
〈事業費〉　847,435 円
〈概　要〉　短根人参品質改善共進会　参加圃場:9圃場　入賞:4圃場
農産物品評会　出品数:173点　入賞:42点
令和6年度みのりの祭り　朝霞市農業祭
来場者数　7,000人
・展示　4コーナー
・農業団体模擬店　3店舗(3団体)
・都市間交流　2自治体(山形県東根市・埼玉県越生町)
・その他催事　8コーナー
・ステージイベントの開催

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	847,435 円

〈所　　管〉　市民環境部　産業振興課
〈予算区分〉　款）農林水産業費　　項）農業費　　目）農業振興費

事務事業名	農業振興支援事業	予算現額	6,181,000 円
		決算額	5,299,043 円

〈事業を行った成果・効果〉
農業生産高の中心的位置を占める短根人参、ほうれん草の出荷箱を購入した農業者に対して補助金を交付したことにより、地場野菜の振興を図ることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　地場野菜振興事業
〈事業費〉　1,087,730 円
〈概　要〉　補助対象　短根人参・ほうれん草の出荷箱
補助率　購入費の1/4以内
補助件数　延べ54人　47,490箱

〈短根人参〉

〈ほうれん草〉

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	337,000 円	0 円	0 円	4,962,043 円

〈所　　管〉　市民環境部　産業振興課
〈予算区分〉　款）農林水産業費　　項）農業費　　目）農地費

事務事業名	水利組合事業	予算現額	49,857,000 円
		決算額	46,795,000 円

〈事業を行った成果・効果〉
使用しなくなった農業用送水管を撤去することで、土地区画整理事業の進捗が図られました。
また、住宅下送水管の安全対策工事を実施することで、将来にわたる住民の安全確保が図られました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　東用水施設送水管撤去
〈事業費〉　41,690,000 円
〈概　要〉　あずま南地区土地区画整理事業区域内に埋設されている農業用送水管の撤去
口径500mm　延長380m

〈事業名〉　東用水施設送水管安全対策工事
〈事業費〉　4,906,000 円
〈概　要〉　住宅下に埋設されている農業用送水管へのモルタル充填
口径500mm　延長34m

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	46,795,000 円

第7款 商工費

〈所　　管〉　市民環境部　産業振興課
〈予算区分〉　款）商工費　　項）商工費　　目）商工総務費

事務事業名	商工総務事務事業	予算現額	13,621,000 円
		決算額	2,026,080 円

〈事業を行った成果・効果〉
ふるさと納税の運用について、返礼品を充実させることで、市内事業者支援と歳入の確保に寄与することができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　ふるさと納税事業
〈事業費〉　2,026,080 円
〈概　要〉　171件
寄 附 額　4,321,000円
※ガバメントクラウドファンディング　493,000円（17件）を含む

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	17,000 円	2,009,080 円

〈所　　管〉　市民環境部　産業振興課
〈予算区分〉　款）商工費　　項）商工費　　目）商工業振興対策費

事務事業名	中小企業支援事業	予算現額	43,586,000 円
		決算額	36,389,383 円

〈事業を行った成果・効果〉
市内中小企業者に対し、事業資金の融資を行ったことで、商工業の振興及び経営の安定化を図ることができました。
市の融資制度利用者に対して支給している利子補給補助金を拡充したことで、市内事業者の支援を実施することができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　中小企業融資支援事業
〈事業費〉　11,722,000 円
〈概　要〉　貸付限度額　無担保無保証人特別資金融資 12,500,000円
中口融資 15,000,000円
（設備資金は20,000,000円）
融資実行件数　32件
融資実行額　244,232,000円

〈事業名〉　中小企業融資利子補給補助金事業
〈事業費〉　3,483,476 円
〈概　要〉　市の融資制度利用者に対して支給している利子補給補助金の割合を7分の4から全額支給するよう拡充して実施
交付件数　76件

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	13,602,000 円	0 円	0 円	0 円	22,787,383 円

〈所　　管〉　市民環境部　産業振興課
〈予算区分〉　款）商工費　　項）商工費　　目）商工業振興対策費

事務事業名	商工会支援事業	予算現額	17,430,000 円
		決算額	16,091,614 円

〈事業を行った成果・効果〉
商工会に対し、商工会補助金や中小小売商業高度化事業構想推進事業費補助金を交付したことで、市内産業の活性化を図ることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　商工会補助事業
〈事業費〉　16,091,614 円
〈概　要〉　商工会補助金 10,800,000円
商工まつり補助金 1,530,000円
商工業者研修事業補助金 100,000円
中小小売商業高度化事業構想推進事業費補助金 3,661,614円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	16,091,614 円

〈所　　管〉　市民環境部　産業振興課
〈予算区分〉　款）商工費　　項）商工費　　目）商工業振興対策費

事務事業名	商店会支援事業	予算現額	3,504,000 円
		決算額	2,998,515 円

〈事業を行った成果・効果〉
商店会に対し、事業の実施や街路灯の維持管理に係る費用の補助金を交付したことで、地域商業の活性化を推進することができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　商店街活性化推進事業
〈事業費〉　886,515 円
〈概　要〉　活性化推進事業補助金交付団体数 6団体

No.	活性化推進事業補助金交付団体	交付額
1	北朝霞商業振興会	500,000円
2	朝霞駅前商店会	47,398円
3	朝霞本町商店会	140,694円
4	仲町商工振興会	28,800円
5	膝折町商店会	84,850円
6	北一商店会	84,773円
	計	886,515円

〈事業名〉　商店街街路灯維持管理支援事業
〈事業費〉　2,112,000 円
〈概　要〉　街路灯維持管理補助金交付団体数 7団体

No.	街路灯維持管理補助金交付団体	交付額
1	朝霞駅前商店会	577,200円
2	朝霞本町商店会	801,700円
3	仲町商工振興会	212,200円
4	弁財原商工振興会	186,100円
5	北一商店会	85,700円
6	朝志ヶ丘仲通商店会	240,500円
7	上の原商工街	8,600円
	計	2,112,000円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	2,998,515 円

〈所　　管〉　市民環境部　産業振興課
〈予算区分〉　款）商工費　　項）商工費　　目）商工業振興対策費

事務事業名	リフォーム資金補助事業	予算現額	8,500,000 円
		決算額	8,439,300 円

〈事業を行った成果・効果〉
市内施工業者により個人住宅をリフォームする市民や店舗等をリフォームする市内事業者に対し、リフォーム資金を補助したことで、空き店舗解消及び事業者支援をするとともに、地域経済対策の一環として市内経済の活性化を促進することができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　個人住宅リフォーム資金補助事業
〈事業費〉　7,440,300 円
〈概　要〉　補助率　対象工事費(税抜)の5%(上限50,000円)
交付件数　167件
工事費総額　264,434,440円(税込)

〈事業名〉　店舗等リフォーム資金補助事業
〈事業費〉　999,000 円
〈概　要〉　補助率　【空き店舗】対象工事費(税抜)の30%(上限300,000円)
【既存店舗】対象工事費(税抜)の10%(上限100,000円)
交付件数　8件(内 空き店舗3件)
工事費総額　11,384,934円(税込)

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	8,439,300 円

〈所　　管〉　市民環境部　産業振興課
〈予算区分〉　款）商工費　　項）商工費　　目）商工業振興対策費

事務事業名	起業家育成支援事業	予算現額	838,000 円
		決算額	807,860 円

〈事業を行った成果・効果〉
起業家育成相談や起業支援セミナーを開催するなど、本市で起業する人を支援したことで、産業活性化を促進することができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　起業家育成相談事業
〈事業費〉　517,000 円
〈概　要〉　起業家育成相談　相談件数　47件

〈事業名〉　起業家育成セミナー事業
〈事業費〉　60,000 円
〈概　要〉　起業家育成支援セミナー　実施回数　3回(参加者数57人)

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	807,860 円

〈所　　管〉　市民環境部　産業振興課
〈予算区分〉　款）商工費　　項）商工費　　目）産業文化センター費

事務事業名	管理運営事業（産業文化センター費）	予算現額	71,587,000 円
		決算額	71,583,275 円

〈事業を行った成果・効果〉
産業文化センターの管理運営を行ったことで、産業活性化を促進することができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　産業文化センター管理運営事業
〈事業費〉　71,583,275 円
〈概　要〉　開所日数　348日
利用件数　4,058件
利用者数　119,956人
〈内訳〉

施設	利用件数	利用者数
多目的ホール	700件	31,709人
ギャラリー	697件	39,467人
研修兼集会室	1,946件	42,507人
会議室	715件	6,273人
合計	4,058件	119,956人

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	71,583,275 円

第8款 土木費

〈所　　管〉　都市建設部 開発建築課
〈予算区分〉　款） 土木費　　項） 土木管理費　　目） 建設総務費

事務事業名	建築行政事業	予算現額	15,429,000 円
		決算額	15,298,249 円

〈事業を行った成果・効果〉
開発登録簿の掲載箇所、建築基準法上の道路種別のGISのレイヤーを作成し、インターネット上で容易に情報収集することができることで、市民や事業者の利便性を向上させることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　窓口業務のオンライン化（GIS（地理情報システム）の導入）
〈事業費〉　12,375,000 円
〈概　要〉　○業務名称　地理情報システムデータ整備業務委託（令和6年6月～令和7年3月）
・契約業者　株式会社パスコ
・業務項目　(1)開発登録簿掲載箇所データ整備
(2)建築基準法道路種別データ整備

○アクセスログ（令和7年7月末日現在）

	【開発登録簿掲載箇所】	【建築基準法道路種別】
4月	174 件	405 件
5月	114 件	419 件
6月	147 件	541 件

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	15,298,249 円

〈所　　管〉　都市建設部 開発建築課
〈予算区分〉　款） 土木費　　項） 土木管理費　　目） 建設総務費

事務事業名	建築物耐震化促進事業	予算現額	6,616,000 円
		決算額	2,755,055 円

〈事業を行った成果・効果〉
耐震診断や耐震改修を実施する市内の既存建築物所有者及びブロック塀等撤去を実施する所有者又は管理者に対し、補助金を交付したことで、地震による既存建築物の倒壊などの被害を防ぐ等、安全な建築物の整備を促進することができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　ブロック塀等撤去費補助事業
〈事業費〉　1,741,000 円
〈概　要〉　対象　道路または公共施設の敷地に面する高さ1m以上で倒壊のおそれがあるブロック塀等を撤去したもの。
補助件数　9件

〈事業名〉　建築物耐震化対策補助事業
〈事業費〉　1,000,000 円
〈概　要〉　対象　昭和56年5月31日以前に着工した建築物で、原則市内にある建築士事務所の建築士が診断したもの。
また、当該診断結果に基づき、耐震改修工事を実施したもの。
補助件数　診断　戸建て住宅 2件
改修　戸建て住宅 2件

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	1,057,000 円	0 円	0 円	0 円	1,698,055 円

〈所　　管〉　都市建設部　開発建築課
〈予算区分〉　款）土木費　　項）土木管理費　　目）建設総務費

事務事業名	空き家対策事業	予算現額	2,189,000 円
		決算額	2,187,691 円

〈事業を行った成果・効果〉
所有者及び相続人不明の管理不全空き家について、相続財産清算人の選任を家庭裁判所に申立てを行い、選任された清算人が財産調査後に財産の売却等を行うことで、管理不全空き家の解消に繋がりました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　相続財産清算人の選任
〈事業費〉　2,014,205 円
〈概　要〉　実施理由
戸籍調査等の所有者調査を行い、所有者や法定相続人が判明しない空き家の中から、老朽化や周辺への悪影響等の状況について、「空き家等の適正管理に関する庁内連絡会議」において、協議・選定し優先度の高い空き家から制度の活用を行っております。

申立実績
令和6年度　2件申立て
事業費
・申立て費用　4,055円
申立て（1件目）　2，005円（印紙800円、郵便切手1，205円）
申立て（2件目）　2，050円（印紙800円、郵便切手1，250円）
・予納金　2,000,000円　（1,000,000円×2件）
・広告料　10,150円　（5,075円×2件）

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	2,187,691 円

〈所　　管〉　都市建設部　開発建築課
〈予算区分〉　款）土木費　　項）土木管理費　　目）建設総務費

事務事業名	住宅政策事業	予算現額	67,025,000 円
		決算額	64,658,011 円

〈事業を行った成果・効果〉
住宅に困窮している低所得者、高齢者、また障害のある人等に対し、住宅を供給したことで、社会福祉の増進に寄与することができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　市営住宅事業
〈事業費〉　60,995,000 円
〈概　要〉　市営仲町住宅（都市再生機構コンフォール東朝霞）、市営浜崎住宅、市営膝折住宅
対象　　借上げ戸数　50戸（市営仲町住宅38戸、市営浜崎住宅7戸、市営膝折住宅2戸、入居調整3戸）
（令和7年3月末現在）
〈事業名〉　居住支援相談事業
〈事業費〉　1,113,002 円
〈概　要〉　実施理由　（公社）埼玉県社会福祉士会と業務委託契約を締結しており、一度の相談では相談者の問題が解決するものばかりではなく、継続した支援が必要となる場合もあることから、令和6年度より継続支援に柔軟に対応できるよう委託内容を拡充しました。

事業費　内訳（金額は全て税込み）
入居相談会　122,760円（1,980円×62件）　　個別入居支援　344,520円（5,940円×58件）
交通費　109,560円（1,320円×83件）　　事務員人件費　160,930円（14,630円×11件）
通信費　27,720円　　一般管理費　105,512円　　消耗品・印刷費等　242,000円
相談件数　89件（内訳：居住支援相談31件、継続支援58件）
相談内容　①家賃滞納で家を退去させられ、ホームレスとなり生活保護を受給したが、障害があるため居住先が決まらなかった。
②借金があり、自宅を売却予定で売却後の居住を探しているが、市営住宅は落選してしまった。

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	13,429,000 円	0 円	0 円	19,574,930 円	31,654,081 円

〈所　　管〉　都市建設部　道路整備課
〈予算区分〉　款）土木費　　項）道路橋梁費　　目）道路橋梁総務費

事務事業名	私道整備助成事業	予算現額	2,448,000 円
		決算額	2,448,000 円

〈事業を行った成果・効果〉
補助金（事業費の3分の2以内）を交付したことで、私道整備の促進に寄与することができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　私道整備助成事業
〈事業費〉　2,448,000 円
〈概　要〉　①岡1丁目地内（938,000円）②根岸台6丁目地内（1,510,000円）
①通学路にも利用され、経年劣化で段差等発生していることから舗装工事を実施。改修道路延長63m
②舗装の打ち換え工事を実施。改修道路延長63.68m

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	2,448,000 円

〈所　　管〉　都市建設部　道路整備課
〈予算区分〉　款）土木費　　項）道路橋梁費　　目）道路維持費

事務事業名	道路照明灯整備事業	予算現額	88,888,000 円
		決算額	85,195,551 円

〈事業を行った成果・効果〉
市内に設置している道路照明灯を適切に維持管理することで、市内の交通安全推進に寄与することができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　道路照明灯LED化事業
〈事業費〉　85,195,551 円
〈概　要〉　令和2年度に市内に設置している道路照明灯全灯のLED化を実施。
令和3年度から令和12年度まで維持管理の業務委託を実施。

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	85,195,551 円

〈所　　管〉　都市建設部　道路整備課
〈予算区分〉　款）土木費　　項）道路橋梁費　　目）道路維持費

事務事業名	道路施設修繕事業	予算現額	100,984,000 円
		決算額	100,980,130 円

〈事業を行った成果・効果〉
通行に支障が出てしまう箇所の応急、簡易修繕を実施したことで、市民の円滑な通行を保つことができました。また、横断グレーチングや集水桝の設置箇所を増やすことで、雨水排水機能の向上を図ることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　雨水排水対策工事
〈事業費〉　11,984,500 円
〈概　要〉　市内各所に横断グレーチングや集水枡の設置・修繕を実施。
横断グレーチングに関するもの　12か所、集水桝に関するもの　19か所

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	20,931,473 円	80,048,657 円

〈所　　管〉　都市建設部　道路整備課
〈予算区分〉　款）土木費　　項）道路橋梁費　　目）道路維持費

事務事業名	駅前広場管理事業	予算現額	32,783,000 円
		決算額	31,789,515 円

〈事業を行った成果・効果〉
朝霞駅東口広場多目的トイレの修繕を実施し、自動ドアになったことで、誰もが気兼ねなく利用することができるようになりました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　朝霞駅東口広場多目的トイレドア修繕
〈事業費〉　4,950,000 円
〈概　要〉　朝霞駅東口広場多目的トイレ2か所の手動扉を自動ドアに交換

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	31,789,515 円

〈所　　管〉　都市建設部　道路整備課
〈予算区分〉　款）土木費　　項）道路橋梁費　　目）道路維持費

事務事業名	駅前広場改修事業	予算現額	25,000,000 円
		決算額	24,992,000 円

〈事業を行った成果・効果〉
北朝霞駅西口ロータリーを車中心から人中心の居心地の良い空間に再整備するに当たり、北朝霞駅西口ロータリー改修設計及び周辺交通機能構想検討業務委託を行ったことで、北朝霞駅西口ロータリーの広場化に向けて事業を推進し、詳細設計を完了することができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　北朝霞駅西口ロータリー広場化事業
〈事業費〉　24,992,000 円
〈概　要〉　令和5年～令和6年度の繰越事業（25,000,000円）
公募型プロポーザルの実施（令和5年10月（参加事業者：1社））
北朝霞駅西口ロータリー改修設計及び周辺交通機能構想検討業務委託（令和5年11月～令和7年3月）
R5　整備方針の決定、基本設計　など
R6　基本設計、実施設計、交通量調査　など

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	4,400,000 円	0 円	18,400,000 円	0 円	2,192,000 円

〈所　　管〉　都市建設部　道路整備課
〈予算区分〉　款）土木費　　項）道路橋梁費　　目）道路維持費

事務事業名	道路施設維持管理事業	予算現額	43,925,000 円
		決算額	43,352,242 円

〈事業を行った成果・効果〉
泥やごみが側溝内に堆積してしまうと速やかな雨水排水の妨げとなり、道路冠水を引き起こす要因の一つとなることから清掃を実施することで、排水機能を確保し道路冠水を防ぎ降雨時の円滑な交通機能の保持に寄与しました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　側溝清掃の実施
〈事業費〉　28,216,352 円
〈概　要〉　市内各所の側溝清掃を58件実施。

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	43,352,242 円

〈所　　管〉　都市建設部　道路整備課
〈予算区分〉　款）土木費　　項）道路橋梁費　　目）道路維持費

事務事業名	花と緑のまちづくり事業	予算現額	99,505,000 円
		決算額	99,199,458 円

〈事業を行った成果・効果〉
市道1000号線の樹木で、交通標識や信号の視認等に支障があるもの、通行に支障があるもの、隣接地に越境しているものなど緊急性が高いものについて剪定を行ったことで、樹木の適正な管理及び道路を通行される方の円滑な移動に寄与しました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　交通標識の視認等に支障がある高木の剪定業務（市道1000号線）
〈事業費〉　3,498,000 円
〈概　要〉　市道1000号線（朝霞郵便局前交差点～県道和光志木線）の高木72本の剪定

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	99,199,458 円

〈所　　管〉　都市建設部　道路整備課
〈予算区分〉　款）土木費　　項）道路橋梁費　　目）道路新設改良費

事務事業名	道路改良事業	予算現額	95,440,000 円
		決算額	80,199,850 円

〈事業を行った成果・効果〉
地域の実情に合った道路改良工事を実施したことで、歩行者等が安全で円滑な通行ができている区間を増加することができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　設計業務委託
〈事業費〉　37,076,600 円
（委託業務実績）

取組名	工事費（円）	契約期間	概要
市道2168号線 擁壁詳細設計等業務委託	36,581,600	自R6. 6. 24 至R7.3.21	擁壁詳細設計　一式
			用地測量　一式
			建物調査　一式
朝霞大橋階段設置場所検討 業務委託	495,000	自R6.5.27 至R6.9.30	設置場所検討業務　一式
合計	37,076,600		

〈事業名〉　市道2002号線道路改良工事
〈事業費〉　43,123,250 円　（建物等移転補償料282,650円含む）
〈概　要〉　工事延長　L=210m　幅員　W=8.0m　　切削オーバーレイ工　A=370㎡、A=270㎡（夜間）
透水性舗装工　A=175㎡　　L型擁壁設置工　L=23m

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	71,400,000 円	0 円	8,799,850 円

〈所　　管〉　都市建設部　道路整備課
〈予算区分〉　款）土木費　　項）道路橋梁費　　目）道路新設改良費

事務事業名	歩道整備事業	予算現額	32,021,000 円
		決算額	24,153,604 円

〈事業を行った成果・効果〉
地域の実情に合った道路改良工事を実施したことで、歩行者等が安全で円滑な通行ができている区間を増加することができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　歩道築造工事
〈事業費〉　23,642,400 円
（工事の実績）

取組名	工事費（円）	契約期間	概要
市道19号線歩道築造工事	5,447,200	自R6. 5. 23 至R6.11.22	工事延長L＝31m　幅員W＝2m 透水性舗装A＝30㎡ アスファルト舗装A＝21㎡
市道1号線他歩道築造工事	5,641,900	自R6.7.3 至R6.11.29	工事延長L＝24m　幅員W＝2m 透水性舗装A＝15㎡ アスファルト舗装A＝29㎡
市道18号線歩道築造工事	4,422,000	自R6.7.3 至R6.11.29	工事延長L＝30m 幅員W＝2.0m 透水性舗装工A＝45㎡
市道90号線歩道築造工事 （R5から繰越）	8,131,300	自R5.10.4 至R6.12.27	工事延長L＝116m 幅員W＝2.0m 透水性舗装工A＝173㎡
合計	23,642,400		

〈事業名〉　電柱移設に伴う移転補償料
〈事業費〉　511,204 円
〈概　要〉　電柱1本（市道19号線）

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	21,500,000 円	0 円	2,653,604 円

〈所　　管〉　都市建設部　道路整備課
〈予算区分〉　款）土木費　　項）道路橋梁費　　目）道路新設改良費

事務事業名	道路舗装事業	予算現額	122,644,000 円
		決算額	119,515,000 円

〈事業を行った成果・効果〉
朝霞市道舗装修繕計画及び地域の実情に基づいて舗装改修工事を実施したことで、車両や歩行者等が安全で円滑な通行ができる区間を増加させることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　舗装改修工事
〈事業費〉　119,515,000 円

（工事の実績）

取組名	工事費(円)	契約期間	概要
市道1号線舗装改修工事	12,236,400	自R6.5.2 至R6.8.30	工事延長 L=153m 幅員 W=6.0m 切削オーバーレイ工 A=1,040㎡
市道2号線舗装改修工事	25,241,700	自R6.5.15 至R6.9.13	工事延長 L=398m 幅員 W=8.0m 切削オーバーレイ工 A=3,260㎡
市道2002号線舗装改修工事	12,298,000	自R6.7.3 至R6.10.11	工事延長 L=223m 幅員 W=5.6m 切削オーバーレイ工 A=1,277㎡
市道9号線舗装改修工事	19,651,500	自R6.8.7 至R6.11.22	工事延長 L=300m 幅員 W=6.0m 切削オーバーレイ工 A=1,956㎡
市道2号線舗装改修工事（その2）	21,687,600	自R6.8.13 至R6.11.15	工事延長 L=290m 幅員 W=8.0m 切削オーバーレイ工 A=2,562㎡
市道2025号線舗装改修工事	1,210,000	自R6.10.10 至R6.11.19	路盤工 一式 舗装工 一式 車止めポール 2本
大字下内間木地内舗装改修工事	1,045,000	自R6.11.15 至R6.12.20	路盤工 一式 舗装工 一式
市道2167号線舗装改修工事	5,847,600	自R6.12.4 至R7.3.14	工事延長 L=78m 幅員 W=7.5m 切削オーバーレイ工 A=481㎡
市道21号線舗装改修工事	3,852,200	自R6.12.4 至R7.3.14	工事延長 L=46m 幅員 W=5.9m 切削オーバーレイ工 A=283㎡
大字下内間木地内道路修繕等改修工事	1,298,000	自R6.12.17 至R7.1.31	路盤工 一式 舗装工 一式 看板設置 1カ所
市道3号線舗装改修工事	11,781,000	自R6.12.26 至R7.3.21	工事延長 L=160m 幅員 W=7.2m 切削オーバーレイ工 A=1,240㎡
市道422号線舗装改修工事	3,366,000	自R6.12.26 至R7.3.28	工事延長 L=60m 幅員 W=6.9m 切削オーバーレイ工 A=418㎡
工事請負費計	119,515,000		

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	93,400,000 円	0 円	26,115,000 円

〈所　　管〉　都市建設部　道路整備課
〈予算区分〉　款）土木費　　項）道路橋梁費　　目）河川費

事務事業名	水路改修事業	予算現額	45,840,000 円
		決算額	27,979,600 円

〈事業を行った成果・効果〉
内間木地区の浚渫工事を実施したことで、浸水被害の軽減を図ることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　水路改修工事
〈事業費〉　27,979,600 円
（工事の実績）

取組名	工事費(円)	契約期間	概要
上内間木地内水路浚渫工事（その3）※R5から繰越	11,178,200	自R5.12.12 至R6.4.30	工事延長 L=100m 幅員 W=1.8m 水路浚渫工 V=129㎥
上内間木地内水路浚渫工事	7,511,900	自R6.5.2 至R6.7.19	工事延長 L=40m 幅員 W=3.0m 水路浚渫工 V=56㎥
内間木排水機場内水路浚渫工事	9,289,500	自R6.11.6 至R7.3.14	排水機場内水路浚渫工 一式
水路改修事業計	27,979,600		

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	12,500,000 円	0 円	15,479,600 円

〈所　　管〉　都市建設部　道路整備課
〈予算区分〉　款）土木費　　項）道路橋梁費　　目）河川費

事務事業名	排水機場維持管理事業	予算現額	198,122,000 円
		決算額	157,561,214 円

〈事業を行った成果・効果〉
水害を軽減するために排水機場の改修等を行ったことで、被害軽減への体制を整えることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　赤野毛排水機場No.1排水ポンプ制御装置修繕
〈事業費〉　27,280,000 円
〈概　要〉　平成14年度に製造された排水ポンプが、定期点検の際に、盤内のインバータ及びコンバータの経年劣化を指摘され、修繕を実施。

〈事業名〉　上内間木排水ポンプ場設備修繕
〈事業費〉　96,800,000 円
〈概　要〉　平成5年度に製造された排水ポンプが、定期点検の際に、機器の経年劣化等による不良が生じていることがわかり、修繕を実施。

〈事業名〉　宮戸第5樋管遠方操作装置設置工事
〈事業費〉　1,980,000 円
〈概　要〉　新河岸川に設置している樋管の遠隔操作をできるよう設備改修を行い、職員が現地に赴き樋管ゲートの開閉作業をする必要がなくなり、災害時の作業効率を上げるために実施。

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	215,282 円	0 円	121,000,000 円	26,010,022 円	10,335,910 円

〈所　　管〉　都市建設部　道路整備課
〈予算区分〉　款）土木費　　項）道路橋梁費　　目）橋梁整備費

事務事業名	橋梁改修事業	予算現額	535,753,022 円
		決算額	145,738,588 円

〈事業を行った成果・効果〉
橋梁の改修等が進捗したことで、道路ネットワークの安全性、信頼性を向上させることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　橋梁改修工事等
〈事業費〉　57,294,600 円
（改修工事等実績）

取組名	工事費(円)	契約期間	概要
東橋側道橋改修工事設計業務委託 ※R5から繰越	7,480,000	自R6.7.3 至R7.3.21	橋梁補修設計1橋
塗膜調査業務委託	919,600	自R6.9.5 至R6.10.31	塗膜調査　一式
浜崎橋側道橋伸縮装置等改修工事 ※R5から繰越	48,895,000	自R6.2.5 至R6.7.31	橋面補修工、橋面防水工、伸縮装置取替工 照明柱移設工、組立歩道補修工
工事請負費等計	57,294,600		

〈事業名〉　橋梁改修事業費負担金拠出事業
〈事業費〉　88,443,988 円
（負担金拠出実績）

取組名	工事費(円)	契約期間	概要
橋梁長寿命化対策事業 （浜崎陸橋） ※東武鉄道施工分 ※R7に繰越	－	自R6.9.5 至R8.3.31	東武東上線に架かる浜崎陸橋の改修工事について、東武鉄道㈱との間で協定を締結し、負担金として支出
橋梁長寿命化対策事業 （浜崎橋及び浜崎橋側道橋） ※JR施工分 ※令和3年度～令和6年度の継続事業	82,492,988	自R3.6.11 至R7.3.31	JR武蔵野線に架かる浜崎橋、浜崎橋側道橋の改修工事について、東日本旅客鉄道㈱との間で工事協定を締結し、負担金として支出
橋梁長寿命化対策事業 （北朝霞陸橋） ※東武鉄道受託分 ※R5から繰越	5,951,000	自R6.11.25 至R7.3.21	東武東上線に架かる北朝霞陸橋の改修工事における施工計画策定業務について東武鉄道㈱との間で協定を締結し、負担金として支出
負担金計	88,443,988		

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	33,592,000 円	0 円	105,200,000 円	0 円	6,946,588 円

〈所　　管〉　都市建設部　まちづくり推進課
〈予算区分〉　款）土木費　　項）都市計画費　　目）都市計画総務費

事務事業名	都市計画総務事務事業	予算現額	101,748,000 円
		決算額	99,903,489 円

〈事業を行った成果・効果〉
北朝霞・朝霞台駅は県内有数の乗換駅でありながら、滞在したくなる居心地が良い空間や商業施設が少ないことから、公共空間の利活用とウォーカブルを推進する必要があり、未来ビジョンの策定や北朝霞駅西口ロータリーを広場へ改修するための実証実験を行ったことで、広場の詳細設計や機運醸成を図ることができました。また、朝霞駅南口周辺地区交通安全対策基本構想策定に向けた協議会での議論を通じ、基本構想を取りまとめるとともに、面的な交通安全対策実施に向けた協力体制を構築することができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　北朝霞駅周辺公共空間利活用等支援業務
〈事業費〉　9,988,000 円
〈概　要〉　北朝霞駅西口広場の広場化に向けた実証実験（令和6年9月18日から9月29日）
広場化を想定したロータリーの通行止め、交通規制を実施し、荷捌きや送迎を含めた交通課題の検証を行った。
そのほか、エリアプラットフォームの運営、未来ビジョンの修正など実施した。

〈事業名〉　朝霞駅南口周辺地区交通安全対策基本構想策定業務
〈事業費〉　4,053,000 円
〈概　要〉　令和5年度～令和6年度の継続事業（9,053,000円）
令和5年度　交通安全対策協議会（1回）、ワークショップ（2回）
令和6年度　交通安全対策協議会（3回）、地元との意見交換（2回）、交差点ハンプ設置の社会実験（1か月）
基本構想取りまとめ

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	3,000,000 円	0 円	0 円	0 円	96,903,489 円

〈所　　管〉　都市建設部　まちづくり推進課
〈予算区分〉　款）土木費　　項）都市計画費　　目）都市計画総務費

事務事業名	都市計画マスタープラン策定事業	予算現額	9,570,000 円
		決算額	9,570,000 円

〈事業を行った成果・効果〉
令和8年度以降の新たな都市計画マスタープランを策定について、都市計画マスタープラン庁内検討委員会及び都市計画審議会を開催したことで、計画策定の方向性や市民参画の方法などについて、それぞれの委員と議論し、策定作業を進めることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　都市計画マスタープラン策定事業
〈事業費〉　9,570,000 円
〈概　要〉　令和5年～令和7年度の継続事業（21,505,000円）
公募型プロポーザルの実施（令和5年10月（参加事業者：2社））
都市計画マスタープラン策定支援委託（令和5年11月～令和8年3月）
令和5年度　都市の現状把握、市民意向の把握、事業等の進捗状況の把握　など
令和6年度　現行計画の評価、都市づくりの課題整理、将来都市像及び都市基盤の検討　市民ワークショップなど
令和7年度　地域別構想の検討、素案の作成、市民コメント　市民ワークショップなど

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	9,570,000 円

〈所　　管〉　都市建設部　まちづくり推進課
〈予算区分〉　款）土木費　　項）都市計画費　　目）土地区画整理費

事務事業名	あずま南地区土地区画整理推進事業	予算現額	750,000,000 円
		決算額	750,000,000 円

〈事業を行った成果・効果〉
朝霞市あずま南地区土地区画整理組合が施行する土地区画整理事業に対して補助金を交付したことで、土地区画整理事業による公共施設の整備・改善とともに良好な産業系市街地の創出を図ることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　あずま南地区土地区画整理事業補助金
〈事業費〉　750,000,000 円
〈概　要〉　【補助対象者】土地区画整理法に基づく土地区画整理事業を施行する者
【目　　的】健全な市街地の造成を図ることで、公共の福祉の増進に資する
【補助の範囲（一例）】幅員6メートルを超える道路築造に要する工事費
公園等の築造に要する費用
雨水対策用の調整施設の築造に要する工事費
上下水道（汚水、雨水又は上下水道）の築造に要する工事費
令和6年度の整備状況　令和5年度下水道築造等工事（令和5年度分）完了
令和5年度下水道築造等工事（令和6年度分）完了

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	562,500,000 円	0 円	187,500,000 円

〈所　　管〉　都市建設部　まちづくり推進課
〈予算区分〉　款）土木費　　項）都市計画費　　目）街路事業費

事務事業名	駅西口富士見通線整備事業	予算現額	20,000,000 円
		決算額	19,995,900 円

〈事業を行った成果・効果〉
官民連携で作成した朝霞駅周辺地区の未来ビジョンを実現するため、駅西口富士見通線のウォーカブル空間整備設計を行ったことで、居心地が良く歩きたくなるまちなかの実現に向けて事業を推進することができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　駅西口富士見通線他ウォーカブル空間整備事業
〈事業費〉　19,995,900 円
〈概　要〉　令和5年～令和6年度の継続事業（20,000,000円）
公募型プロポーザルの実施（令和5年10月（参加事業者：1社））
駅西口富士見通線他ウォーカブル空間整備設計業務委託（令和5年12月～令和7年3月）
令和5年度　整備方針の決定、基本設計　など
令和6年度　基本設計、実施設計、ワークショップ　など

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	8,500,000 円	0 円	10,200,000 円	0 円	1,295,900 円

〈所　　管〉　都市建設部　まちづくり推進課
〈予算区分〉　款）土木費　　項）都市計画費　　目）街路事業費

事務事業名	駅東通線整備事業	予算現額	257,095,000 円
		決算額	256,183,240 円

〈事業を行った成果・効果〉
今後取得予定の事業用地の不動産鑑定や補償積算委託を実施したことで、事業用地の取得に向けて前進することができました。また、先行取得した用地の除草委託を実施したことで、用地を適正に管理することができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　駅東通線整備事業
〈事業費〉　1,398,600 円
〈概　要〉　駅東通線事業用地所有者との用地交渉及び土地売買契約等の締結
事業用地の不動産鑑定、建物調査及び補償積算委託を実施
先行取得した用地の除草委託
【事業用地買収進捗率】92.9%(R7.3.31現在)

〈事業名〉　駅東通線整備事業(街路用地購入)
〈事業費〉　248,624,640 円
〈概　要〉　土地開発基金への繰戻し 1,210㎡

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	94,515,000 円	0 円	138,500,000 円	580,674 円	22,587,566 円

〈所　　管〉　都市建設部　まちづくり推進課
〈予算区分〉　款）土木費　　項）都市計画費　　目）街路事業費

事務事業名	岡通線整備事業	予算現額	49,240,000 円
		決算額	1,848,600 円

〈事業を行った成果・効果〉
今後取得予定の事業用地の不動産鑑定を実施したことで、事業用地の取得に向けて前進することができました。また、先行取得した用地の除草委託や歩道整備工事を実施したことで、用地を適正に管理することができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　岡通線整備事業
〈事業費〉　1,848,600 円
〈概　要〉　岡通線事業用地所有者との用地交渉
事業用地の不動産鑑定
先行取得した用地の除草委託及び歩道整備工事
埼玉県が施行する岡通線宮戸工区事業費の一部負担金
【事業用地買収進捗率】87.8%(R7.3.31現在)※借地含む

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	600,000 円	0 円	1,248,600 円

〈所　　管〉　上下水道部　下水道施設課
〈予算区分〉　款）土木費　　項）都市計画費　　目）下水路費

事務事業名	下水道事業会計負担事業	予算現額	417,181,000 円
		決算額	417,181,000 円

〈事業を行った成果・効果〉
内間木地域の浸水被害の軽減方策に必要となる測量調査を実施し、当地域の地勢を把握できました。
※下水道事業会計負担事業を基に下水道事業会計において実施する内間木地区浸水被害軽減対策検討事業は、令和7年度までの継続事業で内間木地域の浸水被害の軽減対策を検討する業務です。令和7年度の成果となる浸水軽減対策の策定に向けて、令和6年度に実施した「水路等の測量結果」が成果となります。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　内間木地区浸水被害軽減対策検討事業
〈事業費〉　0 円
〈概　要〉　令和6年度の主な成果は令和7年度のシミュレーション解析検討に必要な既存の道路や水路の高さと勾配を調査した結果となります。この成果を得るために水準測量や路線測量の測量調査を実施しました。

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	417,181,000 円

〈所　　管〉　都市建設部　みどり公園課
〈予算区分〉　款）土木費　　項）都市計画費　　目）公園費

事務事業名	公園管理事業	予算現額	250,324,000 円
		決算額	245,377,715 円

〈事業を行った成果・効果〉
市内8公園において移動式プレーパークを開催したことで、子どもたちが自由に遊べる環境をつくることができたほか、公園内の樹木定期点検や枯損木の伐採業務を実施し、公園利用者や近隣住民等への人的・物的被害を未然に防ぎ、安全を確保することができました。
〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　移動式プレーパーク事業
〈事業費〉　1,686,300 円
〈概　要〉　・朝霞市内の各地域で外遊びの機会を創出し広げていく移動式プレーパークの活動を通じて、子どもたちがのびのびと自由に遊べる環境づくりを行い、子どもの豊かな成長を支えることにより、子どもを中心とした地域社会の活性化に寄与することを目的として、移動式プレーパーク委託業務を実施
・開催回数：30回　　・開催場所：10公園

開催場所	回数	参加者数	開催場所	回数	参加者数
北割公園	5回	415人	泉水公園	3回	123人
根岸台自然公園	2回	97人	宮台公園	1回	90人
宮戸ハケタ公園	6回	179人	島の上公園	3回	145人
弁財公園	3回	267人	北朝霞公園	4回	165人
城山公園	2回	84人	向原公園	1回	88人

〈事業名〉　樹木定期点検業務委託
〈事業費〉　4,284,500 円
〈概　要〉　倒木等により、利用者や近隣住民等への人的・物的被害を未然に防止するため、樹勢不良による樹木の樹幹の揺らぎや亀裂状況等を「朝霞市公園・緑地等の樹木点検等に関する事務処理基準」に基づき、年1回点検する。
・都市公園13か所、緑地8か所、児童遊園地1か所　　計22か所

〈事業名〉　城山公園枯損木伐採等業務委託
〈事業費〉　31,350,000 円
〈概　要〉　樹木定期点検を実施したところ、城山公園において多くの樹木の枯損が進んでいたことが判明し、利用者や近隣住民等への人的・物的被害を未然に防ぐために枯損木の伐採作業を実施した。
・対象樹木 42本

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	1,581,945 円	0 円	0 円	243,795,770 円

〈所　　管〉　都市建設部　みどり公園課
〈予算区分〉　款）土木費　　項）都市計画費　　目）公園費

事務事業名	公園施設改修事業	予算現額	204,068,000 円
		決算額	203,690,775 円

〈事業を行った成果・効果〉
公園施設長寿命化計画に基づき、経年劣化した遊具を改修したことで、来園者が安全に安心して施設を利用できるようになりました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　公園施設長寿命化計画策定
〈事業費〉　18,227,000 円
〈概　要〉　平成26年度に策定した公園施設長寿命化計画に基づき、都市公園（対象：39公園）における公園施設について、安全性確保の観点から、計画的な改修等を実施。計画策定から10年が経過し、令和6年度にて計画期間が終了となることから、令和7年度から令和16年度までの新たな計画策定を行ったもの。

〈事業名〉　開設公園改修工事（滝の根公園）
〈事業費〉　31,020,000 円
〈概　要〉　・滝の根公園における木製アスレチック遊具の老朽化が激しいことから更新工事を実施
・斜面上部から下部までの連続したアスレチック遊具の上部のみ改修（ターザンロープ他）

〈事業名〉　開設公園改修工事（城山公園）
〈事業費〉　1,485,946 円
〈概　要〉　・城山公園における園路や柵の破損や老朽化が激しいことから改修工事を実施

〈事業名〉　まぼりひがし公園整備
〈事業費〉　148,564,275 円
〈概　要〉　・障がいを持った子どもたちも安心して遊べるインクルーシブ遊具やネットに囲われたボール遊びコートを整備
・ワークショップを行い、近隣住民等の方々を伺いながら公園の管理方法や公園サポーターの役割、公園利用に関するルールを作成

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	74,282,000 円	0 円	89,300,000 円	4,409,443 円	35,699,332 円

〈所　　管〉　都市建設部　みどり公園課
〈予算区分〉　款）土木費　　項）都市計画費　　目）公園費

事務事業名	シンボルロード管理事業	予算現額	33,345,000 円
		決算額	33,145,724 円

〈事業を行った成果・効果〉
シンボルロード内の樹木剪定や除草、清掃などの維持管理を行うことで、利用者に安全で快適な環境を提供することができました。また、イルミネーションにより光の演出を行うことで魅力ある空間づくりを行うことができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　シンボルロード管理事業
〈事業費〉　33,145,724 円
〈概　要〉　・シンボルロード日常清掃（広場清掃・園路清掃・落葉清掃・樹林地清掃）
・シンボルロード管理（樹木管理・芝管理・植栽管理等）
・イルミネーション（あさか冬のあかりテラス2024実施業務委託）の実施
開催日程　令和6年11月30日～令和7年1月26日

〈あさか冬のあかりテラス2024〉

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	33,145,724 円

〈所　　管〉　都市建設部　みどり公園課
〈予算区分〉　款）土木費　　項）都市計画費　　目）公園費

事務事業名	(仮称)宮戸二丁目公園整備事業	予算現額	211,042,000 円
		決算額	3,234,000 円

〈事業を行った成果・効果〉
身近な公園が不足する地域の解消や市民の憩いの場の創出を図るため、ワークショップや小学校アンケート等によるご意見やご要望を設計に反映し、住民参加による整備工事を行うことができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　(仮称)宮戸二丁目公園整備事業
〈事業費〉　3,234,000 円
〈概　要〉　・障がいを持った子どもたちも安心して遊べるインクルーシブ遊具やネットに囲われたボール遊びコートを整備
・ワークショップを行い、近隣住民等の方々を伺いながら公園の管理方法や公園サポーターの役割、公園利用に関するルールを作成

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	3,234,000 円

〈所　　管〉　都市建設部　みどり公園課
〈予算区分〉　款）土木費　　項）都市計画費　　目）緑化推進費

事務事業名	緑化推進事業	予算現額	41,917,000 円
		決算額	39,859,588 円

〈事業を行った成果・効果〉
令和6年度から令和7年度までの継続事業として「みどりの基本計画」の改定作業を行い、朝霞市内全域における「みどり」の将来あるべき姿と、それを実現するための目標を定めることで、朝霞市内の「みどり」の保全、創出に計画的に取り組むことができました。(令和7年度は計画改定作業を引き続き継続中)

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　みどりの基本計画策定(令和6～7年度 継続事業)
〈事業費〉　9,464,600 円
〈概　要〉　○計画策定準備、関連する計画や他部局の施策等の整理、自然的条件調査、社会的条件調査
会議運営支援、打ち合わせ・協議、直接経費、諸経費(その他原価、一般管理費等)委託費　8,767,000円
○委員報酬等
緑化推進会議　委員報酬　16人×8,000円×4回＝512,000円
費用弁償　16人×2,400円×4回＝153,600円
生物多様性市民懇談会　謝金　8, 000円×4回＝32, 000円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	2,995,000 円	0 円	2,700,000 円	0 円	34,164,588 円

〈所　　管〉　都市建設部　まちづくり推進課
〈予算区分〉　款）土木費　　項）交通安全対策費　　目）交通対策費

事務事業名	交通施策推進事業	予算現額	15,679,000 円
		決算額	15,500,851 円

〈事業を行った成果・効果〉
地域特性に応じた効果的・効率的な地域公共交通の実現を目指し、「地域公共交通計画」に基づき、公共交通空白地区の改善に向けて地域組織と連携した実証運行の実施等、各種施策を推進することができました。また、第2次地域公共交通計画策定に向け、市内循環バス利用者アンケートなどの基礎調査を実施することができました。加えて、運転免許を自主返納した人の外出支援として市内循環バスの回数券及びタクシー利用券の交付を行ったことで運転免許自主返納制度の啓発を図ることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　地域公共交通協議会事業　　〈事業費〉　582,440 円
〈概　要〉　協議会開催回数　5回（書面開催1回）　地域公共交通計画に定めた各種施策を推進
実証運行概要
期間／令和6年12月2日～令和7年11月29日
運行区間／①根岸台7丁目周辺～朝霞駅東口　②膝折町4丁目周辺～北朝霞駅
運行日／それぞれ週3日　①火・木・土　②　月・水・金　運行時間／午前8時30分～午後7時
運賃／大人200円、小児100円　車両／ハイエース　※助手席含め最大9人乗車可

〈事業名〉　第2次地域公共交通計画策定事業　　〈事業費〉　5,819,000 円
〈概　要〉　令和6年度～令和7年度の継続事業（10,439,000円）
令和6年度　市内循環バス利用者アンケート、市民アンケート及び交通事業者ヒアリングの実施、施策の評価など
令和7年度　計画目標及び施策の更新、素案の作成、市民コメントの実施など

〈事業名〉　運転免許自主返納啓発推進事業　　〈事業費〉　3,791,451 円
〈概　要〉　申請者数　479人（令和6年4月1日から令和7年3月31日現在）
助成内容　市内循環バス回数券（18,000円相当）、タクシー利用券（10,000円相当）のいずれかを選択のうえ交付
助成状況　市内循環バス回数券　126人　　タクシー利用券　353人

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	2,588,000 円	0 円	0 円	0 円	12,912,851 円

〈所　　管〉　都市建設部　まちづくり推進課
〈予算区分〉　款）土木費　　項）交通安全対策費　　目）交通対策費

事務事業名	市内循環バス運営事業	予算現額	78,435,000 円
		決算額	74,398,700 円

〈事業を行った成果・効果〉
市内循環バスを運行したことで、路線バスが運行されていない地域に居住している人や通勤・通学者の交通手段の確保及び公共施設を利用する人の利便性の向上を図ることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　市内循環バス運営事業
〈事業費〉　74,398,700 円
〈概　要〉　運行日数　359日
利用者数　374,299人（1日平均1,042人）※令和6年度実績
（バス会社別）
西武バス（膝折・溝沼線）168,681人
東武バスウエスト（根岸台線、宮戸線）186,010人
昭和交通（内間木線）19,608人
市内循環バス運行事業に伴う補償料　72,586,120円　※前年度（令和5年度）運行実績に対する補償料
（バス会社別）
西武バス（膝折・溝沼線）20,643,405円
東武バスウエスト（根岸台線、宮戸線）28,700,834円
国際興業（内間木線）23,241,881円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	74,398,700 円

〈所　　管〉　都市建設部　まちづくり推進課
〈予算区分〉　款）土木費　　項）交通安全対策費　　目）交通安全推進費

事務事業名	交通安全施設事業	予算現額	24,049,000 円
		決算額	21,867,492 円

〈事業を行った成果・効果〉
道路区画線及び道路反射鏡等を設置したほか、道路反射鏡並びに歩道橋の修繕や清掃を実施したことで、交通事故防止を図ることができました。また、横断歩道橋長寿命化計画に基づき、歩道橋2橋の補修工事の設計を実施することができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　交通安全施設事業
〈事業費〉　21,847,166 円
〈概　要〉　道路区画線(外側線・文字表示等)　延長 5466.5m
道路区画線(カラー表示)　面積　88.6㎡
自転車通行領域(矢羽根型表示)設置　延長820.0m
道路反射鏡 9基
歩道橋補修設計　2橋(第五小学校前歩道橋、花の木交差点歩道橋)

〈自転車通行領域(矢羽根型表示)設置〉

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	3,359,000 円	0 円	6,200,000 円	0 円	12,308,492 円

〈所　　管〉　都市建設部　まちづくり推進課
〈予算区分〉　款）土木費　　項）交通安全対策費　　目）交通安全推進費

事務事業名	自転車駐車場改修事業	予算現額	2,347,000 円
		決算額	2,334,200 円

〈事業を行った成果・効果〉
改修工事実施により、大型自転車の収容台数の増加、原動機付自転車の駐車対象車種の拡大など、利用者の利便性向上を図ることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　朝霞駅東口大型自転車臨時駐車場改修工事
〈事業費〉　1,100,000 円
〈概　要〉　大型自転車駐車場の収容台数を拡大するためにラック設置などの整備工事を実施
71台から107台へ増設

〈事業名〉　朝霞駅南口原動機付自転車臨時駐車場改修工事
〈事業費〉　1,234,200 円
〈概　要〉　原動機付自転車駐車場の駐車可能車種を拡大するためのラック改修を実施
原付1種(50cc以下)から原付2種(125cc以下)まで拡大

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	2,334,200 円

第9款 消防費

〈所　　管〉　危機管理室
〈予算区分〉　款）消防費　　項）消防費　　目）非常備消防費

事務事業名	消防団運営事業	予算現額	50,623,000 円
		決算額	48,381,278 円

〈事業を行った成果・効果〉
消防団員の団員報酬の支払いや、防火衣等の購入を実施したことで、消防団の円滑な運営を行うことができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　消防団防火衣更新事業
〈事業費〉　18,519,600 円
〈概　要〉　消防団が消火活動で使用する防火衣を更新

防火衣

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	3,336,000 円	45,045,278 円

〈所　　管〉　危機管理室
〈予算区分〉　款）消防費　　項）消防費　　目）消防施設費

事務事業名	消防団施設等整備事業	予算現額	12,920,000 円
		決算額	12,634,963 円

〈事業を行った成果・効果〉
消防団詰所等を適切に維持管理することで、消防団の円滑な消火活動を行うことができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　消防団第六分団詰所解体工事
〈事業費〉　11,088,000 円
〈概　要〉　消防団第六分団詰所の解体工事
受注者　㈱林土木関東支店
金額　11,088,000円
契約期間　R6.6.27～R7.2.28

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	9,900,000 円	12,000 円	2,722,963 円

第10款 教育費

〈所　　管〉　学校教育部　教育総務課
〈予算区分〉　款）教育費　　項）教育総務費　　目）事務局費

事務事業名	学校施設長寿命化計画策定事業	予算現額	6,325,000 円
		決算額	6,325,000 円

〈事業を行った成果・効果〉
令和元年度に策定した「学校施設長寿命化基本方針」の第1期の計画期間が令和7年度までとなっていることから、第2期（令和8年度から令和17年度の10年間）の計画改訂作業に着手し、学校施設の現状を調査することができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　学校施設長寿命化計画策定
〈事業費〉　6,325,000 円
〈概　要〉　令和6年度
・学校施設長寿命化計画策定支援業務委託（R6・R7継続費）（受託者：ランドブレイン株式会社埼玉事務所）
・対象建物の整理　学校施設の実態把握
・学校施設整備等庁内検討委員会の開催（1回）

令和7年度（今後の予定）
・長寿命化計画の実施計画の検討
・長寿命化計画の継続的運用方針の検討
・学校施設整備等庁内検討委員会の開催（4回程度予定）
・長寿命化計画の策定

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	6,325,000 円

〈所　　管〉　学校教育部　教育指導課
〈予算区分〉　款）教育費　　項）教育総務費　　目）教育指導費

事務事業名	特色ある学校づくり支援事業	予算現額	91,696,000 円
		決算額	89,057,394 円

〈事業を行った成果・効果〉
児童生徒の学習指導や生徒指導等の支援及び特色ある学校づくりを支援するために、地域人材を有効に活用したことで、きめ細やかな支援を図ることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　あさか・スクールサポーター配置事業
〈事業費〉　27,735,783 円
〈概　要〉　児童生徒に対するきめ細かな教育指導の充実を図るために担任の補助として教科指導に従事
実施期間　令和6年4月1日～令和7年3月31日　　配置者数　小・中学校に17人配置

〈事業名〉　小学校低学年補助教員配置事業
〈事業費〉　45,541,122 円
〈概　要〉　低学年児童の学校生活へのスムーズな移行を支援し、学習の基礎・基本や規律ある態度を育成するために、学級担任を補助
実施期間　令和6年4月1日～令和7年3月31日　　配置者数　小学校10校に27人配置

〈事業名〉　小中学校の部活動等における地域人材活用支援事業
〈事業費〉　3,508,000 円
〈概　要〉　中学校及び一部小学校における部活動等を支援する地域人材の支援員を活用することで、部活動への支援の充実と持続可能な部活動等の実現を図る
実施期間　令和6年4月1日～令和7年3月31日　　実施回数　中学校 1,227回　小学校 527回　合計 1,754回

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	241,000 円	0 円	0 円	0 円	88,816,394 円

〈所　　管〉　学校教育部　教育指導課
〈予算区分〉　款）教育費　　項）教育総務費　　目）教育指導費

事務事業名	教育相談事業	予算現額	47,286,000 円
		決算額	42,689,168 円

〈事業を行った成果・効果〉
いじめ・不登校等、児童生徒の諸問題に対応するため、各中学校にさわやか相談員及びサポート相談員を配置し、学校・家庭・地域社会との連携や相談活動の充実を図ることができました。さらに、教職員等による児童生徒に対する性暴力等の防止等に関する指針検討会議の設置や犯罪被害者への支援補助金を創設しました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　さわやか相談員配置事業
〈事業費〉　12,609,294 円
〈概　要〉　いじめ・不登校への対応に関すること、児童生徒への相談・援助に関すること、教職員に関すること、学校・家庭・地域社会との連携に関すること
・配置者数　中学校5校に1人ずつ配置　　・勤務時間　1日6時間　年間210日
〈事業名〉　サポート相談員配置事業
〈事業費〉　13,501,595 円
〈概　要〉　児童生徒とのふれあいや活動を通しての相談・援助、地域の巡回、情報収集等に関すること、学校、家庭、地域社会との連携に関すること
・配置者数　中学校5校に11人配置　　・勤務時間　1日4時間　年間203日
〈事業名〉　教職員等による児童生徒に対する性暴力等の防止等事業
〈事業費〉　24,000 円
〈概　要〉　教育委員会に「教職員等による児童生徒性暴力等に関する基本的な指針検討会議」を設置
・教職員等による性暴力等を防止するための実行性のある取組を実施するための指針の策定を図る。
教職員による犯罪被害者への支援ための補助金の創設
・令和5年に逮捕された本市教職員による犯罪被害生徒に対してカウンセリング等による治療費や学習再開に係る費用の一部を負担し、家庭を支援していく。

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	4,277,000 円	0 円	0 円	38,412,168 円

〈所　　管〉　学校教育部　教育指導課
〈予算区分〉　款）教育費　　項）教育総務費　　目）教育指導費

事務事業名	日本語指導充実事業	予算現額	1,791,000 円
		決算額	1,670,098 円

〈事業を行った成果・効果〉
帰国・外国人の児童生徒が日本語を十分に理解し、支障なく日常生活を送ることができるよう、各学校からの要請に応じて支援員を配置したことで、日本語の指導支援を図ることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　日本語指導充実事業
〈事業費〉　1,670,098 円
〈概　要〉　活動期間　学校長の計画のもとに、教育委員会が決定
活動時間　5 人の支援員が 32 人の児童生徒に対して1日 2 時間程度、年間 654 回の支援を実施
活動内容　児童生徒への日本語指導、学習指導等の通訳児童生徒の在籍する学級担任及び保護者に対する指導・助言

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	1,670,098 円

〈所　　管〉　学校教育部　教育指導課
〈予算区分〉　款）教育費　　項）教育総務費　　目）教育指導費

事務事業名	国際理解教育事業	予算現額	74,933,000 円
		決算額	74,582,126 円

〈事業を行った成果・効果〉
国際化進展に伴う本市の英語及び国際理解教育充実のために、英語指導助手を市内の小・中学校に派遣し、英語活動を通して英語に親しませることで、児童の国際感覚及び生徒の実践的なコミュニケーション能力の育成を図ることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　英語指導助手派遣事業
〈事業費〉　74,566,838 円
〈概　要〉　配置者数　小学校 10校の外国語・外国語活動の授業を 7人の小学校専任英語指導助手が支援
中学校5校の英語の授業を5人の中学校英語指導助手が支援
活動内容　小学校外国語活動及び国際理解教育活動における指導支援、中学校英語の授業における担当教員とのティーム・ティーチング

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	74,582,126 円

〈所　　管〉　学校教育部　教育指導課
〈予算区分〉　款）教育費　　項）教育総務費　　目）教育指導費

事務事業名	特別支援教育事業	予算現額	16,586,000 円
		決算額	15,663,607 円

〈事業を行った成果・効果〉
各小・中学校において、支援員を配置したことで、通常学級における特別な配慮が必要な児童生徒の学校生活について支援を図ることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　通常学級における特別な配慮を要する児童生徒支援員活用事業
〈事業費〉　13,325,604 円
〈概　要〉　実施校　小学校 10 校、中学校 2 校 計 12 校で 33 人の支援員を配置
実施回数　小学校 3,524 回、中学校 113 回、 計 3,637 回
活動内容　通常学級における特別な配慮を必要とする児童生徒の介助及び支援

〈事業名〉　医療的ケア児に係る看護師配置事業
〈事業費〉　2,074,803 円
〈概　要〉　市内小学校に在籍する医療的ケア児に対して必要な医療行為を行うため、労働者派遣委託契約に基づき契約した看護師を配置
実施期間　令和6年4月11日～令和7年3月21日
実施回数　178回

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	691,000 円	0 円	0 円	0 円	14,972,607 円

〈所　　管〉　学校教育部　教育管理課
〈予算区分〉　款）教育費　　項）教育総務費　　目）教育管理費

事務事業名	教職員配置事業	予算現額	26,154,000 円
		決算額	21,175,446 円

〈事業を行った成果・効果〉
教員の校務を補助する校務支援員（学校業務アシスタント）を各学校に1人配置したことで、教員が、授業準備や児童生徒とかかわる時間を確保できました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　学校業務アシスタント配置事業
〈事業費〉　19,096,922 円
〈概　要〉　小学校及び中学校の全校に1人配置し、教員の校務の補助及び職員室事務の補助などを行う。

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	9,451,000 円	0 円	0 円	11,724,446 円

〈所　　管〉　学校教育部　教育管理課
〈予算区分〉　款）教育費　　項）教育総務費　　目）教育管理費

事務事業名	入学準備金・奨学金貸付事業	予算現額	20,886,000 円
		決算額	16,428,878 円

〈事業を行った成果・効果〉
入学準備金貸付事業では、小学校から大学までの資金調達が困難な世帯に対し、貸付けを行い、奨学金貸付事業では、高校・大学に在学し、経済的な理由で就学が困難な世帯に対し、貸付けを行ったことで、教育の機会均等の充実を図ることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　入学準備金貸付事業
〈事業費〉　8,619,000 円
〈概　要〉　令和6年度実績
大学　9件　6,149,000円、私立高校　4件　1,600,000円、小中学校　10件　870,000円

〈事業名〉　奨学金貸付事業
〈事業費〉　7,800,000 円
〈概　要〉　令和6年度実績
貸付継続者分　大学　22件　5,280,000円、高校　8件　960,000円　計6,240,000円
新規貸付分　大学　6件　1,440,000円、高校　1件　120,000円　計1,560,000円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	16,428,878 円

〈所　　管〉　学校教育部　教育管理課
〈予算区分〉　款）教育費　　項）教育総務費　　目）教育管理費

事務事業名	学校運営協議会事業	予算現額	4,542,000 円
		決算額	2,768,739 円

〈事業を行った成果・効果〉
小・中学校に学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールを開始したことで、学校と地域の連携を深めることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　学校運営協議会事業
〈事業費〉　2,768,739 円
〈概　要〉　設置校　市内小・中学校全15校（令和6年度新規設置校　朝霞第四中学校）

委員構成　地域住民、保護者、学校活動協力者、学識経験者、学校長

開催回数

第一小学校　5回	第六小学校　5回	第一中学校　4回	
第二小学校　4回	第七小学校　6回	第二中学校　4回	
第三小学校　5回	第八小学校　5回	第三中学校　5回	
第四小学校　4回	第九小学校　5回	第四中学校　5回	
第五小学校　4回	第十小学校　4回	第五中学校　5回	計70回

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	2,768,739 円

〈所　　管〉　学校教育部　教育総務課
〈予算区分〉　款）教育費　　項）小・中学校費　　目）学校管理費

事務事業名	小・中学校運営事業	予算現額	206,570,000 円
		決算額	195,746,005 円

〈事業を行った成果・効果〉
市内小・中学校で必要な児童・生徒用学習用タブレットの修繕をすることで、GIGAスクール構想を推進することができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　GIGAスクール構想推進事業（学習用タブレット修繕）
〈事業費〉　14,902,748 円
〈概　要〉　GIGAスクール構想に基づいて整備された児童生徒用タブレット端末（iPad）の修繕
・小学校145台
・中学校92台

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	195,746,005 円

〈所　　管〉　学校教育部　教育総務課
〈予算区分〉　款）教育費　　項）小学校費　　目）学校管理費

事務事業名	小学校施設管理事業	予算現額	265,823,000 円
		決算額	247,650,770 円

〈事業を行った成果・効果〉
学校施設の維持管理に必要な保守点検等を行ったことで、児童が安全・安心で快適な教育環境において学校生活を送ることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　第六小学校校舎増築工事に伴う給食配膳補助員派遣
〈事業費〉　3,017,895 円
〈概　要〉　第六小学校の給食配膳用エレベータの改修に伴い、改修期間に給食を配膳するための人員を派遣業務により確保する。
・派遣時間　給食実施日の10時から14時まで（4時間）
・派遣人数　1日当たり12人
・派遣日数　19日（令和6年8月30日から令和6年9月27日の給食提供日）

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	247,650,770 円

〈所　　管〉　学校教育部　教育総務課
〈予算区分〉　款）教育費　　項）小・中学校費　　目）学校管理費

事務事業名	小・中学校コンピュータ整備事業	予算現額	166,775,000 円
		決算額	159,467,059 円

〈事業を行った成果・効果〉
事業実施前は、教職員の校務負担が多く、紙で連絡を行っていたという課題がありましたが、統合型校務支援システムを導入したことにより、教育委員会と小・中学校で、情報伝達や共有が可能となり、児童生徒の学籍や出欠席、成績の情報が一元管理され、作業の効率化やミスの防止につながりました。また、紙で行っていた連絡等をシステムに配布できるようになり、印刷や配布の作業減少の効果があり、児童生徒と向き合う時間を確保することができるようになりました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　統合型校務支援システム及びオンラインAIドリル導入
〈事業費〉　98,506,221 円
〈概　要〉　令和6年4月よりオンラインAIドリルを導入し、9月より統合型校務支援システムを導入

〈事業名〉　小・中学校校務用情報通信機器等（センターサーバ）リプレイス
〈事業費〉　98,506,221 円
〈概　要〉　小・中学校の情報通信機器等（センターサーバ）をリプレイスすることにより、フルクラウド及びゼロトラストを実現し、職員室の無線LAN化やテレワーク環境を整備することで、災害時に業務継続可能なネットワーク環境となる。

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	19,040,565 円	0 円	0 円	0 円	140,426,494 円

〈所　　管〉　学校教育部　教育総務課
〈予算区分〉　款）教育費　　項）小学校費　　目）学校管理費

事務事業名	小学校施設改修事業	予算現額	196,685,000 円
		決算額	165,421,949 円

〈事業を行った成果・効果〉
学校施設の改修を行ったことで、児童が安全・安心で快適な教育環境において学校生活を送ることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　施設改修工事（校舎・体育施設・屋外環境）
〈事業費〉　88,097,130 円
〈概　要〉　校舎改修工事　58件（第三小学校教室断熱材設置工事　等）
体育施設整備工事　20件（第二小学校プールシート改修工事　等）
屋外環境整備工事　34件（第二小学校屋外トイレ改修工事　等）
合計　112件（第十小学校大規模改修工事除く）

〈事業名〉　第十小学校校舎大規模改修工事（令和6年度～令和8年度継続事業）
〈事業費〉　73,530,000 円　（令和6年度は前払金のみ支出）
〈概　要〉　改修範囲　校舎棟及びプール棟
改修内容　校舎棟：外壁のクラックや破損部分の補修、屋上防水改修等
プール棟：防水改修、手すり改修等

〈事業名〉　第十小学校大規模改修工事に伴う屋根貸し事業者への補償
〈事業費〉　3,182,762 円
〈概　要〉　第十小学校校舎屋上に設置されている屋根貸し事業者の太陽光パネル等が大規模改修工事の実施に当たり工事の支障となるため、一時撤去の際に必要となる費用の一部を補償する。

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	20,200,000 円	0 円	63,400,000 円	7,830,000 円	73,991,949 円

〈所　　管〉　学校教育部　教育総務課
〈予算区分〉　款）教育費　　項）小学校費　　目）学校管理費

事務事業名	小学校少人数学級整備事業	予算現額	83,351,000 円
		決算額	82,820,288 円

〈事業を行った成果・効果〉
小学校の学級編成の標準の引下げ（40人（第1学年及び第2学年は35人）から35人）に伴い、令和7年度に不足する教室の整備工事（校内の教室転用）等を行い、きめ細やかな指導を可能とする教育環境を提供することができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　普通教室への転用整備工事
〈事業費〉　3,272,940 円
〈概　要〉　普通教室の整備工事実施校
・第三小学校　1教室（算数ルーム）
・第四小学校　1教室（会議室）

〈事業名〉　校舎増築に係る環境整備工事
〈事業費〉　21,673,763 円
〈概　要〉　実施校
・第六小学校　防犯カメラ設置工事、機械警備設置工事、消防設備配線改修工事　等
・第九小学校　防犯カメラ設置工事、機械警備設置工事、グラウンド整地工事　等

〈事業名〉　備品の購入
〈事業費〉　57,873,585 円
〈概　要〉　普通教室の備品整備
・教師用机、事務椅子、教卓、大型ディスプレイ、AppleTVなど

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	82,820,288 円

〈所　　管〉　学校教育部　教育総務課
〈予算区分〉　款）教育費　　項）小・中学校費　　目）教育振興費

事務事業名	小・中学校教育振興事業	予算現額	49,580,000 円
		決算額	44,449,005 円

〈事業を行った成果・効果〉
小学校5年生及び中学校2年生を対象とした林間学校におけるバス借上料の全額を市が負担したことで、保護者の負担軽減を図ることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　校外学習費用補助事業
〈事業費〉　24,082,540 円
〈概　要〉　保護者負担の軽減を図るため、林間学校全行程のバス運行の業務委託
・小学校10校　バス37台
行き先　群馬県前橋市方面（第二小学校、第九小学校、第十小学校）
飯能市方面（第一小学校、第四小学校、第五小学校、第六小学校、第七小学校）
小川町方面（第八小学校）
秩父市方面（第三小学校）

・中学校5校　バス31台
行き先　長野県上田市方面（第一中学校、第二中学校、第三中学校）
長野県山ノ内町方面（第四中学校）
新潟県南魚沼市方面（第五中学校）

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	44,449,005 円

〈所　　管〉　学校教育部　教育総務課
〈予算区分〉　款）教育費　　項）小・中学校費　　目）教育振興費

事務事業名	小・中学校教材教具整備事業	予算現額	67,148,000 円
		決算額	63,008,546 円

〈事業を行った成果・効果〉
小・中学校副読本などを無料配布したことで、効率的で充実した授業を実施することができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　小・中学校副読本等無料配布事業
〈事業費〉　6,129,652 円
〈概　要〉　副読本の購入
・小学校　3年生社会科副読本「あさか」、白地図、色地図
4年生社会科副読本「あさか」、白地図
・中学校　1年生体育補助教材

〈事業名〉　小・中学校教職員用教材購入事業
〈事業費〉　36,848,911 円
〈概　要〉　教師用教科書、指導書、教材の購入
・小学校　教科書改訂に伴う教師用教科書、指導書
・中学校　教科の教師用教科書、指導書

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	63,008,546 円

〈所　　管〉　学校教育部　教育総務課
〈予算区分〉　款）教育費　　項）小学校費　　目）学校建設費

事務事業名	第六小学校校舎増築事業	予算現額	1,253,770,000 円
		決算額	1,069,686,000 円

〈事業を行った成果・効果〉
小学校の学級編成の標準の引下げ（40人（第1学年及び第2学年は35人）から35人）に伴い、第六小学校において必要となる教室整備に係る増築工事が完了したことで、きめ細やかな指導を可能とする教育環境を提供することができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　第六小学校校舎増築工事
〈事業費〉　1,017,480,000 円
〈概　要〉　整備規模　教室数　普通教室　8教室、多目的室　1室
延べ床面積　約2,002㎡
構造等　鉄筋コンクリート造　4階建て
工事期間　令和5年7月4日～令和7年2月28日（令和5年度～令和6年度継続事業）

〈事業名〉　第六小学校校舎増築に係る太陽光発電設備設置工事
〈事業費〉　26,290,000 円
〈概　要〉　発電能力　約20kw
工事期間　令和6年5月15日～令和7年3月21日

増築校舎全景

太陽光発電設備

〈事業名〉　第六小学校校舎増築工事監理業務委託
〈事業費〉　25,916,000 円
〈概　要〉　校舎増築工事及び太陽光発電設備設置工事の工事監理業務
履行期間　令和5年7月4日～令和7年3月21日（令和5年度～令和6年度継続事業）

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	232,417,000 円	0 円	620,800,000 円	0 円	216,469,000 円

〈所　　管〉　学校教育部　教育総務課
〈予算区分〉　款）教育費　　項）小学校費　　目）学校建設費

事務事業名	第九小学校校舎増築事業	予算現額	905,550,000 円
		決算額	789,582,000 円

〈事業を行った成果・効果〉
小学校の学級編成の標準の引下げ（40人（第1学年及び第2学年は35人）から35人）に伴い、第九小学校において必要となる教室整備に係る増築工事が完了したことで、きめ細やかな指導を可能とする教育環境を提供することができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　第九小学校校舎増築工事
〈事業費〉　748,717,000 円
〈概　要〉　整備規模　教室数　普通教室　6教室、多目的室　1室
延べ床面積　約1,168㎡
構造等　増築校舎棟　エレベータ棟
工事期間　令和5年9月28日～令和7年2月28日（令和5年度～令和6年度継続事業）

〈事業名〉　第九小学校校舎増築に係る太陽光発電設備設置工事
〈事業費〉　19,470,000 円
〈概　要〉　発電能力　約17kw
工事期間　令和6年5月15日～令和7年3月21日

増築校舎全景

太陽光発電設備

〈事業名〉　第九小学校校舎増築工事監理業務委託
〈事業費〉　21,395,000 円
〈概　要〉　校舎増築工事及び太陽光発電設備設置工事の工事監理業務
履行期間　令和5年9月28日～令和7年3月21日（令和5年度～令和6年度継続事業）

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	132,861,000 円	0 円	495,500,000 円	0 円	161,221,000 円

〈所　　管〉　学校教育部　教育総務課
〈予算区分〉　款）教育費　　項）小・中学校費　　目）特別支援学級費

事務事業名	小・中学校特別支援学級事業	予算現額	50,213,000 円
		決算額	46,618,193 円

〈事業を行った成果・効果〉
特別に支援を必要とする児童・生徒のために、特別支援学級を開設したことで、学校生活の支援と充実した授業を実施することができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　小・中学校特別支援学級事業
〈事業費〉　43,129,769 円
〈概　要〉　特別支援学級運営及び担任を補助するために、会計年度任用職員を配置（小学校31人、中学校11人）
令和6年4月より、第三中学校に難聴学級を、第四中学校に自閉症・情緒障害学級を設置しました。

・小学校配置内訳

小学校	配置人数
第一小学校	3人
第二小学校	3人
第三小学校	3人
第四小学校	3人
第五小学校	3人
第六小学校	3人
第七小学校	3人
第八小学校	3人
第九小学校	3人
第十小学校	4人

・中学校配置内訳

中学校	配置人数
第一中学校	3人
第二中学校	3人
第三中学校	3人
第四中学校	1人
第五中学校	1人

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	46,618,193 円

〈所　　管〉　学校教育部　教育管理課
〈予算区分〉　款）教育費　　項）小・中学校費　　目）教育扶助費

事務事業名	小・中学校教育扶助事業	予算現額	105,813,000 円
		決算額	97,243,991 円

〈事業を行った成果・効果〉
経済的理由によって就学困難と認められる学齢児童生徒の保護者に対し、就学に必要な費用を支給したことで、就学の支援をすることができ、教育機会の均等に寄与できました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　小学校教育扶助事業
〈事業費〉　49,606,973 円
〈概　要〉　小学校就学援助認定者数　659人（うち入学前支給者　80人）
・諸扶助　49,606,973 円

〈事業名〉　中学校教育扶助事業
〈事業費〉　47,637,018 円
〈概　要〉　中学校就学援助認定者数　352人（うち入学前支給者数　92人）
・諸扶助　47,637,018 円

援助費目（小・中共通）　新入学児童生徒学用品費、学用品・通学用品費、オンライン学習通信費、学校給食費、修学旅行費、林間学校費、校外活動費、医療費、体育実技用具費（中学校のみ）
※上記費目のうち、新入学児童学用品費（小学校）の支給額を54,060円から57,060円へ、また、体育実技用具費（中学校のみ）の支給上限額を3,300円から7,650円へ引き上げを実施。

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	2,395,000 円	0 円	0 円	0 円	94,848,991 円

〈所　　管〉　学校教育部　教育総務課
〈予算区分〉　款）教育費　　項）中学校費　　目）学校管理費

事務事業名	中学校施設改修事業	予算現額	37,420,000 円
		決算額	37,082,265 円

〈事業を行った成果・効果〉
学校施設の改修を行ったことで、生徒が安全・安心で快適な教育環境において学校生活を送ることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　施設改修工事（校舎・体育施設・屋外環境）
〈事業費〉　37,082,265 円
〈概　要〉　校舎改修工事　30件
・第三中学校4階普通教室天井断熱材設置工事、第五中学校保健室空調機更新工事　他
体育施設整備工事　11件
・第二中学校柔道場パーティション改修工事、第五中学校谷樋設置工事　他
屋外環境整備工事　17件
・第一中学校体育倉庫裏危険木伐採工事、第三中学校汚水槽ポンプ交換工事　他
合計　58件

第二中学校柔道場パーティション改修工事
完成写真

第三中学校4階普通教室天井断熱材設置工事
断熱材設置写真

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	7,700,000 円	0 円	29,382,265 円

〈所　　管〉　学校教育部　学校給食課
〈予算区分〉　款）教育費　　項）学校保健費　　目）学校給食費

事務事業名	学校給食運営事業	予算現額	874,413,000 円
		決算額	870,046,504 円

〈事業を行った成果・効果〉

自校給食室において、学校給食調理業務の一部を民間委託することで、効率的な給食運営を図るとともに、令和7年度に不足が見込まれる給食用の備品を事前に準備することで、安全で安心な学校給食を提供することができました。また、令和5年度に実施した学校給食費改定に伴う改定分月額500円を引き続き支援することで、保護者の負担を軽減を図ることができました。

〈主な事業の成果〉

〈事業名〉　自校給食室調理等業務委託事業
〈事業費〉　118,620,480 円
〈概　要〉　朝霞第四、第五及び第八小学校自校給食室調理等業務委託
給食調理業務の一部（給食調理、洗浄等）を民間事業者に委託
委託給食実施日数　186日
提供食数（基準日5月1日）　四小・・・640食／日　五小・・・987食／日　八小・・・1,205食／日

〈事業名〉　給食用備品及び消耗品購入事業
〈事業費〉　4,070,000 円
〈概　要〉　配送用コンテナー（食器用）3台…575,000円×3台×1.1＝1,897,500円…①
配送用コンテナー（食缶用）1台…439,000円×1台×1.1＝482,900円…②
シャトルコンテナー（角型）7個…52,000円×7台×1.1＝400,400円…③
シャトルコンテナー（角型）4個…45,000円×4台×1.1＝198,000円…④
フルーツボックス8個…17,000円×8個×1.1＝149,600円…⑤
蓋つき天ぷらバットセット8個…10,000円×8個×1.1＝88,000円…⑥
お玉入れ9個…16,000円×9個×1.1＝158,400円…⑦
ご飯椀・汁椀用かご（22人用）8個…32,000円×8個×1.1＝281,600円…⑧
小皿用かご（42人用）8個…47,000円×8個×1.1＝413,600円…⑨
合計　①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧+⑨＝4,070,000円

〈事業名〉　学校給食費単価見直しによる増額改定分負担事業
〈事業費〉　60,388,240 円　※歳入の減
〈概　要〉　小学校　一年生：1,264人×10か月×500円＝6,320,000円…①
：1,264人×1か月×160円＝202,240円…②
二年生～六年生：6,477人×11か月×500円＝35,623,500円…③
中学校　一年生～二年生：2,315人×11か月×500円＝12,732,500円…④
三年生：1,102人×10か月×500円＝　5,510,000円…⑤
合計　①+②+③+④+⑤＝60,388,240円

〈事業名〉　学校給食費の3人目以降無償化事業
〈事業費〉　15,592,800 円　※歳入の減
〈概　要〉　小学校　一年生：108人×1か月×1,300円＝140,400円…①
：108人×10か月×4,200円＝4,536,000円…②
二年生～六年生：234人×11か月×4,200円＝10,810,800円…③
中学校　一年生～二年生：　2人×11か月×4,800円＝105,600円…④
三年生：0人×10か月×4,800円＝　0円…⑤
合計　①+②+③+④+⑤＝15,592,800円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	541,879,590 円	328,166,914 円

〈所　　管〉　学校教育部　学校給食課
〈予算区分〉　款）教育費　　項）学校保健費　　目）学校給食費

事務事業名	給食センター管理事業	予算現額	98,294,000 円
		決算額	95,161,793 円

〈事業を行った成果・効果〉
栄町学校給食センター解体工事により影響のあった物件について、その補償費用の積算を委託することで適正な補償額を算定することができました。また、浜崎学校給食センターの浄化槽の修繕を行ったここと で、安全に給食を提供することができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　栄町学校給食センター解体工事に伴う復旧費積算・費用負担説明等業務委託
〈事業費〉　2,310,000 円
〈概　要〉　内容：栄町学校給食センター解体工事の実施にあたり行った事前及び事後家屋調査で、
工事に起因した損傷が認められる物件の復旧費の積算及び費用負担説明等を行う
工期：令和6年10月28日から令和7年3月21日
対象物件数：3件

〈事業名〉　浜崎学校給食センター曝気ブロアの更新
〈事業費〉　4,312,000 円
〈概　要〉　内容：浜崎学校給食センターの浄化槽に設置している2台の曝気ブロアのうち、
1台が故障したため入れ替えを行いました。

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	95,161,793 円

〈所　　管〉　学校教育部　学校給食課
〈予算区分〉　款）教育費　　項）学校保健費　　目）学校給食費

事務事業名	栄町学校給食センター解体事業	予算現額	6,318,400 円
		決算額	5,574,800 円

〈事業を行った成果・効果〉
令和2年度をもって業務を終了した「栄町学校給食センター」の解体に着手したことで、建物の解体を行うことができました。

〈主な事業の成果〉　事故繰越分
〈事業名〉　栄町学校給食センター解体工事に伴う事後家屋調査業務委託
〈事業費〉　5,574,800 円
〈概　要〉　内容：栄町学校給食センター解体工事に伴う事前家屋調査を実施した9件のうち、事後家屋調査を希望する
物件の調査を実施
工期：令和5年12月4日から令和6年6月28日
対象物件数：8件

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	5,574,800 円

〈所　　管〉　生涯学習部　生涯学習・スポーツ課
〈予算区分〉　款）教育費　　項）社会教育費　　目）生涯学習費

事務事業名	生涯学習啓発推進事業	予算現額	11,360,000 円
		決算額	10,825,741 円

〈事業を行った成果・効果〉
生涯学習を推進するため、情報誌の発行、生涯学習体験教室、市民企画講座の支援、子ども大学あさかなどを実施したことで、市民に対し広く生涯学習の機会を提供することができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　生涯学習啓発事業
〈事業費〉　1,138,414 円
〈概　要〉　【生涯学習ガイドブック発行】2,000部発行 概要版音声訳 CD11枚 作成
【生涯学習体験教室】令和6年7月21日～令和7年1月25日　全42講座（20種）　参加者数 435人（延べ）
【市民企画講座】　8団体　講座回数31回（延べ）　参加者数563人（延べ）

〈事業名〉　子ども大学あさか
〈事業費〉　700,000 円
〈概　要〉　【実施期間】　令和6年7月20日～12月7日（全4回）
【参加者数】　子ども大学生 37人（延べ230人） ミニあさか参加者 544人
【内　　容】　7月20日 入学式・第1回講義 「生き方学」本から学ぶ人生を楽しくするコツ
8月24日 第2回講義 「ふるさと学」オリジナルボードゲームで地元の「楽しい」を再発見し伝えよう！
9月7日　第3回講義 「生き方学」夢を実現する方法
11月17日 学園祭 「子どもがつくるまち～ミニあさか～」
12月7日 修了式・第4回講義 「はてな学」日本から世界へ！海外生活㊙話

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	32,000 円	10,793,741 円

〈所　　管〉　生涯学習部　生涯学習・スポーツ課
〈予算区分〉　款）教育費　　項）社会教育費　　目）生涯学習費

事務事業名	芸術文化振興事業	予算現額	2,072,000 円
		決算額	2,038,604 円

〈事業を行った成果・効果〉
文化団体に補助金を交付し、活動を支援したことで、文化団体相互の交流と連携が図られ、文化の普及と向上に寄与することができました。
また、親子で本物の芸術に触れ、作陶と茶道の体験を通じて興味と教養を深める機会を提供したことで、芸術文化の振興を図ることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　芸術文化振興事業
〈事業費〉　1,891,200 円
〈概　要〉　芸術文化展　6月1日～2日・9日　〈参加者数〉　3,117人
市民芸能まつり7月7日　〈参加者数〉　2,259人　出演者数 523人（延べ）
文化祭　10月20日～12月1日　〈参加者数〉　8,496人
文化協会団体数　23団体

〈事業名〉　夏休み親子陶芸教室
〈事業費〉　101,254 円
〈概　要〉　【実施日】7月22日・8月19日（全2回）
【会場】丸沼芸術の森
【対象・参加者数】小学生及び保護者16組（延べ62人）
①陶芸体験　②芸術鑑賞会、陶芸講座、茶道体験

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	2,038,604 円

〈所　　管〉　生涯学習部　生涯学習・スポーツ課
〈予算区分〉　款）教育費　　項）社会教育費　　目）生涯学習費

事務事業名	成人の日記念式典事業	予算現額	1,558,000 円
		決算額	1,442,981 円

〈事業を行った成果・効果〉
東洋大学管弦楽団によるオーケストラ演奏とともに進行する式典を実施、記念誌を発行し、20歳を迎えた皆さんの新たな門出を祝いました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　成人の日記念式典事業
〈事業費〉　1,442,981 円
〈概　要〉　【実施日】令和7年1月13日
【対象者数】1,441人
【出席者数】1,006人（出席率69.8%）
【内　容】会　　場　朝霞市民会館（ゆめぱれす）ホール
開　　演　午後1時30分～2時30分（開場　午後1時）
参加対象　市内在住の満20歳の市民（陸上自衛隊朝霞駐屯地住民登録者を含む）

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	1,442,981 円

〈所　　管〉　生涯学習部　生涯学習・スポーツ課
〈予算区分〉　款）教育費　　項）社会教育費　　目）生涯学習費

事務事業名	家庭教育推進事業	予算現額	1,341,000 円
		決算額	618,128 円

〈事業を行った成果・効果〉
自主的な学習活動に対する補助金の交付、学習支援及び講演会を実施したことで、家庭教育の推進を図ることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　家庭教育学級合同公演会
〈事業費〉　181,521 円
〈概　要〉　【実施日】令和6年11月21日
【参加者数】107人
【目　的】親や保護者、子供に関わる大人が、次代を担う子どもに対し、いかに子供たちに向き合いその成長を促していくかを考え、子育ての一助とする。
【内　容】テーマ　質のよい睡眠環境の整え方～健やかな成長と睡眠の関係とは～
講　師　長谷川恵美　氏

〈事業名〉　家庭教育学級・家庭教育学級事業補助事業
〈事業費〉　267,407 円
〈概　要〉　【家庭教育学級補助事業】3団体
【家庭教育学級事業補助事業】4団体

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	2,000 円	616,128 円

〈所　　管〉　生涯学習部　生涯学習・スポーツ課
〈予算区分〉　款）教育費　　項）社会教育費　　目）生涯学習費

事務事業名	放課後子ども教室事業	予算現額	3,978,000 円
		決算額	3,445,122 円

〈事業を行った成果・効果〉
子どもが安心して過ごすことのできる居場所を確保したことで、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりに寄与することができました。また、居場所提供型の放課後子ども教室の準備を行い、令和7年4月から事業を開始することができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　放課後子ども教室事業
〈事業費〉　3,445,122 円
〈概　要〉　【会場（夏季・土曜日開催）一小、三小、四小、五小、七小、十小
①夏季開催　令和6年7月29日～8月23日
参加者数：113人（延べ480人）　各5回計30回実施
②土曜日開催　令和6年10月5日～令和7年2月15日
参加者数：127人（延べ905人）各12回計84回実施）
【会場（居場所提供型）】　六小、八小
①開設準備　会場用WiFiルーター契約、利用者用傷害保険契約、会場用備品購入

※居場所提供型とは、平日の放課後及び長期休業期間（年末年始、学校閉庁期間、土日、祝日を除く）に学校施設等を利用して児童が過ごすことができる場所です。

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	873,020 円	2,572,102 円

〈所　　管〉　生涯学習部　生涯学習・スポーツ課
〈予算区分〉　款）教育費　　項）社会教育費　　目）人権教育振興費

事務事業名	人権教育振興事業	予算現額	1,313,000 円
		決算額	862,938 円

〈事業を行った成果・効果〉
人権教育を推進するため、人権教育に係る研修会及び講座を開催したことで、市民一人一人が自分自身の課題として捉え、人権に対する理解を深めることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　人権教育研修会・講演会事業
〈事業費〉　295,262 円
〈概　要〉　【市民人権教育研修会】　令和6年6月14日　54人
テーマ　プリンセス像や血液型占いから見るステレオタイプ
講 師　立正大学心理学部教授　上瀬由美子　氏
【企業人権教育研修会】　令和7年2月13日　52人
テーマ　企業と人権　職場のコミュニケーション
講　師　公益財団法人東京都人権啓発センター　講師　緑川裕子　氏
【人権問題講演会】　令和6年7月19日　116人
テーマ　命の輝き　車イスから見える世界ってけっこうステキ
講　師　ママの足は車イス著者　又野亜希子　氏
【公民館人権教育講座】　令和6年12月21日　81人
テーマ①　暮らしの中の人権
講　師②　埼玉県人権・男女共同参画課　持田倫武　氏
テーマ②　デフリンピックの魅力と聞こえない世界～3つ目のオリンピック～
講　師②　デフリンピック強化指定選手　沼倉昌明　氏、沼倉千紘　氏

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	100,000 円	0 円	0 円	762,938 円

〈所　　管〉　生涯学習部　文化財課
〈予算区分〉　款）教育費　　項）社会教育費　　目）文化財保護費

事務事業名	埋蔵文化財調査保存事業	予算現額	25,349,000 円
		決算額	19,434,190 円

〈事業を行った成果・効果〉
埋蔵文化財の資料整理を行い、調査報告書を刊行したことで、調査成果の公開・活用ができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　報告書作成業務
〈事業費〉　3,364,900 円
〈概　要〉　発掘調査報告書2冊の刊行
朝霞市埋蔵文化財調査報告書第61集「泉水山・富士谷遺跡第83地点発掘調査報告書」
朝霞市埋蔵文化財調査報告書第62集「稲荷山・郷戸遺跡第3地点発掘調査報告書」

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	1,500,000 円	750,000 円	0 円	0 円	17,184,190 円

〈所　　管〉　生涯学習部　文化財課
〈予算区分〉　款）教育費　　項）社会教育費　　目）文化財保護費

事務事業名	旧高橋家住宅管理運営事業	予算現額	10,086,000 円
		決算額	9,748,837 円

〈事業を行った成果・効果〉
重要文化財「旧高橋家住宅」の管理運営を行うとともに、市民に公開し各種事業を行ったことで、文化財の保存及び活用を図ることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　旧高橋家住宅管理運営事業
〈事業費〉　9,748,837 円
〈概　要〉　開園日数
302日
入園者数
11,930人（内訳：個人8,964人・団体2,966人）
体験学習
じゃがいも掘り、さつまいも掘り、さといも掘り、どきどきツアー、お正月あそび等
年中行事展示
五月節句、七夕飾り、盆、月見、彼岸、正月飾り、小正月のまゆだま、三月節句等

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	0 円	9,748,837 円

〈所　　管〉　生涯学習部　文化財課
〈予算区分〉　款）教育費　　項）社会教育費　　目）博物館費

事務事業名	運営事業（博物館費）	予算現額	22,588,000 円
		決算額	22,259,237 円

〈事業を行った成果・効果〉
博物館で様々な展示等を開催したことで、地域文化の向上や生涯学習の啓発に寄与することができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　テーマ展示「池田幹雄追悼展」
〈事業費〉　1,902,038 円
〈概　要〉　実施期間　令和6年5月1日（水）～5月31日（金）【27日間】
展示内容　池田幹雄氏作品　日本画16点、水彩画11点、合計27点　※2コーナーに分けて展示
（1）展示室　日本画　16点
（2）ギャラリー（ケース内）　水彩画　11点（1点は期間中展示替え）
関連事業　寄贈及び、感謝状贈呈式
来館者数　会期中のべ入館者数2，849人

〈事業名〉　第38回企画展「根岸古墳群と内間木古墳群 ～朝霞の古墳時代～」
〈事業費〉　3,180,349 円
〈概　要〉　実施期間　令和7年3月8日～令和7年5月26日　※令和7年度に継続
展示内容　朝霞にある二つの古墳群のうち、柊塚や一夜塚が知られる根岸古墳群についてはこれまでよく紹介されてきた。そこで今回は、対をなす内間木古墳群の近年、あるいは速報的な調査成果を採り上げながら、両古墳群とその時代について紹介する。

関連事業　企画展関連講演会　※令和7年度に実施予定
来館者数　1，817人

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	213,700 円	22,045,537 円

〈所　　管〉　生涯学習部　文化財課
〈予算区分〉　款）教育費　　項）社会教育費　　目）博物館費

事務事業名	施設改修事業（博物館費）	予算現額	213,499,000 円
		決算額	147,463,250 円

〈事業を行った成果・効果〉
令和5年度に実施した博物館の外壁等改修工事に係る設計の結果に基づき、博物館外壁、屋上防水、受水槽の改修を実施したことにより、当館を利用する市民の安全性が向上し、館自体の長寿命化が図られたほか、資料保存の安全性の向上に寄与することができた。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　博物館外壁等改修事業
〈事業費〉　139,150,000 円
〈概　要〉　博物館の外壁等の改修工事
・契約期間　令和6年5月15日～令和7年3月14日
・業務内容　令和5年度に実施した博物館の外壁等改修工事に係る設計の結果に基づき、博物館外壁、屋上防及び受水槽の改修を実施した。

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	104,200,000 円	35,030,985 円	8,232,265 円

〈所　　管〉　生涯学習部　中央公民館
〈予算区分〉　款）教育費　　項）社会教育費　　目）公民館費

事務事業名	施設改修事業（公民館費）	予算現額	330,035,000 円
		決算額	145,249,500 円

〈事業を行った成果・効果〉

東朝霞公民館及び北朝霞公民館では、空気調和設備の改修工事を行ったことで、利用者の利便性の向上とともに、災害時の避難所としての機能が高まりました。

中央公民館で長寿命化工事に向けた設計を行い、南朝霞公民館で空気調和設備改修に係る設計を行うことで、工事に向けた準備を整えました。

〈主な事業の成果〉

〈事業名〉　東朝霞公民館空気調和設備改修工事（令和5～6年度 継続事業）
〈事業費〉　79,948,000 円
〈概　要〉　空気調和設備改修工事及び工事監理業務委託

〈事業名〉　北朝霞公民館空気調和設備改修工事
〈事業費〉　24,255,000 円
〈概　要〉　空気調和設備改修工事及び工事監理業務委託

〈事業名〉　中央公民館長寿命化改修工事設計業務委託（令和5～6年度 継続事業）
〈事業費〉　36,206,500 円
〈概　要〉　朝霞市公共施設等マネジメント実施計画に基づき長寿命化改修工事を行うための設計業務

〈事業名〉　南朝霞公民館空気調和設備改修工事設計業務委託
〈事業費〉　4,840,000 円
〈概　要〉　災害発生時等の避難所に指定されている施設の空調設備を更新するための設計業務

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	139,700,000 円	3,706,500 円	1,843,000 円

〈所　　管〉　生涯学習部　図書館
〈予算区分〉　款）教育費　　項）社会教育費　　目）図書館費

事務事業名	運営事業（図書館費）／北朝霞分館運営事業	予算現額	120,784,000 円
		決算額	118,581,113 円

〈事業を行った成果・効果〉

資料や情報の提供、イベントや展示などの事業を実施したことで、教育と文化の発展に寄与することができました。また、図書や雑誌及び視聴覚資料の購入により図書館資料の充実を図り、併せて相互貸借を行うことで、利用者に適切に資料を提供することができました。電子図書館サービスでは、コンテンツの充実を図ることで、利用者を増やすことができました。

〈主な事業の成果〉

〈事業名〉　図書館資料の充実（図書館）
〈事業費〉　18,228,637 円
〈概　要〉　図書や雑誌及び視聴覚資料の選定・購入及び適切な資料の提供
令和6年度購入実績
図書　8,898冊　※公民館図書室分を含む　　雑誌　2,651冊
視聴覚資料　115点（CD81点、DVD34点）
令和6年度末蔵書数
図書（424,211冊）　※雑誌以外は、公民館図書室分を含む
一般書　270,491冊　紙芝居　3,688冊　児童書　134,995冊　雑誌　15,037冊
視聴覚資料（11,552点）
CD　5,863点　ビデオ　87点　LD　439点　16ミリ　79点　DVD　1,104点
音声録音図書　310点　カセット　52点
令和6年度利用実績　※公民館図書室を含む
貸出人数　185,571人　貸出点数　546,320点

〈事業名〉　電子図書館の運営（図書館）
〈事業費〉　5,888,753 円
〈概　要〉　令和6年度購入実績
権利取得コンテンツ　1,123点
令和6年度末コンテンツ数
コンテンツ保有数　3,770点
令和6年度利用実績
貸出回数　4,953回　閲覧回数　16,951回

〈事業名〉　図書館資料の充実（北朝霞分館）
〈事業費〉　8,658,727 円
〈概　要〉　図書や雑誌及び視聴覚資料の選定・購入及び適切な資料の提供
令和6年度購入実績
図書　4,294冊　雑誌　1,234冊　視聴覚資料　60点（CD60点）
令和6年度末蔵書数
図書（120,350冊）
一般書　87,973冊　紙芝居　929冊　児童書　28,476冊　雑誌　2,972冊
視聴覚資料（3,588点）
CD　3,490点　ビデオ　0点　LD　0点　16ミリ　1点　DVD　0点
音声録音図書　92点　カセット　5点
令和6年度利用実績
貸出人数　62,719人　貸出点数　215,263点

〈事業名〉　図書館北朝霞分館無線LAN機器設置
〈事業費〉　314,600 円
〈概　要〉　無線LAN機器設置によりWi-Fi環境の整備を行い、図書館利用者が情報の調査などを行う上で、図書館検索端末（OPAC）、図書館資料のほかインターネットを利用することができるようにし、利便性を図ることができました。

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	450 円	118,580,663 円

〈所　　管〉　生涯学習部　図書館
〈予算区分〉　款）教育費　　項）社会教育費　　目）図書館費

事務事業名	管理事業（図書館費）	予算現額	25,925,000 円
		決算額	25,238,121 円

〈事業を行った成果・効果〉
施設の維持管理、それらに付随する委託業務契約の締結、修繕等の実施により、適切な図書館施設の運営と円滑な図書館サービスの提供に資することができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　図書館第4駐車場撤去工事（図書館管理事業）
〈事業費〉　3,597,000 円
〈概　要〉　図書館本館利用者用の第4駐車場について、地権者からの賃貸借契約解除と早急な土地返還請求があったため、設備の撤去工事を行いました。

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	401,948 円	24,836,173 円

〈所　　管〉　生涯学習部　生涯学習・スポーツ課
〈予算区分〉　款）教育費　　項）社会体育費　　目）総合体育館費

事務事業名	管理運営事業（総合体育館費）	予算現額	60,805,000 円
		決算額	60,804,746 円

〈事業を行った成果・効果〉
総合体育館の管理運営を行ったことで、市民のスポーツ活動の場を提供し、市民の体力向上、健康増進に寄与するとともに、スポーツの推進を図ることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　総合体育館管理運営事業
〈事業費〉　60,804,746 円
〈概　要〉　開館日数　349日
利用者数　350,596人
（内訳）　団体　284,145人
個人　66,451人

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	21,107,226 円	39,697,520 円

〈所　　管〉　生涯学習部　生涯学習・スポーツ課
〈予算区分〉　款）教育費　　項）社会体育費　　目）武道館費

事務事業名	施設改修事業（武道館費）	予算現額	509,575,000 円
		決算額	450,689,093 円

〈事業を行った成果・効果〉
武道館の改修工事を行ったことで、安全・安心な施設整備を行うことができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　武道館耐震等改修工事
〈事業費〉　450,689,093 円　（継続費　R5-R6）
〈概　要〉　工事概要：武道館の耐震化・長寿命化を図るとともに、バリアフリー化、空調設備の設置等を行った。
工事期間：令和6年1月24日　から　令和7年3月14日　まで
【工事内容】
耐震化:耐震壁2か所増設
長寿命化:屋上防水、断熱、外壁・内壁改修、柔道場・剣道場の床改修等
バリアフリー化：エレベーター・バリアフリートイレ・授乳室・車いす昇降機の設置、玄関自動ドア化、点字ブロック・手すりの設置
その他：空調設備新設、照明LED化、太陽光発電設備の設置
アスベスト撤去工事、サッシ廻りの躯体補修工事

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	14,777,000 円	0 円	259,000,000 円	130,757,500 円	46,154,593 円

〈所　　管〉　生涯学習部　生涯学習・スポーツ課
〈予算区分〉　款）教育費　　項）社会体育費　　目）公園体育施設費

事務事業名	管理運営事業（公園体育施設費）	予算現額	86,504,000 円
		決算額	86,503,733 円

〈事業を行った成果・効果〉
公園体育施設の管理運営を行ったことで、市民のスポーツ活動の場を提供し、市民の体力向上、健康増進に寄与するとともに、スポーツの推進を図ることができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　公園体育施設管理運営事業
〈事業費〉　86,503,733 円
〈概　要〉　〈各施設の利用状況（主な施設）〉

施設名	利用件数（件）	利用人数（人）
中央公園陸上競技場	1,196	176,978
中央公園野球場	725	137,931
北朝霞公園野球場	820	44,359
青葉台公園芝生広場	1,256	55,494
青葉台公園テニスコート	10,320	77,285
弁財公園テニスコート	1,760	7,743
内間木公園テニスコート	2,157	11,484
内間木公園ソフトボール場	463	37,185
内間木公園弓道場	5,002	7,611

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	0 円	30,279,313 円	56,224,420 円

〈所　　管〉　生涯学習部　生涯学習・スポーツ課
〈予算区分〉　款）教育費　　項）社会体育費　　目）公園体育施設費

事務事業名	施設改修事業（公園体育施設費）	予算現額	86,031,000 円
		決算額	76,869,194 円

〈事業を行った成果・効果〉
公園体育施設の改修を行ったことで、安全・安心な施設の整備を行うことができました。

〈主な事業の成果〉
〈事業名〉　朝霞中央公園野球場防球ネット設置工事
〈事業費〉　44,365,200 円
〈概　要〉　野球場の防球ネットの既存ネットから内野側への増設工事（一塁側及び三塁側に高さ約15mの防球ネットを設置）
工事期間：令和6年11月12日から令和7年3月14日まで

朝霞中央公園野球場防球ネット設置工事写真

〈事業名〉　内間木公園テニスコート改修工事
〈事業費〉　24,131,894 円
〈概　要〉　テニスコートの人工芝の全面改修工事（2面）
工事期間：令和6年5月20日から令和6年8月30日まで

〈事業名〉　北朝霞公園野球場ベンチ上屋改修工事
〈事業費〉　6,281,000 円
〈概　要〉　野球場ベンチ上屋の改修及びベンチ前フェンスの新設等
工事期間：令和6年8月7日から令和6年9月30日まで

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	0 円	0 円	33,200,000 円	0 円	43,669,194 円

第12款　諸支出金

土地開発基金繰出金

土地開発基金に対し、本年度は一般会計から343千円を繰り出し、令和6年度末の現在高は、3,051,154千円となりました。また、2,201.09㎡・846,899千円の土地を買い入れしたほか、1,884.21㎡・401,742千円の土地について、一般会計で買い戻しました。

（単位：円）

区　分	令和5年度末現在高	令和6年度中増	令和6年度中減	増減	令和6年度末現在高
土　地	2,129,654,705	846,898,881	401,741,617	445,157,264	2,574,811,969
現　金	921,156,434	402,084,483	846,898,881	△ 444,814,398	476,342,036
計	3,050,811,139	1,248,983,364	1,248,640,498	342,866	3,051,154,005

〈令和6年度中に購入した土地一覧〉

事業名	所在地	面積（㎡）	金額（円）
市道656号線道路改良事業※1	幸町3丁目地内	5.95	166,600
市道15号線道路改良事業※1	根岸台4丁目地内	127.29	32,532,774
市道90号線道路改良事業※2	根岸台5丁目地内	85.64	19,683,668
都市計画道路駅東通線整備事業	根岸台6丁目地内	532.1	386,419,719
都市計画道路岡通線整備事業	根岸台6丁目地内	275.37	283,069,109
都市計画道路岡通線整備事業	根岸台6丁目地内	0.5	110,160
市道18号線道路改良事業	根岸台4丁目地内	36.11	15,355,887
溝沼市民センター用地取得事業	大字溝沼地内	942.55	89,353,740
市道466号線道路改良事業	膝折町4丁目地内	17.19	4,305,224
市道2105号線道路改良事業	宮戸2丁目地内	163.39	12,692,000
市道10号線道路改良事業	膝折町4丁目地内	15	3,210,000
合計		2,201.09	846,898,881

※1　令和5年度に契約、令和6年度に支払い完了

※2　令和4年度に契約、令和6年度に支払い完了

〈令和6年度中に一般会計で買い戻した土地一覧〉

事業名	所在地	面積（㎡）	金額（円）
市道1号線道路改良事業	溝沼6丁目地内他	補償のみ	23,429,363
市道18号線道路改良事業	根岸台5丁目地内	補償のみ	11,272,216
市道2104号線仮設道路用地取得事業・市道2399号線道路改良事業	宮戸2丁目地内	623.72	107,342,667
市道2399号線用地取得事業	宮戸2丁目地内	49.7	11,072,731
都市計画道路駅東通線及び岡通線整備事業	根岸台6丁目地内	262.63	55,200,000
都市計画道路駅東通線及び岡通線用地取得事業・都市計画道路駅東通線代替地取得事業	根岸台6丁目地内	948.16	193,424,640
合計		1,884.21	401,741,617

地方創生臨時交付金の活用実績

〈地方創生臨時交付金交付決定額〉
・物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（令和6年度）　1,627,707,000円

〈臨時交付金対象事業〉

予算措置	取　組　名	予算額	対象交付金
令和5年度補正予算第5号	住民税均等割のみ課税世帯支援給付金支給事業	27,451,225円	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（令和5年度からの繰越分）
	子育て世帯（住民税非課税世帯等）支援給付金支給事業	3,756,803円	
	小計	31,208,028円	
令和5年度補正予算第6号	障害者施設等光熱費等高騰対策支援事業	890,000円	
	高齢者施設等光熱費等高騰対策支援事業	1,450,000円	
	物価高騰に伴う水道使用者への負担軽減事業	305,381,000円	
	運送事業者支援事業	27,798,000円	
	交通事業者物価高騰等対応支援事業	5,290,000円	
		340,809,000円	
補正予算第1号	調整給付に係る税システム改修	1,760,000円	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金
	住民税非課税世帯支援給付金支給事業	20,500,000円	
	住民税均等割のみ課税世帯支援給付金支給事業	5,125,000円	
	住民税非課税世帯及び均等割のみ課税世帯こども加算分給付金支給事業	11,625,000円	
	定額減税調整給付金支給事業	954,240,000円	
	小計	993,250,000円	
補正予算第3号	住民税非課税世帯支援給付金支給事業	287,000,000円	
	住民税均等割のみ課税世帯支援給付金支給事業	71,750,000円	
	住民税非課税世帯及び均等割のみ課税世帯こども加算分給付金支給事業	162,750,000円	
	定額減税調整給付金支給事業	50,200,000円	
	小計	571,700,000円	
補正予算第10号	住民税非課税世帯支援給付金（追加分）支給事業※	422,500,000円	
	子育て世帯（住民税非課税世帯）支援給付金（追加分）支給事業※	30,200,000円	
		452,700,000円	
補正予算第11号	障害者施設等光熱費等高騰対策支援事業※	1,088,000円	
	高齢者施設等光熱費等高騰対策支援事業※	9,587,000円	
	低所得のひとり親家庭等（課税世帯）生活支援特別給付金支給事業※	9,510,000円	
		20,185,000円	

※の事業は令和7年度に繰越して実施

〈所　　管〉　福祉部　生活援護課

取組名	住民税均等割のみ課税世帯支援給付金支給事業	予算現額	27,451,225 円
		決算額	4,620,176 円

〈事業を行った成果・効果〉

電力・ガス・食料品等の価格高騰に伴う影響が大きい住民税均等割のみ課税世帯に対し、給付金を支給したことで、速やかに生活・暮らしの支援をすることができました。

〈事業費〉　4,620,176 円

〈概　要〉　【申請期間】令和6年2月1日から令和6年4月30日まで
【対 象 者】基準日（令和5年12月1日）において令和5年度住民税均等割のみ課税世帯
【給 付 額】1世帯あたり100,000円
【給付世帯】27世帯
【給付金支給額】2,700,000円
【給付に係る事務費】事務補助業務委託料、複写機借上料、機器借上料など　1,920,176円

※令和5年度補正予算第5号で計上し、令和6年度に繰り越した事業
参考：最終実績
【給付世帯】1,329世帯
【給付金支給額】132,900,000円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	4,620,176 円	0 円	0 円	0 円	0 円

〈所　　管〉　福祉部　生活援護課

取組名	子育て世帯（住民税非課税世帯等）支援給付金支給事業	予算現額	3,756,803 円
		決算額	1,802,801 円

〈事業を行った成果・効果〉

電力・ガス・食料品等の価格高騰に伴う影響が大きい低所得の子育て世帯に対し、給付金を支給したことで、速やかに生活・暮らしの支援をすることができました。

〈事業費〉　1,802,801 円

〈概　要〉　【申請期間】令和6年2月1日から令和6年4月30日まで
【対 象 者】基準日（令和5年12月1日）において令和5年度分住民税非課税世帯または住民税均等割のみ課税世帯のうち18歳以下の児童を扶養している世帯
【給 付 額】児童1人あたり50,000円
【給付世帯】23世帯（34人）
【給付金支給額】1,700,000円
【給付に係る事務費】電算機借上料、郵便料、口座振替等手数料など　102,801円

※令和5年度補正予算第5号で計上し、令和6年度に繰り越した事業
参考：最終実績
【給付世帯】719世帯（1,166人）
【給付金支給額】58,300,000円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	1,802,801 円	0 円	0 円	0 円	0 円

〈所　　管〉　福祉部　障害福祉課

取組名	障害者施設等光熱費等高騰対策支援事業	予算現額	890,000 円
		決算額	790,000 円

〈事業を行った成果・効果〉

県の補助対象とならない市指定の事業所及び燃料費等の負担が大きい車両を使った障害福祉関係サービスを提供している市内の事業所に対し、障害者施設等光熱費等高騰対策支援金を支給したことで、市民に対する継続した障害福祉サービスの提供をすることができました。

〈事業費〉　790,000 円

〈概　要〉　対象施設

①相談支援事業所（10事業所）

②地域活動支援センター（3事業所）

③生活ホーム（1事業所）

④車両を使用する障害福祉関係サービス（3事業所）

支給事業者数

15事業所

①8事業所、②3事業所、③1事業所、④3事業所

支給額

①④50,000円

②③60,000円

※令和5年度補正予算第6号で計上し、令和6年度に繰り越した事業

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	435,000 円	0 円	0 円	0 円	355,000 円

〈所　　管〉　福祉部　長寿はつらつ課

取組名	高齢者施設等光熱費等高騰対策支援事業	予算現額	1,450,000 円
		決算額	1,450,000 円

〈事業を行った成果・効果〉

運営経費の増加が見込まれる事業者の負担の激変緩和措置として高齢者福祉サービス提供事業者等に対して、光熱費等の高騰に係る経費の補助事業を実施することで、高齢者福祉サービス提供事業者等を支援することができました。

〈事業費〉　1,450,000 円

〈概　要〉　対象事業所　27事業所

（内訳）

配食サービス事業所	2事業所
移送サービス事業所	2事業所
訪問理美容事業所	16事業所
地域包括支援センター	6事業所（センター）
指定管理事業所	1事業所

支給額

1事業所当たり50,000円、指定管理事業所については150,000円

※令和5年度補正予算第6号で計上し、令和6年度に繰り越した事業

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	710,000 円	0 円	0 円	円	740,000 円

〈所　　管〉　上下水道部　上下水道総務課

取組名	物価高騰に伴う水道使用者への負担軽減事業	予算現額	305,381,000 円
		決算額	304,956,000 円

〈事業を行った成果・効果〉

水道料金の基本料金を2分の1に減額することで、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けている一般家庭や事業者の経済的負担を軽減することができました。

〈事業費〉　304,956,000 円

〈概　要〉　対象者：　官公署を除く全水道使用者

対象戸数：70,936 戸

内容：水道料金の基本料金の2分の1の減額

減額期間：令和6年3月検針分から令和7年2月検針分まで

※令和5年度補正予算第6号で計上し、令和6年度に繰り越した事業

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	149,426,000 円	0 円	0 円	0 円	155,530,000 円

〈所　　管〉　市民環境部　産業振興課

取組名	運送事業者支援事業	予算現額	27,798,000 円
		決算額	20,602,000 円

〈事業を行った成果・効果〉

市内で事業用貨物自動車を使用する事業者に支援金を交付することで、原油価格高騰の影響を受ける市内事業者を支援することができました。

〈事業費〉　20,602,000 円

〈概　要〉　補助金額　普通トラック1台あたり20,000円　軽トラック1台あたり7,000円

申請件数　58事業者

補助車両数　1,060台

※令和5年度補正予算第6号で計上し、令和6年度に繰り越した事業

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	13,602,000 円	0 円	0 円	0 円	7,000,000 円

〈所　　管〉　都市建設部　まちづくり推進課

取組名	交通事業者物価高騰等対応支援事業	予算現額	5,290,000 円
		決算額	5,290,000 円

〈事業を行った成果・効果〉

燃料費の高騰による輸送コストの増加等影響を受けながらも、市内で運行を継続している路線バス、タクシー事業者などの交通事業者へ支援金を支給することで、安定的な運行を支援することができました。

〈事業費〉　5,290,000 円

〈概　要〉　燃料費高騰等大きな影響を受けた交通事業者への支援

対象

①市内を運行する路線バス事業者

②駅前広場の占用許可を得ているタクシー事業者

支給額

①路線バス　基本額500,000円、1系統あたり50,000円

②タクシー事業者　基本額400,000円（事業者が市外の場合は100,000円）、
駅前広場占用台数1台あたり10,000円

バス会社：国際興業（6系統）西武バス（9系統）東武バスウエスト（5系統）

タクシー事業者：市内3社、市外2社

※令和5年度補正予算第6号で計上し、令和6年度に繰り越した事業

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	2,588,000 円	0 円	0 円	0 円	2,702,000 円

〈所　　管〉　総務部　デジタル推進課

取組名	調整給付に係る税システム改修	予算現額	1,760,000 円
		決算額	1,760,000 円

〈事業を行った成果・効果〉

税システムの改修を行うことで、物価高騰等による負担軽減のため定額減税及び調整給付の給付に対応することができました。

〈事業費〉　1,760,000 円

〈概　要〉　取組内容の説明

賃金上昇が物価高に追い付いていない国民の負担を緩和するため、デフレ脱却に向けた一時的な措置として「令和6年度税制改正大綱」（令和5年12月22日閣議決定）に基づき、納税者及び配偶者を含めた扶養親族1人つき、所得税30,000円、個人住民税10,000円の定額減税を行う。

（定額減税しきれない方には調整給付を給付。）

定額減税に対応するため、税システムの改修等を行う。

スケジュール

令和6年　4月　システム開発、各種試験

5月　稼働開始、特別徴収納税通知書発送

6月　普通徴収納税通知書発送、調整給付算定・一覧作成

7月～　調整給付通知発送、確認書受領、給付確認

委託費

委託料：電算システム改造委託料　1,760,000円

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	1,760,000 円	0 円	0 円	0 円	0 円

〈所　　管〉　福祉部　生活援護課

取組名	住民税非課税世帯支援給付金支給事業	予算現額	307,500,000 円
		決算額	164,287,092 円

〈事業を行った成果・効果〉

「デフレ完全脱却のための総合経済対策」を踏まえ、新たな住民税非課税世帯に対し、給付金を支給したことで、速やかに生活・暮らしの支援をすることができました。

〈事業費〉　164,287,092 円

〈概　要〉　【申請期間】令和6年7月12日から令和6年10月31日まで

【対 象 者】基準日（令和6年6月3日）において令和6年度住民税非課税世帯のうち、
令和5年度に70,000円の給付金を受けていない世帯

【給 付 額】1世帯あたり100,000円

【給付世帯】1,635世帯

【給付金支給額】163,500,000円

【給付に係る事務費】郵便料、口座振替等手数料など　787,092円

※補正予算第1号及び第3号で計上した事業

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	164,287,092 円	0 円	0 円	0 円	0 円

〈所　　管〉　福祉部　生活援護課

取組名	住民税均等割のみ課税世帯支援給付金支給事業	予算現額	76,875,000 円
		決算額	66,934,100 円

〈事業を行った成果・効果〉

「デフレ完全脱却のための総合経済対策」を踏まえ、新たな住民税均等割のみ課税世帯に対し、給付金を支給したことで、速やかに生活・暮らしの支援をすることができました。

〈事業費〉　66,934,100 円

〈概　要〉　【申請期間】令和6年7月12日から令和6年10月31日まで

【対 象 者】基準日（令和6年6月3日）において令和6年度住民税均等割のみ課税世帯のうち、
令和5年度に100,000円の給付金を受けていない世帯

【給 付 額】1世帯あたり100,000円

【給付世帯】666世帯

【給付金支給額】66,600,000円

【給付に係る事務費】郵便料、口座振替等手数料など　334,100円

※補正予算第1号及び第3号で計上した事業

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	66,934,100 円	0 円	0 円	0 円	0 円

〈所　　管〉　福祉部　生活援護課

取組名	住民税非課税世帯及び均等割のみ課税世帯こども加算分給付金支給事業	予算現額	174,375,000 円
		決算額	15,217,797 円

〈事業を行った成果・効果〉

「デフレ完全脱却のための総合経済対策」を踏まえ、新たな住民税非課税世帯及び均等割のみ課税世帯の子育て世帯に対し、給付金を支給したことで、速やかに生活・暮らしの支援をすることができました。

〈事業費〉　15,217,797 円

〈概　要〉　【申請期間】令和6年7月12日から令和6年10月31日まで

【対 象 者】基準日（令和6年6月3日）において令和6年度住民税非課税世帯または均等割のみ課税世帯のうち、令和5年度に70,000円または100,000円の給付金を受けていない子育て世帯

【給 付 額】こども1人あたり50,000円

【給付世帯】187世帯（303人）

【給付金支給額】15,150,000円

【給付に係る事務費】郵便料、口座振替等手数料など　67,797円

※補正予算第1号及び第3号で計上した事業

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	15,217,797 円	0 円	0 円	0 円	0 円

〈所　　管〉　福祉部　生活援護課

取組名	定額減税調整給付金支給事業	予算現額	1,004,440,000 円
		決算額	920,214,842 円

〈事業を行った成果・効果〉

「デフレ完全脱却のための総合経済対策」を踏まえ、定額減税をしきれないと見込まれる方へ差額分を支給したことで、速やかに生活・暮らしの支援をすることができました。

〈事業費〉　920,214,842 円

〈概　要〉　【申請期間】令和6年7月4日から令和6年10月31日まで

【対 象 者】基準日（令和6年1月1日）において住民登録があり、令和6年度分の個人住民税所得割が課税されている世帯で、所得税及び住民税において定額減税しきれないと見込まれる納税義務者

【給付納税義務者数】21,394人

【支給額】864,950,000円

【給付に係る事務費】事務補助業務委託料、郵便料、口座振替等手数料など　55,264,842円

※補正予算第1号及び第3号で計上した事業

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	920,214,842 円	0 円	0 円	0 円	0 円

〈所　　管〉　福祉部　生活援護課

取組名	住民税非課税世帯支援給付金（追加分）支給事業※	予算現額	422,500,000 円
		決算額	318,495,858 円

〈事業を行った成果・効果〉

「国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策」を踏まえ、住民税非課税世帯に対し、給付金を支給したことで、速やかに生活・暮らしの支援をすることができました。

〈事業費〉　318,495,858 円

〈概　要〉　【申請期間】令和7年1月10日から令和7年4月15日まで

【対 象 者】基準日（令和6年12月13日）において令和6年度住民税非課税世帯

【給 付 額】1世帯あたり30,000円

【給付世帯】10,111世帯

【給付金支給額】303,330,000円

【給付に係る事務費】事務補助業務委託料、郵便料、口座振替等手数料など　15,165,858円

※当該事業の一部につきましては、令和7年度に繰り越して実施します。

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	318,495,858 円	0 円	0 円	0 円	0 円

〈所　　管〉　福祉部　生活援護課

取組名	子育て世帯（住民税非課税世帯）支援給付金（追加分）支給事業※	予算現額	30,200,000 円
		決算額	19,574,308 円

〈事業を行った成果・効果〉

「国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策」を踏まえ、住民税非課税世帯の子育て世帯に対し、給付金を支給したことで、速やかに生活・暮らしの支援をすることができました。

〈事業費〉　19,574,308 円

〈概　要〉　【申請期間】令和7年1月10日から令和7年4月15日まで

【対 象 者】基準日（令和6年12月13日）において令和6年度住民税非課税世帯の子育て世帯

【給 付 額】こども1人あたり20,000円

【給付世帯】583世帯（974人）

【給付金支給額】19,480,000円

【給付に係る事務費】郵便料、口座振替等手数料など　94,308円

※当該事業の一部につきましては、令和7年度に繰り越して実施します。

財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
※決算額の内訳	19,574,308 円	0 円	0 円	0 円	0 円